# 科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 5 年 5 月 2 9 日現在

機関番号: 13901 研究種目: 基盤研究(S) 研究期間: 2016~2020

課題番号: 16 H 0 6 2 9 9

研究課題名(和文)個別化医療の開発のための統計的方法論の構築とその実践に関する総合的研究

研究課題名(英文)Comprehensive research on statistical methodologies and their applications for development of personalized medicine

#### 研究代表者

松井 茂之(Matsui, Shigeyuki)

名古屋大学・医学系研究科・教授

研究者番号:80305854

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 87,500,000円

研究成果の概要(和文):個々の疾患の分子的特性を踏まえて診断・治療を行う個別化医療の臨床開発のための統計・機械学習の方法・ツールを開発し、同時に幅広い疾患領域を対象とした多くの事例研究を実施した。診断法の開発と評価、診断法に基づく治療法の有効性の検証、診断法に基づく個別化医療のエビデンスの統合、医療現場での治療の意思決定までを包括的に研究対象とすることで、個別化医療の臨床開発の様々な現場で真に役立つ統計・機械学習の方法論を構築した。

研究成果の学術的意義や社会的意義 個別化医療の臨床開発のための統計・機械学習の方法論の構築は、統計科学・情報学の発展につながり、健康医療領域での統計科学・情報学の応用研究の発展にもつながる。一方、個別化医療の開発に役立つ統計・機械学習の方法論を構築することで、限られた医療資源を用いた個別化医療開発の効率性、成功確率の向上につながり、個別化医療の推進に直接的に貢献する。

研究成果の概要(英文): We have developed statistical and machine learning methods and tools for the clinical development of personalized medicine and conducted many case studies in a wide range of disease fields. By comprehensively covering the main phases for developing personalized medicine, including the development and evaluation of diagnostic markers, evaluation of the efficacy of treatments based on diagnostic markers, integration of evidence for personalized medicine based on diagnostic markers, and marker-based decision-making in selecting treatment in medical practice, we have developed statistical and machine learning methodologies that are truly useful for clinical development of personalized medicine.

研究分野: 生物統計学

キーワード: 統計科学 生物統計学 機械学習 個別化医療 臨床研究 研究デザイン データ解析

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

## 1.研究開始当初の背景

バイオ技術、分子生物学の著しい進展により、個々の疾患の分子的特性を踏まえて診断・治療を行う個別化医療(personalized medicine)の開発が近年本格化している。例えば、がんの分子標的治療では、治療効果の出現が患者間で大きく異なることが多く報告されており、治療効果の個体差を捉えるための分子診断法の開発が重要な課題となっている(治療法と診断法の同時開発)。治療効果の個体差が大きな状況下では、患者集団全体に対して平均的な治療効果を評価する従来型の枠組みは有効でなく、診断法を開発しつつ、その診断精度を踏まえた患者サブ集団での評価も可能とする新たな臨床研究の枠組みが必要となる。すなわち、診断法と治療法の同時開発のための新しい臨床研究のデザインとデータ解析に関する方法・ツール、及びその方法論の構築が必要となる。臨床研究のデザインとデータ解析の方法論は、従来、生物統計学、臨床疫学の分野で主に研究されてきたが、診断法と治療法を組み合わせた個別化医療の開発のための方法論は十分確立されていない。

#### 2.研究の目的

本研究は、個別化医療開発全体のフェーズを4つに分け(図1) 臨床研究のデザインとデータ解析に関する方法・ツールの開発研究を行い、その体系化を通して方法論の構築を試みる。その際、各種がん、糖尿病、自己免疫疾患、肝炎等の幅広い疾患を対象とした事例研究を重点的に行うことで現場に役立つ方法論の構築を重視する。最終的には、全フェーズを通して、個別化医療の臨床開発のための方法論の構築を試みる。

#### フェーズ1: 診断法の開発

探索的臨床試験、診療観察研究での各種オミクスデータを用いた診断法の開発

#### フェーズ2: 診断法の評価

内的妥当性:診断法を開発した同一データ上での予測精度の評価(過適合の補正等) 外的妥当性:外部の患者集団を用いた予測精度の評価

#### フェーズ3: 診断法に基づく治療法の有効性の検証

開発した診断法が規定する患者サブ集団に基づく治療法の有効性の検証 (ランダム化臨床試験のデザイン(サンプルサイズ設計、中間解析含む)

#### フェーズ4: 臨床有用性の評価と治療の意思決定

診断法のメタアナリシス、医療現場での個々患者に対する治療法選択

図1: 個別化医療開発における4つのフェーズ

#### 3.研究の方法

図1の4つのフェーズのそれぞれは、図2に示すような課題分類から構成される。

#### フェーズ1: 診断法の開発

- 1-1) オミクスデータを用いた診断マーカー解析 階層モデリング、多層オミクス解析、疾患異質性の非線形 モデリング等による疾患・予後・薬剤反応との関連解析
- 1-2) 探索的臨床試験での診断マーカー解析 ベイズ流デザイン(適応的ランダム化・適用的患者サブ集団選択) 大規模探索的試験(umbrella/basket 試験)のデザイン

### フェーズ3: 診断法に基づく治療法の有効性の検証

- 3-1) 診断法を用いたランダム化臨床試験のデザイン サンプルサイズ設計、統計解析プラン(中間解析含む)
- 3-2)診断法開発と治療効果検証を同時に行う臨床試験のデザインランダム化試験での治療効果予測法の開発サンプルサイズ設計、統計解析プラン
- 3-3) 治療効果の推定 データ適応的に選択した患者サブ集団での推定バイアスの補正

#### フェーズ2: 診断法の評価

- 2-1) 内的妥当性の評価 モデルに基づく過適合の補正(治療効果の推定パイアス補正、 標本再抽出に代わるモデル補正)、因果モデル解析での感度分析
- 2-2) 外的妥当性の評価 外部集団設定のアプローチと臨床研究のデザイン

# フェーズ4: 臨床有用性の評価と治療の意思決定

- 4-1) 診断法のメタアナリシス オミクスデータのメタアナリシスによる診断法開発
- 4-2) 医療現場での個々の患者に対する治療法選択 治療選択の意思決定支援ツール開発

# 図2:方法論研究の課題分類

全研究期間を通して図 2 にあげた個々の研究課題別の検討を基本とするが、研究期間の後期ではフェーズ間で方法論の調整を行い、全フェーズを通しての方法論の構築を試みる。

なお、すべての検討は以下に示す三つの研究者グループ(国内外の研究協力者含む)からなる研究体制のもとで取り組む(三層構造)。

- A) 方法論検討グループ: 生物統計・統計科学、機械学習、臨床疫学の方法論の専門家であり、グループ B), C) から提供される事例研究に対して、個別研究課題を同定し、これを方法論研究の課題分類(図2)に分類する。その上で、統計・機械学習の方法・ツールの検討・開発をグループ B)と共同で行い、さらに、その集積に基づいて方法論の構築を行う。
- B) **事例提供・方法実践グループ**: 臨床研究での支援・実践で豊富な経験を有する生物統計家から構成され、それぞれが所属する医学研究拠点(大学附属病院、国立病院)で計画中・実施中の個別化医療開発事例を全フェーズ横断的に提供し、グループ A), C) と連携して統計・機械学習

の問題の同定と解決に向けた検討を行う。さらに、この検討を通して得た適切な統計・機械学習 方法(ソリューション)を当該事例に適用することで事例研究(医学研究)にも貢献する。

C) 疾患領域別検討グループ: 各疾患領域で個別化医療の開発に従事している医師・医学研究者であり、個別化医療の開発事例を提供するとともに、グループ A),B)での検討に対して、専門疾患領域での基礎研究、臨床研究、診療経験等を踏まえて医学的示唆・考察を提供する。

以上より、本研究の成果は、個別化医療開発での統計・機械学習の「方法・ツール、方法論の構築」と多くの「個別事例課題の解決」(題材となった医学研究への貢献含む)の二つに分類することができる。

#### 4.研究成果

(1) 方法・ツール、方法論の構築

フェーズ1:診断法の開発

#### 1-1)オミクスデータを用いた診断マーカー解析

オミクスデータの教師あり解析 (supervised analysis) は、大きく判別・予測解析と多重検定に 分類できるが、全オミクス変数を対象としたセミパラメトリック階層モデリングと経験ベイズ による「データ構造の推定」という新たなアプローチを提唱した。これは、ゲノムを含むオミク スの高次元変数と表現型(疾患、予後、薬剤反応等)との関連構造をノンパラメトリックにあり のままに推定するものであり、新たな関連構造の発見に有効と考えられる。このことが顕著に見 てとれるのは、疾患サブタイプや治療の違いなどで複数の患者サブ集団が存在するケースであ る[12]。この方法により、サブ集団内での関連構造はもとより、サブ集団を組み合わせたときに 出現する関連構造も発見できる。後者の関連構造は事前に想定することが困難であり、関連パタ ーンを事前に指定する必要のある従来の方法ではうまく検出できない。以上のアプローチでは、 オミクス変数のセットに対して偽発見率(false discovery rate; FDR)の推定も可能であり、オミ クス変数間の情報共有によって通常の多重検定よりも高い検出力を発揮できる。さらに、後述の ように判別・予測解析への展開も考えられる。本研究では、以上のアプローチをゲノムデータ解 析[5,11]、遺伝子発現データ解析[12]、脳画像データ解析[7]という異なるデータ構造を持つ解析 に展開した。今後は、オミクス変数の背後にある潜在的構造の検出、複数の表現型の同時モデリ ングなどの展開も考えられる(現在進行中)。以上の推定に基づくアプローチは、従来の判別・ 予測や多重検定とは異なる教師あり解析の第三の枠組みとして今後発展することが期待される。 ゲノム、トランスクリプトーム、プロテオーム等のデータを同時に扱う多層オミクスの解析で は、分子生物学上の知見を取り入れた薬剤副作用予測[13]、疾患特異性の検出のためのアルゴリ ズム[14]などの多くの方法を開発した。重要な方法論上の成果の一つとして、画像データ解析で 有効な畳み込みニューラルネットワーク (convolutional neural network; CNN) を高次元のオミク スデータに適用可能としたことがあげられる[4]。この方法は、オミクスデータを CNN モデル に最適な形で適合するような画像データの一種に変換し、クラス活性化マップから関連遺伝子 マーカーなどの特徴量を検出するものである。柔軟な深層学習による予測能の向上とともに、因 果メカニズムの検討に重要となる生物学的に解釈可能な出力を可能とする工夫も施している。

一方、非線形モデリング等による疾患・予後・薬剤反応との関連解析においては、HSIC Lasso等の非線形モデリングによる特徴量抽出[10,21,22]、ネスト型混合モデリング、転移学習による予後解析、多段階のマーカー検出法[8]などの多くの方法を開発した。

# 1-2) 探索的臨床試験での診断マーカー解析

診断マーカーを探索する臨床試験(第一相・第二相試験)に関して数多くの試験デザインが提案されているが、近年は、複数のサブ試験を一つのプラットフォームで行うマスタープロトコル試験(umbrella/basket/platform 試験)の試みもあり、この分野は急速に進展している。最初のステップとして、最新の展開も含めて網羅的レビューを行い、試験デザインとデータ解析法を整理した[25,26]。その上で、今後増加が見込まれる多剤の評価や試験条件の適応的な変更を可能とする試験デザイン[6,15,16]、能動的レベル集合推定による用量探索デザイン(論文準備中)などの新規方法を開発した。特に、後者は、試験内で実施した治療セット(異なる用法・用量含む)以外の有望な治療の候補を提示できる点が大きな特徴であり、試験内で実施した治療セットに限定して探索を行う従来のアプローチとは一線を画すものである。

以上のように、フェーズ1においては、診断法開発に資する診断マーカーの多様な解析において数多くの魅力的な方法・ツールを開発できており、今後の更なる発展も期待できる。当初の目標は十分達成されたと考える。

# フェーズ2:診断法の評価

### 2-1) 内的妥当性の評価

予測アルゴリズムを作成した同一データセット内で予測精度を評価する標本再抽出法(cross-validation 等)に代わるアプローチとして、1-1)に示したデータ構造推定に基づくアプローチによる方法について検討した(論文準備中)。このアプローチは、オミクスなどの多次元変数の背後にある関連構造の柔軟な推定のみならず、各変数の関連サイズの事後推定(縮小推定)により罰則付き回帰を構成できる。別途標本再抽出を行うことで同様の縮小推定を得ることもできるが、これをモデルベースに得ることで、標本再抽出を経ずに予測精度を直接推定することが可能

となる。この種の評価法は、標本再抽出と組み合わせた従来の予測解析の精度評価とは異なる新 しい展開である。

## 2-2) 外的妥当性の評価

新規診断法は最終的に独立した患者集団で予測精度(外的妥当性)を検証する必要があるが、 利用可能なデータリソース、研究デザインは事例によって千差万別である。いくつかの事例研究 において外的妥当性評価のための研究をデザインし、診断法の検証に成功した。

以上、フェーズ 2 では、内的妥当性の評価に関する新たなアプローチを提案できた。一方、研究リソースの制限により実施困難なことが多い外的妥当性評価においても複数の研究をデザインし、検証の成果を得た。以上より、当初の目標は達成されたと考える。

# フェーズ3:診断法に基づく治療法の有効性の検証

# 3-1) 診断法を用いたランダム化臨床試験のデザイン

中間解析を含む統計解析プラン、サンプルサイズ設計について既存の方法をレビュー、整理し[24,27]、診断法の精度を踏まえて治療効果の検証を行う試験デザインと統計解析法について提案した。試験デザイン面では、複数の患者サブ集団を対象としつつも、全体の患者集団に対するデザイン基準が従来適用されてきたが、治療効果の出現が最も期待されるサブ集団とそうでない集団に対して異なるデザイン基準を導出した[17]。一方、統計解析面では、複数のサブ集団を通しての治療効果の検証(多重検定)において、第一種の過誤の強制御を伴う従来の多重検定方式の問題点を指摘し、弱制御の検定と治療効果の推定に基づく新たな検証の枠組みを提唱し、その枠組みにおける症例数設計の方法を提案した[9]。

# 3-2) 診断法開発と治療効果検証を同時に行う臨床試験のデザイン

この種の臨床試験は魅力的であるものの、挑戦的で失敗のリスクが高いことから現在においても適用例は限られる。系統的な文献検索により、適用事例を網羅し、適用されている試験デザイン・統計解析の方法、及び、試験を実施面での課題を整理した[1,24,27]。

#### 3-3) 治療効果の推定

3-1, 3-2 の臨床試験の特徴は、試験データに基づいて治療効果を見込める患者サブ集団を選択できることであるが(データ駆動的な集団選択)、ほとんどの事例ではこのことが考慮されずに治療効果の推定が行われ、推定バイアスの問題を招いている。本研究では、データ駆動的な集団選択を条件付ける治療効果の推定として、バイアス関数の評価に基づく方法[20]と確率化検定に基づく方法[2]を開発した。後者の方法は、集団選択のみならず、試験中止・継続、試験治療の絞り込み等を行う幅広い適応的な統計解析・デザインに対しても適用可能であり、点推定・区間推定を同じ尤度に基づいて行えるという利点も併せ持つ(論文準備中)。適応的解析・デザインを実施する臨床試験全般における治療効果推定の汎用的なアプローチとして今後の更なる発展が期待できる。

以上、フェーズ3に関しては、臨床試験のデザインと統計解析の両面で、従来の評価の枠組み や方法を刷新することができたことから、当初の目標は達成されたと考える。

#### フェーズ4: 臨床有用性の評価と治療の意思決定

# 4-1)診断法のメタアナリシス

診断法の精度・臨床的有用度の指標、ROC 曲線の統合解析[19]などについて検討を行った。また、オミクスデータを直接用いたメタアナリシスという新たな試みとして、遺伝子発現データを用いた動的な予後診断法を新たに提案した[18,23]。

#### 4-2) 医療現場での個々の患者に対する治療法選択

医療現場での治療選択の意思決定支援ツール開発の一環として、上記の動的予後診断解析に対して、治療前の患者背景変数も用いた予後予測も包括する形で現場での使用を想定した web に基づく診断システムを開発した[3]。

以上、フェーズ4においては、当初の研究項目を全てカバーし、それぞれで一定以上の成果を あげることができた。

### (2) 事例個別課題の解決

当初の計画を大きく上回る数の事例研究を行った。大腸がんステージ2における予後因子の検証、血液に基づく膵がん診断、二型糖尿病患者における薬剤効果予測、心肺停止後蘇生における神経学的予後予測、救急外来における中枢性めまいの診断、上皮性卵巣がんの予後診断、院内肺炎・人工呼吸器関連肺炎の耐性菌のリスク因子、多発性骨髄腫患者における薬剤効果予測などの臨床研究に本研究で検討した統計的手法を適用し、成果の多くは医学研究論文として発表した。

以上の統計・機械学習の方法論研究、事例研究の成果を踏まえ、個別化医療の臨床開発の研究 デザイン・統計解析の枠組み・方法論の基本的事項を整理して出版した[1,24,27]。なお、今後、 国際シンポジウム開催を通し、海外グループの研究成果も含む形で洋書を出版することを考え ている

本研究プロジェクトで実施した研究の多くは、統計科学・情報学の方法論研究の発展に直接資するものである。実際、多くの研究の成果は、生物統計、製薬統計、生物情報学、臨床科学等の

有力な国際ジャーナル(多くがトップジャーナル)で発表されている。新たに見いだされた方法 論研究の方向性も数多く存在する。以上、本プロジェクトは、統計科学・情報学研究の今後の発 展はもとより、今後の個別化医療開発の効率性、成功確率の向上にも多大な貢献をもたらすもの と総括する。

### < 引用文献 >

- 1. 松井茂之. 個別化医療の臨床試験:デザインとデータ解析. 計量生物学 2022; 43: 97-119.
- 2. Toyoizumi K, Matsui S. (2022). Bias correction based on weighted likelihood for conditional estimation of subgroup effects in randomized clinical trials. *Stat Med.* 2022; 41: 5276-5289.
- 3. Emura T, Michimae H, Matsui S. Dynamic risk prediction via a joint frailty-copula model and IPD meta-analysis: Building web applications. *Entropy* 2022; 24: 589.
- 4. Sharma A, et al. DeepFeature: feature selection in nonimage data using convolutional neural network. *Brief Bioinform.* 2021; 22:bbab297.
- 5. Morisawa J, et al. Semi-parametric empirical Bayes factor for genome-wide association studies. *Eur J Hum Genet*. 2021; 29: 800-807.
- 6. Igeta M, Matsui S. Blinded sample size re-estimation in comparative clinical trials with overdispersed count data: Incorporation of misspecification of the variance function. *Stat Biopharm Res.* 2021; 13: 170-180.
- 7. Emoto R, et al. Effect-size estimation using semiparametric hierarchical mixture models in disease-association studies with neuroimaging data. *Comput Math Methods Med.* 2020; Article ID 7482403.
- 8. Kawabata T, et al. Two-stage analysis for selecting fixed numbers of features in omics association studies. *Stat Med.* 2019; 38: 2956-2971.
- 9. Nonaka T, Igeta M, Matsui S. Statistical testing strategies for assessing treatment efficacy and marker accuracy in phase III trials. *Pharm Stat.* 2019; 18: 459-475.
- 10. Climente-González H, Azencott, CA, Kaski S, Yamada M. Block HSIC Lasso: model-free biomarker detection for ultra-high dimensional data. *Bioinformatics* 2019; 35: i427-i435.
- 11. Nishino J, et al. Empirical Bayes estimation of semi-parametric hierarchical mixture models for unbiased characterization of polygenic disease architectures. *Front Genet*. 2018; 9: 115.
- 12. Matsui S, et al. Multi-subgroup gene screening using semi-parametric hierarchical mixture models and the optimal discovery procedure: application to a randomized clinical trial in multiple myeloma. *Biometrics* 2018; 74: 313-320.
- 13. Lysenko A, et al. An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety. *Life Sci Alliance*. 2018; 1: e201800098.
- 14. Sharma R, et al. OPAL: prediction of MoRF regions in intrinsically disordered protein sequences. *Bioinformatics*. 2018; 34: 1850-1858.
- 15. Shimamura F et al. Two-stage approach based on zone and dose findings for two-agent combination phase I/II trials. *J Biopharm Stat.* 2018; 28: 1025-1037.
- 16. Igeta M, Takahashi K, Matsui S. Power and sample size calculation incorporating misspecifications of the variance function in comparative clinical trials with over-dispersed count data. *Biometrics* 2018; 74: 1459-1467.
- 17. Matsui S, Crowley J. Biomarker-stratified phase III clinical trials: enhancement with a subgroup-focused sequential design. *Clin Cancer Res.* 2018; 24: 994-1001.
- Emura T et al. Personalized dynamic prediction of death according to tumour progression and highdimensional genetic factors: Meta-analysis with a joint model. Stat Meth Med Res. 2018; 27: 2842-2858.
- 19. Hattori S, Zhou XH. Sensitivity analysis for publication bias in meta-analysis of diagnostic studies for a continuous biomarker. *Stat Med.* 2018; 37: 327-342.
- 20. Toyoizumi K, Matsui S. Correcting estimation bias in randomized clinical trials with a test of treatment-by-biomarker interaction. *Stat Biopharm Res.* 2017; 9: 172-179.
- 21. Jen Ning Lim, et al. More powerful selective kernel tests for feature selection. International Conference on Artificial Intelligence and Statistics (AISTATS2020). 2020.
- 22. Qiang Huang, et al. Unsupervised nonlinear feature selection from high-dimensional signed networks. 34th AAAI Conference on Artificial Intelligence (AAAI), 2020.
- 23. Emura T, et al. Survival Analysis with Correlated Endpoints, Springer, 2019.
- 24. Matsui S, Igeta M, Toyoizumi K. Biomarker-based phase II and III clinical trials in oncology. In *Textbook of Clinical Trials in Oncology*. (eds. S. Halabi and S. Michiels), CRC Press, 2019.
- 25. Daimon T, Hirakawa A, Matsui S. *Dose-Finding Designs for Early-Phase Cancer Clinical Trials: A Brief Guidebook to Theory and Practice*, Springer, 2019.
- 26. Hirakawa A, Sato H, Daimon T, Matsui S. Modern Dose-Finding Designs for Cancer Phase I Trials: Drug Combination and Molecularly Targeted Agents. Springer, 2018.
- 27. Matsui S, Crowley J (Editors). Frontiers of Biostatistical Methods and Applications in Clinical Oncology, Springer, 2017.

# 5 . 主な発表論文等

「雑誌論文 〕 計89件(うち査詩付論文 89件/うち国際共著 33件/うちオープンアクセス 30件)

1 著名名	〔雑誌論文〕 計89件(うち査読付論文 89件/うち国際共著 33件/うちオープンアクセス 30件)	
個別化医療の臨床試験:デザインとデータ解析  3 補語名 計量生物学  4 記録ののロ(デジタルオブジェクト識別子) 10.5891/jjb.43.97  オーブンアクセス  1 著名名 Toyoizumi K, Matsui S.  2 論文様題 Bias correction based on weighted likelihood for conditional estimation of subgroup effects in randomized clinical trials 3 補語名 Statt Wed  5 . 乗行年 2022年  第 3 補語名 Statt Wed  6 . 最初と最後の頁 5276-5289.  第 3 神経・	1 . 著者名	
計畫生物学		
1. 著名名		
オープンアクセスとしている(また、その予定である)		
1.著者名 Toyoizumi K, Matsui S.  2.論文標題 Bias correction based on weighted likelihood for conditional estimation of subgroup effects in randomized clinical trials 3.辨誌名 Stat Med Stat Med Stat Med  4.巻 10.1002/sim.9567  加速数のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/sim.9567  オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難  1.著者名 Enoto R, Nishikimi M, Shoaib M, Hayashida K, Nishida K, Kikutani K, Ohshimo S, Matsui S, Shime N, Iswani T. 2.論文標題 Prediction of prehospital change of the cardiac rhythm from nonshockable to shockable in out-of-hospital patients with cardiac arrest: A post hoc analysis of a nationwide, multicenter, prospective registry  3.雑誌名 J Am Heart Assoc.  6.最初と最後の頁 e025048  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  7. 1.著者名 Sano M, Shindo Y, Takahashi K, Okumura J, Sakakibara T, Murakami Y, Iguchi M, Yagi T, Matsui S, Hasegawa Y. 2.論文標題 Risk factors for antibiotic resistance in hospital-acquired and ventilator-associated pneumonia 3.雑誌名 5.発行年 2022年 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁	· · · · · = · ·	国際共著
Toyoizumi K, Matsui S.   41		
Bias correction based on weighted likelihood for conditional estimation of subgroup effects in randomized clinical trials  3. 雑誌名 Stat Med  6. 最初と最後の頁 5276-5289.  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/sim.9567  オープンアクセス  1. 著者名 Emoto R, Nishikimi M, Shoaib M, Hayashida K, Nishida K, Kikutani K, Ohshimo S, Matsui S, Shime N, Iwami T.  2. 論文標題 Prediction of prehospital change of the cardiac rhythm from nonshockable to shockable in out-of-hospital patients with cardiac arrest: A post hoc analysis of a nationwide, multicenter, prospective registry  3. 雑誌名 J Am Heart Assoc.  4. 巻 11 5. 発行年 2022年  3. 雑誌名  4. 巻 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	—	
器載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/sim.9567  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Emoto R, Nishikimi M, Shoaib M, Hayashida K, Nishida K, Kikutani K, Ohshimo S, Matsui S, Shime N, Iwami T. 2. 論文標題 Prediction of prehospital change of the cardiac rhythm from nonshockable to shockable in out-of-hospital patients with cardiac arrest: A post hoc analysis of a nationwide, multicenter, prospective registry  3. 雑誌名 J Am Heart Assoc.  信報論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/JAHA.121.025048  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Sano M, Shindo Y, Takahashi K, Okumura J, Sakakibara T, Murakami Y, Iguchi M, Yagi T, Matsui S, Hassegawa Y. 2. 論文標題 Risk factors for antibiotic resistance in hospital-acquired and ventilator-associated pneumonia 3. 雑誌名 6. 最初と最後の頁	Bias correction based on weighted likelihood for conditional estimation of subgroup effects in	
10.1002/sim.9567 有		
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 Emoto R, Nishikimi M, Shoaib M, Hayashida K, Nishida K, Kikutani K, Ohshimo S, Matsui S, Shime N, Iwami T. 2 . 論文標題 Prediction of prehospital change of the cardiac rhythm from nonshockable to shockable in outof-hospital patients with cardiac arrest: A post hoc analysis of a nationwide, multicenter, prospective registry 5 . 発行年 2022年		
1 . 著者名 Emoto R, Nishikimi M, Shoaib M, Hayashida K, Nishida K, Kikutani K, Ohshimo S, Matsui S, Shime N, Iwami T.  2 . 論文標題 Prediction of prehospital change of the cardiac rhythm from nonshockable to shockable in outof-hospital patients with cardiac arrest: A post hoc analysis of a nationwide, multicenter, prospective registry  3 . 雑誌名 J Am Heart Assoc.  6 . 最初と最後の頁 e025048    大ープンアクセス		国際共著
Emoto R, Nishikimi M, Shoaib M, Hayashida K, Nishida K, Kikutani K, Ohshimo S, Matsui S, Shime N, Iwami T.  2 . 論文標題 Prediction of prehospital change of the cardiac rhythm from nonshockable to shockable in outof-hospital patients with cardiac arrest: A post hoc analysis of a nationwide, multicenter, prospective registry  3 . 雑誌名 G. 最初と最後の頁 e025048  4 . 養 Aープンアクセス を オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	カープンプラとスにはない、人はカープンプラとスが四乗	
2. 論文標題 Prediction of prehospital change of the cardiac rhythm from nonshockable to shockable in outor-hospital patients with cardiac arrest: A post hoc analysis of a nationwide, multicenter, prospective registry  3. 雑誌名 J Am Heart Assoc.  4 動動 と最後の頁 e025048  4 動動 を	Emoto R, Nishikimi M, Shoaib M, Hayashida K, Nishida K, Kikutani K, Ohshimo S, Matsui S, Shime	
J Am Heart Assoc.   e025048   e025048	2.論文標題 Prediction of prehospital change of the cardiac rhythm from nonshockable to shockable in out- of-hospital patients with cardiac arrest: A post hoc analysis of a nationwide, multicenter,	
10.1161/JAHA.121.025048 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 -  1.著者名 Sano M, Shindo Y, Takahashi K, Okumura J, Sakakibara T, Murakami Y, Iguchi M, Yagi T, Matsui S, Hasegawa Y. 2.論文標題 Risk factors for antibiotic resistance in hospital-acquired and ventilator-associated pneumonia 5.発行年 2022年 3.雑誌名 6.最初と最後の頁		
コ・著者名 Sano M, Shindo Y, Takahashi K, Okumura J, Sakakibara T, Murakami Y, Iguchi M, Yagi T, Matsui S, Hasegawa Y.  2 ・論文標題 Risk factors for antibiotic resistance in hospital-acquired and ventilator-associated pneumonia  3 ・雑誌名  - 4 ・巻 28 5 ・発行年 2022年		II .
Sano M, Shindo Y, Takahashi K, Okumura J, Sakakibara T, Murakami Y, Iguchi M, Yagi T, Matsui S, Hasegawa Y.  2 . 論文標題 Risk factors for antibiotic resistance in hospital-acquired and ventilator-associated pneumonia  3 . 雑誌名  6 . 最初と最後の頁		国際共著
2.論文標題 Risk factors for antibiotic resistance in hospital-acquired and ventilator-associated pneumonia  3.雑誌名 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁	Sano M, Shindo Y, Takahashi K, Okumura J, Sakakibara T, Murakami Y, Iguchi M, Yagi T, Matsui S,	
	2 . 論文標題	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	10.1016/j.jiac.2022.02.012	有
オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 -		国際共著

1.著者名 Emura T, Michimae H, Matsui S	4.巻 24
2.論文標題 Dynamic risk prediction via a joint frailty-copula model and IPD meta-analysis: Building web applications	5 . 発行年 2022年
3. 雑誌名	6.最初と最後の頁
Entropy	589
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3390/e24050589	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名	4 . 巻
Nishida K, Usami T, Matsumoto N, Nishikimi M, Takahashi K, Matsui S	84
2.論文標題	5 . 発行年
The finger-to-nose test improved diagnosis of cerebrovascular events in patients presenting with isolated dizziness in the emergency department.	2022年
3.雑誌名 Nagoya J Med Sci	6 . 最初と最後の頁 621-629
Nagoya o med dei	021-023
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.18999/nagjms.84.3.621	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名 Emoto R, Kawaguchi A, Takahashi K, Matsui S.	4 . 巻 -
2.論文標題	5 . 発行年
Effect-size estimation using semiparametric hierarchical mixture models in disease-association studies with neuroimaging data	2020年
3.雑誌名 Computational and Mathematical Methods in Medicine	6 . 最初と最後の頁 7482403
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本はの左仰
掲載論文のDUI(デンタルオフジェクト識別子) 10.1155/2020/7482403	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1.著者名	4 . 巻
Ueno H, Ishiguro M, Nakatani E, Ishikawa T, Uetake H, Matsui S, Teramukai S, Murotani K, Ajioka Y, Shimazaki H, Maeda A, Takuma K, Yoshida T, Kambara T, Matsuda K, Takagane A, Tomita N, Sugihara K; SACURA Study Group	44
2.論文標題	5 . 発行年
Optimal criteria for G3 (poorly differentiated) stage II colon cancer: Prospective validation in a randomized controlled study (SACURA Trial)	2020年
3.雑誌名 Am J Surg Pathol.	6.最初と最後の頁 1685-1698
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1097/PAS.00000000001570.	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
ク フンティ ころ Clor らい、 人Iのク フンティ にろが 四 無	-

1.著者名	4 . 巻
Kumagai S, Togashi Y, Kamada T,, Matsui S,, Nishikawa H.	21
2.論文標題 The PD-1 expression balance between effector and regulatory T cells predicts the clinical efficacy of PD-1 blockade therapies	5.発行年 2020年
3.雑誌名 Nature Immunology	6.最初と最後の頁 1346-1358
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41590-020-0769-3	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Yoshihara M, Kajiyama H, Tamauchi S, Iyoshi S, Yokoi A, Suzuki S, Kawai M, Nagasaka T, Takahashi K, Matsui S, Kikkawa F.	4.巻 150
2.論文標題 Impact of uterus-preserving surgery on Stage I primary mucinous epithelial ovarian carcinoma: A multi-institutional study with propensity score-weighted analysis	
3.雑誌名 Int J Gynaecol Obstet.	6.最初と最後の頁 177-183
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/ijgo.13244	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Morisawa J, Otani T, Nishino J, Emoto R, Takahashi K, Matsui S.	4.巻   29 
2 . 論文標題 Semi-parametric empirical Bayes factor for genome-wide association studies	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Eur J Hum Genet	6.最初と最後の頁 800-807
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41431-020-00800-x	   査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Ueno H, Ishiguro M, Nakatani E, Ishikawa T, Uetake H, Murotani K, Matsui S, Teramukai S, Sugai T, Ajioka Y, Maruo H, Kotaka M, Tsujie M, Munemoto Y, Yamaguchi T, Kuroda H, Fukunaga M, Tomita N, Sugihara K	4.巻 124
2.論文標題 Prognostic value of desmoplastic reaction characterisation in stage II colon cancer: prospective validation in a Phase 3 study (SACURA Trial)	5.発行年 2021年
3.雑誌名 Br J Cancer.	6.最初と最後の頁 1088-1097
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41416-020-01222-8	 査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1.著者名	4 . 巻
Matsui S, Le-Rademacher J, Mandrekar SJ	16
2.論文標題	5.発行年
Statistical models in clinical studies	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
J Thorac Oncol	734-739
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1016/j.jtho.2021.02.021	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
Yoshihara M, Emoto R, Kitami K, Iyoshi S, Uno K, Mogi K, Tano S, Yoshikawa N, Matsui S, Kajiyama H	11
2 . 論文標題	5 . 発行年
A large-scale multi-institutional study evaluating prognostic aspects of positive ascites cytology and effects of therapeutic interventions in epithelial ovarian cancer	2021年
3.雑誌名 - Cai Dan	6.最初と最後の頁
Sci Rep	15154
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	
10.1038/s41598-021-93718-3	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Sharma A, Lysenko A, Boroevich KA, Vans E, Tsunoda T	22
2.論文標題	5 . 発行年
DeepFeature: feature selection in nonimage data using convolutional neural network	2021年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Brief Bioinform	bbab297
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	
10.1093/bib/bbab297	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
Komukai S, Hattori S	39
2 . 論文標題	5 . 発行年
Doubly robust inference procedure for relative survival ratio in population-based cancer registry data	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Stat Med	1884-1900
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	<u></u>   査読の有無
10.1002/sim.8521	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1 . 著者名	4 . 巻
Igeta M, Matsui S	4 · 글 13
igeta w, watsui S	10
2.論文標題	5.発行年
Blinded sample size re-estimation in comparative clinical trials with overdispersed count data:	2021年
Incorporation of misspecification of the variance function	20214
3.雑誌名	6 見知し見後の百
	6.最初と最後の頁
Stat Biopharm Res	170-180
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
10.1080/19466315.2020.1835711	有
オープンアクセス	国際共著
* * * * * = * *	四际六百
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	<u>-</u>
4 to but	4 <del>7/</del>
1.著者名	4 . 巻
Nishikimi M, Ogura T, Nishida K, Hayashida K, Emoto R, Matsui S, Matsuda N, Iwami T	49
2 . 論文標題	5 . 発行年
Outcome related to level of targeted temperature management in postcardiac arrest syndrome of	2021年
low, moderate, and high severities: A nationwide multicenter prospective registry	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Crit Care Med	e741-e750
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1097/CCM.0000000000005025	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Nonaka Takahiro, Igeta Masataka, Matsui Shigeyuki	18
aaaa	
2.論文標題	5.発行年
Statistical testing strategies for assessing treatment efficacy and marker accuracy in phase	2019年
III trials	2010—
3	6 是初と是後の百
3.雑誌名 Pharmacoutical Statistics	6.最初と最後の頁
3.維誌台 Pharmaceutical Statistics	6 . 最初と最後の頁 459~475
Pharmaceutical Statistics	459 ~ 475
Pharmaceutical Statistics 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	459~475 査読の有無
Pharmaceutical Statistics	459 ~ 475
Pharmaceutical Statistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/pst.1937	459~475 査読の有無 有
Pharmaceutical Statistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/pst.1937 オープンアクセス	459~475 査読の有無
Pharmaceutical Statistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/pst.1937	459~475 査読の有無 有
Pharmaceutical Statistics 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/pst.1937 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	459~475 査読の有無 有 国際共著
Pharmaceutical Statistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/pst.1937 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	459~475 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻
Pharmaceutical Statistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/pst.1937  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sakai Yoshio、Honda Masao、Matsui Shigeyuki、Komori Osamu、Murayama Toshinori、Fujiwara	459~475 査読の有無 有 国際共著
Pharmaceutical Statistics 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/pst.1937  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sakai Yoshio、Honda Masao、Matsui Shigeyuki、Komori Osamu、Murayama Toshinori、Fujiwara Tadami、et al.	本読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 110
Pharmaceutical Statistics 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/pst.1937  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sakai Yoshio、Honda Masao、Matsui Shigeyuki、Komori Osamu、Murayama Toshinori、Fujiwara Tadami、et al. 2 . 論文標題	本語の有無 有 国際共著 - 4.巻 110 5.発行年
Pharmaceutical Statistics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/pst.1937  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sakai Yoshio、Honda Masao、Matsui Shigeyuki、Komori Osamu、Murayama Toshinori、Fujiwara Tadami、et al. 2 . 論文標題 Development of novel diagnostic system for pancreatic cancer、including early stages、measuring	本読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 110
Pharmaceutical Statistics 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/pst.1937  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sakai Yoshio、Honda Masao、Matsui Shigeyuki、Komori Osamu、Murayama Toshinori、Fujiwara Tadami、et al. 2 . 論文標題 Development of novel diagnostic system for pancreatic cancer, including early stages, measuring mRNA of whole blood cells	本誌の有無 有 国際共著 - 4.巻 110 5.発行年 2019年
Pharmaceutical Statistics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/pst.1937  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sakai Yoshio、Honda Masao、Matsui Shigeyuki、Komori Osamu、Murayama Toshinori、Fujiwara Tadami、et al. 2 . 論文標題 Development of novel diagnostic system for pancreatic cancer、including early stages、measuring	本語の有無 有 国際共著 - 4.巻 110 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
Pharmaceutical Statistics 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/pst.1937  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sakai Yoshio、Honda Masao、Matsui Shigeyuki、Komori Osamu、Murayama Toshinori、Fujiwara Tadami、et al. 2 . 論文標題 Development of novel diagnostic system for pancreatic cancer, including early stages, measuring mRNA of whole blood cells	本誌の有無 有 国際共著 - 4.巻 110 5.発行年 2019年
Pharmaceutical Statistics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/pst.1937  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sakai Yoshio、Honda Masao、Matsui Shigeyuki、Komori Osamu、Murayama Toshinori、Fujiwara Tadami、et al.  2 . 論文標題 Development of novel diagnostic system for pancreatic cancer, including early stages, measuring mRNA of whole blood cells  3 . 雑誌名	本語の有無 有 国際共著 - 4.巻 110 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/pst.1937	本語の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 110 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1364~1388
Pharmaceutical Statistics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/pst.1937  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sakai Yoshio、Honda Masao、Matsui Shigeyuki、Komori Osamu、Murayama Toshinori、Fujiwara Tadami、et al.  2 . 論文標題 Development of novel diagnostic system for pancreatic cancer, including early stages, measuring mRNA of whole blood cells  3 . 雑誌名	本語の有無 有 国際共著 - 4.巻 110 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/pst.1937	本語の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 110 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1364~1388
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本語の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 110 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1364~1388
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本語の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 110 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1364~1388

1.著者名	. 111
	4.巻   38
Kawabata Takanori, Emoto Ryo, Nishino Jo, Takahashi Kunihiko, Matsui Shigeyuki	38
2.論文標題	5 . 発行年
Two stage analysis for selecting fixed numbers of features in omics association studies	2019年
Two Stage analysis for selecting fixed numbers of features in onites association studies	20194
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Statistics in Medicine	2956~2971
Statistics in wedicine	2930 2971
<b>『</b> 『 『 『 『 『 『 『 』 『 『 』 『 『 』 『 』 『 『 』 』 『 』 『 』 』 』 』 『 』 』 』 『 』 』 』 』 』 『 』 』 』 』 』 』 』 』 』 『 』	査読の有無
10.1002/sim.8150	有
<b>け</b> ープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Yoshihara Masato、Kajiyama Hiroaki、Tamauchi Satoshi、Iyoshi Shohei、Yokoi Akira、Suzuki	50
Shiro、Kawai Michiyasu、Nagasaka Tetsuro、Takahashi Kunihiko、Matsui Shigeyuki、Kikkawa	
Fumitaka	
2. 論文標題	5 . 発行年
Prognostic impact of pelvic and para-aortic lymphadenectomy on clinically-apparent stage I	2020年
primary mucinous epithelial ovarian carcinoma: a multi-institutional study with propensity	
score-weighted analysis	
. 雜誌名	6.最初と最後の頁
Japanese Journal of Clinical Oncology	145-151
理動会立のPOL(ごぶカルナゴジェカト強型フト	本性の方無
調載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1093/jjco/hyz163	有
t − プンアクセス	国際共著
=	国际共者 
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
   . 著者名	4 . 巻
	4·20   1
Nakajima Hiroki、Nishikimi Mitsuaki、Shimizu Miho、Hayashi Kazuhiro、Inoue Takayuki、Nishida	1
Kazuki Takabaahi Kunihika Mataui Shigayuki Niahida Yashihira Matauda Nagyuki	·
Kazuki, Takahashi Kunihiko, Matsui Shigeyuki, Nishida Yoshihiro, Matsuda Naoyuki	
Kazuki、Takahashi Kunihiko、Matsui Shigeyuki、Nishida Yoshihiro、Matsuda Naoyuki 2 . 論文標題	5.発行年
Kazuki、Takahashi Kunihiko、Matsui Shigeyuki、Nishida Yoshihiro、Matsuda Naoyuki 2.論文標題 Clinical Frailty Scale Score Before ICU Admission Is Associated With Mobility Disability in	
Kazuki、Takahashi Kunihiko、Matsui Shigeyuki、Nishida Yoshihiro、Matsuda Naoyuki 2.論文標題 Clinical Frailty Scale Score Before ICU Admission Is Associated With Mobility Disability in Septic Patients Receiving Early Rehabilitation	5 . 発行年 2019年
Kazuki、Takahashi Kunihiko、Matsui Shigeyuki、Nishida Yoshihiro、Matsuda Naoyuki . 論文標題 Clinical Frailty Scale Score Before ICU Admission Is Associated With Mobility Disability in Septic Patients Receiving Early Rehabilitation . 雑誌名	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Kazuki、Takahashi Kunihiko、Matsui Shigeyuki、Nishida Yoshihiro、Matsuda Naoyuki . 論文標題 Clinical Frailty Scale Score Before ICU Admission Is Associated With Mobility Disability in Septic Patients Receiving Early Rehabilitation	5 . 発行年 2019年
Kazuki、Takahashi Kunihiko、Matsui Shigeyuki、Nishida Yoshihiro、Matsuda Naoyuki . 論文標題 Clinical Frailty Scale Score Before ICU Admission Is Associated With Mobility Disability in Septic Patients Receiving Early Rehabilitation . 雑誌名	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Kazuki、Takahashi Kunihiko、Matsui Shigeyuki、Nishida Yoshihiro、Matsuda Naoyuki . 論文標題 Clinical Frailty Scale Score Before ICU Admission Is Associated With Mobility Disability in Septic Patients Receiving Early Rehabilitation . 雑誌名 Critical Care Explorations	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 -
Kazuki、Takahashi Kunihiko、Matsui Shigeyuki、Nishida Yoshihiro、Matsuda Naoyuki ・論文標題 Clinical Frailty Scale Score Before ICU Admission Is Associated With Mobility Disability in Septic Patients Receiving Early Rehabilitation ・雑誌名 Critical Care Explorations	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
Kazuki、Takahashi Kunihiko、Matsui Shigeyuki、Nishida Yoshihiro、Matsuda Naoyuki . 論文標題 Clinical Frailty Scale Score Before ICU Admission Is Associated With Mobility Disability in Septic Patients Receiving Early Rehabilitation . 雑誌名 Critical Care Explorations	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 -
Kazuki、Takahashi Kunihiko、Matsui Shigeyuki、Nishida Yoshihiro、Matsuda Naoyuki .論文標題 Clinical Frailty Scale Score Before ICU Admission Is Associated With Mobility Disability in Septic Patients Receiving Early Rehabilitation . 雑誌名 Critical Care Explorations  載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/CCE.0000000000000066	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有
Kazuki、Takahashi Kunihiko、Matsui Shigeyuki、Nishida Yoshihiro、Matsuda Naoyuki . 論文標題 Clinical Frailty Scale Score Before ICU Admission Is Associated With Mobility Disability in Septic Patients Receiving Early Rehabilitation . 雑誌名 Critical Care Explorations    載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/CCE.0000000000000066	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
Kazuki、Takahashi Kunihiko、Matsui Shigeyuki、Nishida Yoshihiro、Matsuda Naoyuki ・論文標題 Clinical Frailty Scale Score Before ICU Admission Is Associated With Mobility Disability in Septic Patients Receiving Early Rehabilitation ・雑誌名 Critical Care Explorations	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有
Kazuki、Takahashi Kunihiko、Matsui Shigeyuki、Nishida Yoshihiro、Matsuda Naoyuki ・論文標題 Clinical Frailty Scale Score Before ICU Admission Is Associated With Mobility Disability in Septic Patients Receiving Early Rehabilitation ・雑誌名 Critical Care Explorations  ・ 対象論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/CCE.00000000000000066  ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著
Kazuki、Takahashi Kunihiko、Matsui Shigeyuki、Nishida Yoshihiro、Matsuda Naoyuki ・論文標題 Clinical Frailty Scale Score Before ICU Admission Is Associated With Mobility Disability in Septic Patients Receiving Early Rehabilitation ・雑誌名 Critical Care Explorations  郵輸文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/CCE.00000000000000066  ープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 ・著者名	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著
Kazuki、Takahashi Kunihiko、Matsui Shigeyuki、Nishida Yoshihiro、Matsuda Naoyuki ・論文標題 Clinical Frailty Scale Score Before ICU Admission Is Associated With Mobility Disability in Septic Patients Receiving Early Rehabilitation ・雑誌名 Critical Care Explorations  書載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/CCE.00000000000000066  ープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  ・著者名 Fujii Tasuku、Shibata Yasuyuki、Akane Akiko、Aoki Wakana、Sekiguchi Akiko、Takahashi	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著
Kazuki、Takahashi Kunihiko、Matsui Shigeyuki、Nishida Yoshihiro、Matsuda Naoyuki ・論文標題 Clinical Frailty Scale Score Before ICU Admission Is Associated With Mobility Disability in Septic Patients Receiving Early Rehabilitation ・雑誌名 Critical Care Explorations  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/CCE.00000000000000066  ープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  ・著者名 Fujii Tasuku、Shibata Yasuyuki、Akane Akiko、Aoki Wakana、Sekiguchi Akiko、Takahashi Kunihiko、Matsui Shigeyuki、Nishiwaki Kimitoshi	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 74
Kazuki、Takahashi Kunihiko、Matsui Shigeyuki、Nishida Yoshihiro、Matsuda Naoyuki . 論文標題 Clinical Frailty Scale Score Before ICU Admission Is Associated With Mobility Disability in Septic Patients Receiving Early Rehabilitation . 雑誌名 Critical Care Explorations  講 就 会 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 74 5 . 発行年
Kazuki、Takahashi Kunihiko、Matsui Shigeyuki、Nishida Yoshihiro、Matsuda Naoyuki ・論文標題 Clinical Frailty Scale Score Before ICU Admission Is Associated With Mobility Disability in Septic Patients Receiving Early Rehabilitation ・雑誌名 Critical Care Explorations  ・対シアクセスではこの00000000000000066  ・ブンアクセス  ・オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  ・著者名 Fujii Tasuku、Shibata Yasuyuki、Akane Akiko、Aoki Wakana、Sekiguchi Akiko、Takahashi Kunihiko、Matsui Shigeyuki、Nishiwaki Kimitoshi ・論文標題 A randomised controlled trial of pectoral nerve 2 (PECS2) block vs. serratus plane block for	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 74
Kazuki、Takahashi Kunihiko、Matsui Shigeyuki、Nishida Yoshihiro、Matsuda Naoyuki ・論文標題 Clinical Frailty Scale Score Before ICU Admission Is Associated With Mobility Disability in Septic Patients Receiving Early Rehabilitation ・雑誌名 Critical Care Explorations	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 74 5 . 発行年 2019年
Kazuki、Takahashi Kunihiko、Matsui Shigeyuki、Nishida Yoshihiro、Matsuda Naoyuki : 論文標題 Clinical Frailty Scale Score Before ICU Admission Is Associated With Mobility Disability in Septic Patients Receiving Early Rehabilitation : 雑誌名 Critical Care Explorations  a 就論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/CCE.0000000000000066  「一プンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  . 著者名 Fujii Tasuku、Shibata Yasuyuki、Akane Akiko、Aoki Wakana、Sekiguchi Akiko、Takahashi Kunihiko、Matsui Shigeyuki、Nishiwaki Kimitoshi  . 論文標題 A randomised controlled trial of pectoral nerve 2 (PECS2) block vs. serratus plane block for chronic pain after mastectomy	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 74 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Kazuki、Takahashi Kunihiko、Matsui Shigeyuki、Nishida Yoshihiro、Matsuda Naoyuki : 論文標題 Clinical Frailty Scale Score Before ICU Admission Is Associated With Mobility Disability in Septic Patients Receiving Early Rehabilitation : 雑誌名 Critical Care Explorations	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 74 5 . 発行年 2019年
Kazuki、Takahashi Kunihiko、Matsui Shigeyuki、Nishida Yoshihiro、Matsuda Naoyuki : 論文標題 Clinical Frailty Scale Score Before ICU Admission Is Associated With Mobility Disability in Septic Patients Receiving Early Rehabilitation : 雑誌名 Critical Care Explorations  a 就論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/CCE.0000000000000066  「一プンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  . 著者名 Fujii Tasuku、Shibata Yasuyuki、Akane Akiko、Aoki Wakana、Sekiguchi Akiko、Takahashi Kunihiko、Matsui Shigeyuki、Nishiwaki Kimitoshi  . 論文標題 A randomised controlled trial of pectoral nerve 2 (PECS2) block vs. serratus plane block for chronic pain after mastectomy	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 74 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Kazuki、Takahashi Kunihiko、Matsui Shigeyuki、Nishida Yoshihiro、Matsuda Naoyuki : 論文標題 Clinical Frailty Scale Score Before ICU Admission Is Associated With Mobility Disability in Septic Patients Receiving Early Rehabilitation 3 雑誌名 Critical Care Explorations	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
Kazuki、Takahashi Kunihiko、Matsui Shigeyuki、Nishida Yoshihiro、Matsuda Naoyuki : 論文標題 Clinical Frailty Scale Score Before ICU Admission Is Associated With Mobility Disability in Septic Patients Receiving Early Rehabilitation : 雑誌名 Critical Care Explorations	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
Kazuki、Takahashi Kunihiko、Matsui Shigeyuki、Nishida Yoshihiro、Matsuda Naoyuki 2. 論文標題 Clinical Frailty Scale Score Before ICU Admission Is Associated With Mobility Disability in Septic Patients Receiving Early Rehabilitation 3. 雑誌名 Critical Care Explorations  a 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/CCE.0000000000000066  「一プンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  . 著者名 Fujii Tasuku、Shibata Yasuyuki、Akane Akiko、Aoki Wakana、Sekiguchi Akiko、Takahashi Kunihiko、Matsui Shigeyuki、Nishiwaki Kimitoshi  . 論文標題 A randomised controlled trial of pectoral nerve 2 (PECS2) block vs. serratus plane block for chronic pain after mastectomy 3. 雑誌名	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
Kazuki、Takahashi Kunihiko、Matsui Shigeyuki、Nishida Yoshihiro、Matsuda Naoyuki : 論文標題 Clinical Frailty Scale Score Before ICU Admission Is Associated With Mobility Disability in Septic Patients Receiving Early Rehabilitation : 雑誌名 Critical Care Explorations	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -

1.著者名 Yoshihara Masato、Kajiyama Hiroaki、Tamauchi Satoshi、Suzuki Shiro、Takahashi Kunihiko、Matsui	I 4 <del>**</del>
Yoshihara Masato, Kajiyama Hiroaki, Tamauchi Satoshi, Suzuki Shiro, Takahashi Kunihiko, Matsui	│ 4 . 巻
Obligation III IVIII and Franciscolo	30
Shiqeyuki, Kikkawa Fumitaka	
	- 7×./- /-
2.論文標題	5 . 発行年
Drognostic feature and affects of fartility aparing aurgory in woman of reproductive age with	2019年
Prognostic factors and effects of fertility-sparing surgery in women of reproductive age with	20194
ovarian clear-cell carcinoma: a propensity score analysis	
	て 目知し目後の子
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
lournal of Compositoria Oppolant	
Journal of Gynecologic Oncology	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
	量前の日無
10.3802/jgo.2019.30.e102	有 有
10.0002/190.2010.00.0102	"
オープンアクセス	国際共著
	国际六有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
1.看有有	4.2
Komori Shiori、Ueno Shinji、Ito Yasuki、Sayo Akira、Meinert Monika、Kominami Taro、Inooka	60
Daiki, Kitagawa Masahiro, Nishida Kazuki, Takahashi Kunihiko, Matsui Shigeyuki, Terasaki Hirok	0
	1
	1
2 . 論文標題	5.発行年
Steeper Macular Curvature in Eyes With Non-Highly Myopic Retinitis Pigmentosa	2019年
	1
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Investigative Opthalmology & Visual Science	3135 ~ 3135
	3.55 3.66
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
	_
10.1167/iovs.19-27334	┃ 有
	1
オープンアクセス	国際共著
	日かハコ
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
S S S S S S S S S S S S S S S S S S S	
1.著者名	4 <del>**</del>
I. 百白石	4 . 巻
Nishikimi Mitsuaki、Ogura Takayuki、Nishida Kazuki、Takahashi Kunihiko、Nakamura Mitsunobu、	140
	140
Matsui Shigeyuki、Matsuda Naoyuki、Iwami Taku	
	_ 7/ /- /-
2 . 論文標題	│ 5 . 発行年
External validation of a mick algorithmation at the annual department of and another	2010年
External validation of a risk classification at the emergency department of post-cardiac arres	t 2019年
	t 2019年
syndrome patients undergoing targeted temperature management	
syndrome patients undergoing targeted temperature management	
syndrome patients undergoing targeted temperature management 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
syndrome patients undergoing targeted temperature management	
syndrome patients undergoing targeted temperature management 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
syndrome patients undergoing targeted temperature management 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
syndrome patients undergoing targeted temperature management 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
syndrome patients undergoing targeted temperature management  3.雑誌名 Resuscitation	6.最初と最後の頁 135~141
syndrome patients undergoing targeted temperature management 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
syndrome patients undergoing targeted temperature management 3.雑誌名 Resuscitation 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	6.最初と最後の頁 135~141 査読の有無
syndrome patients undergoing targeted temperature management 3.雑誌名 Resuscitation	6.最初と最後の頁 135~141
syndrome patients undergoing targeted temperature management 3.雑誌名 Resuscitation 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	6.最初と最後の頁 135~141 査読の有無
syndrome patients undergoing targeted temperature management 3.雑誌名 Resuscitation 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.resuscitation.2019.05.028	6 . 最初と最後の頁 135~141 査読の有無 有
syndrome patients undergoing targeted temperature management 3.雑誌名 Resuscitation 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	6.最初と最後の頁 135~141 査読の有無
syndrome patients undergoing targeted temperature management  3.雑誌名 Resuscitation  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.resuscitation.2019.05.028  オープンアクセス	6 . 最初と最後の頁 135~141 査読の有無 有
syndrome patients undergoing targeted temperature management  3.雑誌名 Resuscitation  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.resuscitation.2019.05.028	6 . 最初と最後の頁 135~141 査読の有無 有
syndrome patients undergoing targeted temperature management  3.雑誌名 Resuscitation  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.resuscitation.2019.05.028  オープンアクセス	6 . 最初と最後の頁 135~141 査読の有無 有
syndrome patients undergoing targeted temperature management  3.雑誌名 Resuscitation  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.resuscitation.2019.05.028  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6.最初と最後の頁 135~141 査読の有無 有 国際共著
syndrome patients undergoing targeted temperature management  3.雑誌名 Resuscitation  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.resuscitation.2019.05.028  オープンアクセス	6 . 最初と最後の頁 135~141 査読の有無 有
syndrome patients undergoing targeted temperature management  3.雑誌名 Resuscitation  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.resuscitation.2019.05.028  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6.最初と最後の頁 135~141 査読の有無 有 国際共著
syndrome patients undergoing targeted temperature management  3.雑誌名 Resuscitation  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.resuscitation.2019.05.028  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Ueno Hideki、Ishiguro Megumi、Nakatani Eiji、Ishikawa Toshiaki、Uetake Hiroyuki、、Matsui	6.最初と最後の頁 135~141 査読の有無 有 国際共著
syndrome patients undergoing targeted temperature management  3.雑誌名 Resuscitation  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.resuscitation.2019.05.028  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Ueno Hideki、Ishiguro Megumi、Nakatani Eiji、Ishikawa Toshiaki、Uetake Hiroyuki、、Matsui	6.最初と最後の頁 135~141 査読の有無 有 国際共著
syndrome patients undergoing targeted temperature management  3.雑誌名 Resuscitation  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.resuscitation.2019.05.028  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Ueno Hideki、Ishiguro Megumi、Nakatani Eiji、Ishikawa Toshiaki、Uetake Hiroyuki、、Matsui Shigeyuki、、Sugihara Kenichi	6.最初と最後の頁 135~141 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 37
syndrome patients undergoing targeted temperature management  3.雑誌名 Resuscitation  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.resuscitation.2019.05.028  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Ueno Hideki、Ishiguro Megumi、Nakatani Eiji、Ishikawa Toshiaki、Uetake Hiroyuki、、Matsui Shigeyuki、、Sugihara Kenichi	6.最初と最後の頁 135~141 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 37
syndrome patients undergoing targeted temperature management  3.雑誌名 Resuscitation  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.resuscitation.2019.05.028  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Ueno Hideki、Ishiguro Megumi、Nakatani Eiji、Ishikawa Toshiaki、Uetake Hiroyuki、、Matsui Shigeyuki、、Sugihara Kenichi  2.論文標題	6.最初と最後の頁 135~141 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 37
syndrome patients undergoing targeted temperature management  3.雑誌名 Resuscitation  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.resuscitation.2019.05.028  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Ueno Hideki、Ishiguro Megumi、Nakatani Eiji、Ishikawa Toshiaki、Uetake Hiroyuki、、Matsui Shigeyuki、、Sugihara Kenichi  2.論文標題	6.最初と最後の頁 135~141 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 37
syndrome patients undergoing targeted temperature management  3.雑誌名 Resuscitation  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.resuscitation.2019.05.028  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Ueno Hideki、Ishiguro Megumi、Nakatani Eiji、Ishikawa Toshiaki、Uetake Hiroyuki、、Matsui Shigeyuki、、Sugihara Kenichi  2.論文標題 Prospective Multicenter Study on the Prognostic and Predictive Impact of Tumor Budding in Stagenta Prospective Multicenter Study on the Prognostic and Predictive Impact of Tumor Budding in Stagenta Prospective Multicenter Study on the Prognostic and Predictive Impact of Tumor Budding in Stagenta Prospective Multicenter Study on the Prognostic and Predictive Impact of Tumor Budding in Stagenta Prospective Multicenter Study on the Prognostic and Predictive Impact of Tumor Budding in Stagenta Prospective Multicenter Study on the Prognostic and Predictive Impact of Tumor Budding in Stagenta Prospective Multicenter Study on the Prognostic and Predictive Impact of Tumor Budding in Stagenta Prospective Multicenter Study on the Prognostic American Prognostic P	6.最初と最後の頁 135~141 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 37
syndrome patients undergoing targeted temperature management 3.雑誌名 Resuscitation  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.resuscitation.2019.05.028  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Ueno Hideki、Ishiguro Megumi、Nakatani Eiji、Ishikawa Toshiaki、Uetake Hiroyuki、、Matsui Shigeyuki、、Sugihara Kenichi 2.論文標題 Prospective Multicenter Study on the Prognostic and Predictive Impact of Tumor Budding in Stag II Colon Cancer: Results From the SACURA Trial	6.最初と最後の頁 135~141 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 37
syndrome patients undergoing targeted temperature management 3.雑誌名 Resuscitation  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.resuscitation.2019.05.028  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Ueno Hideki、Ishiguro Megumi、Nakatani Eiji、Ishikawa Toshiaki、Uetake Hiroyuki、、Matsui Shigeyuki、、Sugihara Kenichi 2.論文標題 Prospective Multicenter Study on the Prognostic and Predictive Impact of Tumor Budding in Stag II Colon Cancer: Results From the SACURA Trial	6.最初と最後の頁 135~141 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 37 5.発行年 2019年
syndrome patients undergoing targeted temperature management  3.雑誌名 Resuscitation  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.resuscitation.2019.05.028  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Ueno Hideki、Ishiguro Megumi、Nakatani Eiji、Ishikawa Toshiaki、Uetake Hiroyuki、、Matsui Shigeyuki、、Sugihara Kenichi  2.論文標題 Prospective Multicenter Study on the Prognostic and Predictive Impact of Tumor Budding in Stag II Colon Cancer: Results From the SACURA Trial  3.雑誌名	6.最初と最後の頁 135~141 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 37 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
syndrome patients undergoing targeted temperature management 3.雑誌名 Resuscitation  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.resuscitation.2019.05.028  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Ueno Hideki、Ishiguro Megumi、Nakatani Eiji、Ishikawa Toshiaki、Uetake Hiroyuki、、Matsui Shigeyuki、、Sugihara Kenichi  2.論文標題 Prospective Multicenter Study on the Prognostic and Predictive Impact of Tumor Budding in Stag II Colon Cancer: Results From the SACURA Trial 3.雑誌名	6.最初と最後の頁 135~141 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 37 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
syndrome patients undergoing targeted temperature management 3 . 雑誌名 Resuscitation  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.resuscitation.2019.05.028  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ueno Hideki、Ishiguro Megumi、Nakatani Eiji、Ishikawa Toshiaki、Uetake Hiroyuki、、Matsui Shigeyuki、、Sugihara Kenichi 2 . 論文標題 Prospective Multicenter Study on the Prognostic and Predictive Impact of Tumor Budding in Stag II Colon Cancer: Results From the SACURA Trial	6.最初と最後の頁 135~141 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 37 5.発行年 2019年
syndrome patients undergoing targeted temperature management 3.雑誌名 Resuscitation  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.resuscitation.2019.05.028  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Ueno Hideki、Ishiguro Megumi、Nakatani Eiji、Ishikawa Toshiaki、Uetake Hiroyuki、、Matsui Shigeyuki、、Sugihara Kenichi  2.論文標題 Prospective Multicenter Study on the Prognostic and Predictive Impact of Tumor Budding in Stag II Colon Cancer: Results From the SACURA Trial 3.雑誌名	6.最初と最後の頁 135~141 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 37 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
syndrome patients undergoing targeted temperature management  3.雑誌名 Resuscitation  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.resuscitation.2019.05.028  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Ueno Hideki、Ishiguro Megumi、Nakatani Eiji、Ishikawa Toshiaki、Uetake Hiroyuki、、Matsui Shigeyuki、、Sugihara Kenichi  2.論文標題 Prospective Multicenter Study on the Prognostic and Predictive Impact of Tumor Budding in Stag II Colon Cancer: Results From the SACURA Trial  3.雑誌名	6.最初と最後の頁 135~141 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 37 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
syndrome patients undergoing targeted temperature management  3 . 雑誌名 Resuscitation  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.resuscitation.2019.05.028  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ueno Hideki、Ishiguro Megumi、Nakatani Eiji、Ishikawa Toshiaki、Uetake Hiroyuki、、Matsui Shigeyuki、、Sugihara Kenichi  2 . 論文標題 Prospective Multicenter Study on the Prognostic and Predictive Impact of Tumor Budding in Stag II Colon Cancer: Results From the SACURA Trial  3 . 雑誌名 Journal of Clinical Oncology	6.最初と最後の頁 135~141 査読の有無 有 国際共著 4.巻 37 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1886~1894
syndrome patients undergoing targeted temperature management  3 . 雑誌名 Resuscitation  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.resuscitation.2019.05.028  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ueno Hideki、Ishiguro Megumi、Nakatani Eiji、Ishikawa Toshiaki、Uetake Hiroyuki、、Matsui Shigeyuki、、Sugihara Kenichi  2 . 論文標題 Prospective Multicenter Study on the Prognostic and Predictive Impact of Tumor Budding in Stag II Colon Cancer: Results From the SACURA Trial  3 . 雑誌名 Journal of Clinical Oncology	6.最初と最後の頁 135~141 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 37 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
syndrome patients undergoing targeted temperature management  3.雑誌名 Resuscitation  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.resuscitation.2019.05.028  オープンアクセス	6.最初と最後の頁 135~141 査読の有無 有 国際共著 4.巻 37 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1886~1894
syndrome patients undergoing targeted temperature management  3 . 雑誌名 Resuscitation  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1016/j.resuscitation.2019.05.028  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ueno Hideki、Ishiguro Megumi、Nakatani Eiji、Ishikawa Toshiaki、Uetake Hiroyuki、、Matsui Shigeyuki、、Sugihara Kenichi  2 . 論文標題 Prospective Multicenter Study on the Prognostic and Predictive Impact of Tumor Budding in Stag II Colon Cancer: Results From the SACURA Trial  3 . 雑誌名 Journal of Clinical Oncology	6.最初と最後の頁 135~141 査読の有無 有 国際共著 4.巻 37 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1886~1894
syndrome patients undergoing targeted temperature management  3.雑誌名 Resuscitation  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.resuscitation.2019.05.028  オープンアクセス	6.最初と最後の頁 135~141 査読の有無 有 国際共著 4.巻 37 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1886~1894
syndrome patients undergoing targeted temperature management  3. 雑誌名 Resuscitation  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.resuscitation.2019.05.028  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Ueno Hideki、Ishiguro Megumi、Nakatani Eiji、Ishikawa Toshiaki、Uetake Hiroyuki、、Matsui Shigeyuki、、Sugihara Kenichi  2. 論文標題 Prospective Multicenter Study on the Prognostic and Predictive Impact of Tumor Budding in Stag II Colon Cancer: Results From the SACURA Trial  3. 雑誌名 Journal of Clinical Oncology  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1200/JC0.18.02059	6.最初と最後の頁 135~141 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 37 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1886~1894 査読の有無 有
syndrome patients undergoing targeted temperature management  3. 雑誌名 Resuscitation  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.resuscitation.2019.05.028  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Ueno Hideki、Ishiguro Megumi、Nakatani Eiji、Ishikawa Toshiaki、Uetake Hiroyuki、、Matsui Shigeyuki、、Sugihara Kenichi  2. 論文標題 Prospective Multicenter Study on the Prognostic and Predictive Impact of Tumor Budding in Stag II Colon Cancer: Results From the SACURA Trial  3. 雑誌名 Journal of Clinical Oncology  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1200/JC0.18.02059	6.最初と最後の頁 135~141 査読の有無 有 国際共著 4.巻 37 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1886~1894
syndrome patients undergoing targeted temperature management  3 . 雑誌名 Resuscitation  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.resuscitation.2019.05.028  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Ueno Hideki、Ishiguro Megumi、Nakatani Eiji、Ishikawa Toshiaki、Uetake Hiroyuki、、Matsui Shigeyuki、、Sugihara Kenichi 2 . 論文標題 Prospective Multicenter Study on the Prognostic and Predictive Impact of Tumor Budding in Stag II Colon Cancer: Results From the SACURA Trial 3 . 雑誌名 Journal of Clinical Oncology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1200/JC0.18.02059	6.最初と最後の頁 135~141 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 37 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1886~1894 査読の有無 有
syndrome patients undergoing targeted temperature management  3. 雑誌名 Resuscitation  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.resuscitation.2019.05.028  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Ueno Hideki、Ishiguro Megumi、Nakatani Eiji、Ishikawa Toshiaki、Uetake Hiroyuki、、Matsui Shigeyuki、、Sugihara Kenichi  2. 論文標題 Prospective Multicenter Study on the Prognostic and Predictive Impact of Tumor Budding in Stag II Colon Cancer: Results From the SACURA Trial  3. 雑誌名 Journal of Clinical Oncology  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1200/JC0.18.02059	6.最初と最後の頁 135~141 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 37 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 1886~1894 査読の有無 有

1.著者名	
	4 . 巻
Saqi Mansoor, Lysenko Artem, Guo Yi-Ke, Tsunoda Tatsuhiko, Auffray Charles	20
	- 3V./= <del>/-</del>
2 . 論文標題	5 . 発行年
Navigating the disease landscape: knowledge representations for contextualizing molecular	2019年
signatures	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
	609~623
Briefings in Bioinformatics	009 ~ 023
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1093/bib/bby025	有
,	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
Nishino Jo, Watanabe Shuichi, Miya Fuyuki, Kamatani Takashi, Sugawara Toshitaka, Boroevich	146
Keith A., Tsunoda Tatsuhiko	
Refit A.、Tsuhoda Tatsuh Ro 2. 論文標題	5 . 発行年
	2020年
Quantification of multicellular colonization in tumor metastasis using exome sequencing data	2020 <del>年</del>
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
International Journal of Cancer	2488 ~ 2497
B載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1002/ijc.32910	有
ープンアクセス	国際共革
=	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	<del>-</del>
* ***	. 44
1.著者名	4 . 巻
Chandra Abel、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Shigemizu Daichi、Tsunoda Tatsuhiko	20
2.論文標題	5.発行年
Bigram-PGK: phosphoglycerylation prediction using the technique of bigram probabilities of	2019年
position specific scoring matrix	
	6 最初と最後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	6.最初と最後の頁
5.雑誌名 BMC Molecular and Cell Biology	
5.雑誌名 BMC Molecular and Cell Biology	
5.雑誌名 BMC Molecular and Cell Biology	-
B. 雑誌名 BMC Molecular and Cell Biology B載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
D. 雑誌名  BMC Molecular and Cell Biology  B載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)  10.1186/s12860-019-0240-1	査読の有無
. 雑誌名 BMC Molecular and Cell Biology  載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12860-019-0240-1	- 査読の有無 有
B. 雑誌名 BMC Molecular and Cell Biology  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12860-019-0240-1	- 査読の有無 有 国際共著
3.雑誌名 BMC Molecular and Cell Biology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12860-019-0240-1  Tープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	- 査読の有無 有 国際共著 該当する
<ul> <li>独誌名         BMC Molecular and Cell Biology         司載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)         10.1186/s12860-019-0240-1         ープンアクセス</li></ul>	- 査読の有無 有 国際共著 該当する
3.雑誌名 BMC Molecular and Cell Biology  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12860-019-0240-1  「一プンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  . 著者名 Shigemizu Daichi、Akiyama Shintaro、Asanomi Yuya、Boroevich Keith A.、Sharma Alok、Tsunoda	- 査読の有無 有 国際共著 該当する
3.雑誌名 BMC Molecular and Cell Biology  引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12860-019-0240-1  「一プンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  . 著者名 Shigemizu Daichi、Akiyama Shintaro、Asanomi Yuya、Boroevich Keith A.、Sharma Alok、Tsunoda Tatsuhiko、Sakurai Takashi、Ozaki Kouichi、Ochiya Takahiro、Niida Shumpei	- 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻
A A A Shigemizu Daichi、Akiyama Shintaro、Asanomi Yuya、Boroevich Keith A.、Sharma Alok、Tsunoda Tatsuhiko、Sakurai Takashi、Ozaki Kouichi、Ochiya Takahiro、Niida Shumpei	- 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 12
BMC Molecular and Cell Biology  『載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12860-019-0240-1  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  I. 著者名 Shigemizu Daichi、Akiyama Shintaro、Asanomi Yuya、Boroevich Keith A.、Sharma Alok、Tsunoda Tatsuhiko、Sakurai Takashi、Ozaki Kouichi、Ochiya Takahiro、Niida Shumpei  I. 論文標題 A comparison of machine learning classifiers for dementia with Lewy bodies using miRNA	- 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻
BMC Molecular and Cell Biology  『載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12860-019-0240-1  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  I. 著者名 Shigemizu Daichi、Akiyama Shintaro、Asanomi Yuya、Boroevich Keith A.、Sharma Alok、Tsunoda Tatsuhiko、Sakurai Takashi、Ozaki Kouichi、Ochiya Takahiro、Niida Shumpei  I. 論文標題 A comparison of machine learning classifiers for dementia with Lewy bodies using miRNA expression data	- 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 12 5 . 発行年 2019年
BMC Molecular and Cell Biology  『載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12860-019-0240-1  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  I. 著者名 Shigemizu Daichi、Akiyama Shintaro、Asanomi Yuya、Boroevich Keith A.、Sharma Alok、Tsunoda Tatsuhiko、Sakurai Takashi、Ozaki Kouichi、Ochiya Takahiro、Niida Shumpei  I. 論文標題 A comparison of machine learning classifiers for dementia with Lewy bodies using miRNA expression data	- 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 12
BMC Molecular and Cell Biology    調動論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	- 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 12 5 . 発行年 2019年
BMC Molecular and Cell Biology    調載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12860-019-0240-1    イープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  . 著者名   Shigemizu Daichi、Akiyama Shintaro、Asanomi Yuya、Boroevich Keith A.、Sharma Alok、Tsunoda Tatsuhiko、Sakurai Takashi、Ozaki Kouichi、Ochiya Takahiro、Niida Shumpei   . 論文標題	- 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 12 5 . 発行年 2019年
BMC Molecular and Cell Biology    記載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	- 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 12 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 -
BMC Molecular and Cell Biology  記載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12860-019-0240-1  アープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  . 著者名 Shigemizu Daichi、Akiyama Shintaro、Asanomi Yuya、Boroevich Keith A.、Sharma Alok、Tsunoda Tatsuhiko、Sakurai Takashi、Ozaki Kouichi、Ochiya Takahiro、Niida Shumpei  2. 論文標題 A comparison of machine learning classifiers for dementia with Lewy bodies using miRNA expression data  3. 雑誌名 BMC Medical Genomics	- 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 12 5 . 発行年 2019年
BMC Molecular and Cell Biology  stimic Molecular and Cell Biology  stimic Molecular and Cell Biology  stimic Molecular and Cell Biology  10.1186/s12860-019-0240-1  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Shigemizu Daichi、Akiyama Shintaro、Asanomi Yuya、Boroevich Keith A.、Sharma Alok、Tsunoda Tatsuhiko、Sakurai Takashi、Ozaki Kouichi、Ochiya Takahiro、Niida Shumpei  2. 論文標題 A comparison of machine learning classifiers for dementia with Lewy bodies using miRNA expression data  3. 雑誌名	- 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 12 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 -
BMC Molecular and Cell Biology    調載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	- 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 12 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
BMC Molecular and Cell Biology    最大のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	- 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 12 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無

1.著者名	4 . 巻
Sharma Alok, Vans Edwin, Shigemizu Daichi, Boroevich Keith A., Tsunoda Tatsuhiko	9
Charma Wick, Valid Zallin, Gringolin Za Saroni, Sorios Voli North M., Todhoda Tatodhiko	
A A NEW	_ 7/
2.論文標題	5.発行年
DeepInsight: A methodology to transform a non-image data to an image for convolution neural	2019年
network architecture	
	6 目初し目後の声
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Scientific Reports	-
·	
相手込みの2017では11十分で、カーが四フン	本共の大畑
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/s41598-019-47765-6	有
オープンアクセス	国際共著
· · · · · = · ·	
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1.著者名	4 . 巻
	9
Kumar Shiu、Sharma Alok、Tsunoda Tatsuhiko	9
2.論文標題	5 . 発行年
Brain wave classification using long short-term memory network based OPTICAL predictor	2019年
brain wave crassification using fong short-term memory network based of fical predictor	2013+
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Scientific Reports	-
CO.S.I.C. TO Report	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/s41598-019-45605-1	有
10.1000/041000 010-40000-1	"
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
. ***	. 44
1.著者名	4 . 巻
Sharma Alok, Lysenko Artem, Lopez Yosvany, Dehzangi Abdollah, Sharma Ronesh, Reddy Hamendra,	19
Sattar Abdul, Tsunoda Tatsuhiko	
	5.発行年
2 . 論文標題	
HseSUMO: Sumoylation site prediction using half-sphere exposures of amino acids residues	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
BMC Genomics	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	   査読の有無
10.1186/s12864-018-5206-8	有
	i e
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
オープンアクセスとしている (また、その予定である) 1.著者名	該当する 4 . 巻
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	該当する 4 . 巻 19
オープンアクセスとしている (また、その予定である)  1 . 著者名 Chandra Abel Avitesh、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Tsunoda Tatsuhiko	該当する 4 . 巻 19
オープンアクセスとしている (また、その予定である)  1 . 著者名 Chandra Abel Avitesh、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Tsunoda Tatsuhiko  2 . 論文標題	該当する 4 . 巻 19 5 . 発行年
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Chandra Abel Avitesh、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Tsunoda Tatsuhiko  2 . 論文標題 EvolStruct-Phogly: incorporating structural properties and evolutionary information from	該当する 4 . 巻 19
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Chandra Abel Avitesh、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Tsunoda Tatsuhiko  2 . 論文標題 EvolStruct-Phogly: incorporating structural properties and evolutionary information from profile bigrams for the phosphoglycerylation prediction	該当する 4 . 巻 19 5 . 発行年 2019年
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Chandra Abel Avitesh、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Tsunoda Tatsuhiko  2 . 論文標題 EvolStruct-Phogly: incorporating structural properties and evolutionary information from	該当する 4 . 巻 19 5 . 発行年
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Chandra Abel Avitesh、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Tsunoda Tatsuhiko  2 . 論文標題 EvolStruct-Phogly: incorporating structural properties and evolutionary information from profile bigrams for the phosphoglycerylation prediction  3 . 雑誌名	該当する 4 . 巻 19 5 . 発行年 2019年
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Chandra Abel Avitesh、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Tsunoda Tatsuhiko  2 . 論文標題 EvolStruct-Phogly: incorporating structural properties and evolutionary information from profile bigrams for the phosphoglycerylation prediction	該当する 4 . 巻 19 5 . 発行年 2019年
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Chandra Abel Avitesh、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Tsunoda Tatsuhiko  2 . 論文標題 EvolStruct-Phogly: incorporating structural properties and evolutionary information from profile bigrams for the phosphoglycerylation prediction  3 . 雑誌名	該当する 4 . 巻 19 5 . 発行年 2019年
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Chandra Abel Avitesh、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Tsunoda Tatsuhiko  2 . 論文標題 EvolStruct-Phogly: incorporating structural properties and evolutionary information from profile bigrams for the phosphoglycerylation prediction  3 . 雑誌名	該当する 4 . 巻 19 5 . 発行年 2019年
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Chandra Abel Avitesh、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Tsunoda Tatsuhiko  2 . 論文標題 EvolStruct-Phogly: incorporating structural properties and evolutionary information from profile bigrams for the phosphoglycerylation prediction  3 . 雑誌名 BMC Genomics	該当する 4 . 巻 19 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 -
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Chandra Abel Avitesh、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Tsunoda Tatsuhiko  2 . 論文標題 EvolStruct-Phogly: incorporating structural properties and evolutionary information from profile bigrams for the phosphoglycerylation prediction  3 . 雑誌名 BMC Genomics	該当する 4 . 巻 19 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 -
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Chandra Abel Avitesh、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Tsunoda Tatsuhiko  2 . 論文標題 EvolStruct-Phogly: incorporating structural properties and evolutionary information from profile bigrams for the phosphoglycerylation prediction  3 . 雑誌名 BMC Genomics	該当する 4 . 巻 19 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 -
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Chandra Abel Avitesh、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Tsunoda Tatsuhiko  2 . 論文標題 EvolStruct-Phogly: incorporating structural properties and evolutionary information from profile bigrams for the phosphoglycerylation prediction  3 . 雑誌名 BMC Genomics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12864-018-5383-5	該当する 4 . 巻 19 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Chandra Abel Avitesh、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Tsunoda Tatsuhiko  2 . 論文標題 EvolStruct-Phogly: incorporating structural properties and evolutionary information from profile bigrams for the phosphoglycerylation prediction  3 . 雑誌名 BMC Genomics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12864-018-5383-5	該当する 4 . 巻 19 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Chandra Abel Avitesh、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Tsunoda Tatsuhiko  2 . 論文標題 EvolStruct-Phogly: incorporating structural properties and evolutionary information from profile bigrams for the phosphoglycerylation prediction  3 . 雑誌名 BMC Genomics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12864-018-5383-5	該当する 4 . 巻 19 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Chandra Abel Avitesh、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Tsunoda Tatsuhiko  2 . 論文標題 EvolStruct-Phogly: incorporating structural properties and evolutionary information from profile bigrams for the phosphoglycerylation prediction  3 . 雑誌名 BMC Genomics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12864-018-5383-5	該当する  4 . 巻 19  5 . 発行年 2019年  6 . 最初と最後の頁 -  査読の有無 有

4 524	1 4 <del>44</del>
1 . 著者名 Shigemizu Daichi、Akiyama Shintaro、Asanomi Yuya、Boroevich Keith A.、Sharma Alok、Tsunoda Tatsuhiko、Matsukuma Kana、Ichikawa Makiko、Sudo Hiroko、Takizawa Satoko、Sakurai Takashi、 Ozaki Kouichi、Ochiya Takahiro、Niida Shumpei	4.巻 2
Ozaki Koutoni, odniya Takanilo, Nirda Shumper	
2.論文標題 Risk prediction models for dementia constructed by supervised principal component analysis	5 . 発行年 2019年
using miRNA expression data 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Communications Biology	-
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s42003-019-0324-7	査読の有無 有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名 Climente-Gonzlez Hctor、Azencott Chlo-Agathe、Kaski Samuel、Yamada Makoto	4 . 巻 35
2.論文標題 Block HSIC Lasso: model-free biomarker detection for ultra-high dimensional data	5.発行年 2019年
3.雑誌名 Bioinformatics	6.最初と最後の頁 i427~i435
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/bioinformatics/btz333	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1 . 著者名 Komukai Sho、Hattori Satoshi	4 . 巻
2.論文標題 Doubly robust inference procedure for relative survival ratio in population based cancer registry data	5.発行年 2020年
3.雑誌名 Statistics in Medicine	6.最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1002/sim.8521	査読の有無   有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 Emura Takeshi、Matsui Shigeyuki、Chen Hsuan-Yu	4.巻 168
2 . 論文標題 compound.Cox: Univariate feature selection and compound covariate for predicting survival	5 . 発行年 2019年
3.雑誌名 Computer Methods and Programs in Biomedicine	6.最初と最後の頁 21~37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cmpb.2018.10.020	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1.著者名 Otani Takahiro、Noma Hisashi、Sugasawa Shonosuke、Kuchiba Aya、Goto Atsushi、Yamaji Taiki、	4. 巻 27
Kochi Yuta、Iwasaki Motoki、Matsui Shigeyuki、Tsunoda Tatsuhiko	
2.論文標題 Exploring predictive biomarkers from clinical genome-wide association studies via multidimensional hierarchical mixture models	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
European Journal of Human Genetics	140 ~ 149
<u> </u>	   査読の有無
10.1038/s41431-018-0251-y	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名	4 . 巻
Park Heewon, Yamada Makoto, Imoto Seiya, Miyano Satoru	26
2.論文標題	5 . 発行年
Robust Sample-Specific Stability Selection with Effective Error Control	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁 202~217
Journal of Computational Biology	202 ~ 217
   掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1089/cmb.2018.0180	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名 Igeta Masataka、Takahashi Kunihiko、Matsui Shigeyuki	4.巻 74
2 . 論文標題 Power and sample size calculation incorporating misspecifications of the variance function in	5 . 発行年 2018年
comparative clinical trials with over dispersed count data	
3.雑誌名 Biometrics	6.最初と最後の頁 1459~1467
   掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	│ │ 査読の有無
10.1111/biom.12878	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名	4.巻
Nishino Jo, Kochi Yuta, Shigemizu Daichi, Kato Mamoru, Ikari Katsunori, Ochi Hidenori, Noma Hisashi, Matsui Kota, Morizono Takashi, Boroevich Keith A, Tsunoda Tatsuhiko, Matsui Shigeyuki	9
2 . 論文標題	5.発行年
2 . 論义标题 Empirical Bayes Estimation of Semi-parametric Hierarchical Mixture Models for Unbiased Characterization of Polygenic Disease Architectures	2018年
3.雑誌名 Frontiers in Genetics	6.最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	     査読の有無
10.3389/fgene.2018.00115	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	   国際共著   該当する
>>> > CACO CV. 0 ( & CV ) A CW 0 )	₩^ ¬ У Ø

1 . 著者名	4 . 巻
Nishino Jo、Ochi Hidenori、Kochi Yuta、Tsunoda Tatsuhiko、Matsui Shigeyuki	9
Wishing 90, com macheri, keem rata, realised rateanne, mateur emigeyaki	
- A. V. 1777	_ 70 /= -
2.論文標題	5 . 発行年
Sample Size for Successful Genome-Wide Association Study of Major Depressive Disorder	2018年
,	
2. 사람	6 見知は見後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Frontiers in Genetics	-
	* bt a + m
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.3389/fgene.2018.00227	有
5	
オープンアクセス	国際共著
=	国际共 <b>有</b>
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
	_
Otani Takahiro, Noma Hisashi, Nishino Jo, Matsui Shigeyuki	26
2.論文標題	5 . 発行年
Re-assessment of multiple testing strategies for more efficient genome-wide association studies	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
European Journal of Human Genetics	1038 ~ 1048
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
10.1038/s41431-018-0125-3	有
オープンアクセス	国際共著
=	国际六省
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
	_
Emura Takeshi、Nakatochi Masahiro、Matsui Shigeyuki、Michimae Hirofumi、Rondeau Virginie	27
2 . 論文標題	5 . 発行年
	2018年
Personalized dynamic prediction of death according to tumour progression and high-dimensional	2010#
genetic factors: Meta-analysis with a joint model	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Statistical Methods in Medical Research	2842 ~ 2858
Statistical methods in medical research	2042 2030
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1177/0962280216688032	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
コーフファフ ころくはらい 、人はコーフファフ ころり 四本	#∧ → 7 <b>⊘</b>
1 . 著者名	4 . 巻
	_
Ogura Takayuki, Nakamura Yoshihiko, Takahashi Kunihiko, Nishida Kazuki, Kohashi Dajauko, Matsui	6
Ogura Takayuki, Nakamura Yoshihiko, Takahashi Kunihiko, Nishida Kazuki, Kobashi Daisuke, Matsui	6
Shigeyuki	
	5 . 発行年
Shigeyuki 2. 論文標題	5.発行年
Shigeyuki 2. 論文標題 Treatment of patients with sepsis in a closed intensive care unit is associated with improved	
Shigeyuki 2. 論文標題 Treatment of patients with sepsis in a closed intensive care unit is associated with improved survival: a nationwide observational study in Japan	5 . 発行年 2018年
Shigeyuki 2. 論文標題 Treatment of patients with sepsis in a closed intensive care unit is associated with improved	5 . 発行年
Shigeyuki 2. 論文標題 Treatment of patients with sepsis in a closed intensive care unit is associated with improved survival: a nationwide observational study in Japan 3. 雑誌名	5 . 発行年 2018年
Shigeyuki 2. 論文標題 Treatment of patients with sepsis in a closed intensive care unit is associated with improved survival: a nationwide observational study in Japan	5 . 発行年 2018年
Shigeyuki 2. 論文標題 Treatment of patients with sepsis in a closed intensive care unit is associated with improved survival: a nationwide observational study in Japan 3. 雑誌名	5 . 発行年 2018年
Shigeyuki 2. 論文標題 Treatment of patients with sepsis in a closed intensive care unit is associated with improved survival: a nationwide observational study in Japan 3. 雑誌名 Journal of Intensive Care	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 -
Shigeyuki 2. 論文標題 Treatment of patients with sepsis in a closed intensive care unit is associated with improved survival: a nationwide observational study in Japan 3. 雑誌名	5 . 発行年 2018年
Shigeyuki  2. 論文標題 Treatment of patients with sepsis in a closed intensive care unit is associated with improved survival: a nationwide observational study in Japan  3. 雑誌名 Journal of Intensive Care  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
Shigeyuki 2. 論文標題 Treatment of patients with sepsis in a closed intensive care unit is associated with improved survival: a nationwide observational study in Japan 3. 雑誌名 Journal of Intensive Care	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 -
Shigeyuki  2. 論文標題 Treatment of patients with sepsis in a closed intensive care unit is associated with improved survival: a nationwide observational study in Japan  3. 雑誌名 Journal of Intensive Care  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40560-018-0322-8	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有
Shigeyuki  2. 論文標題 Treatment of patients with sepsis in a closed intensive care unit is associated with improved survival: a nationwide observational study in Japan  3. 雑誌名 Journal of Intensive Care  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40560-018-0322-8	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無
Shigeyuki  2. 論文標題 Treatment of patients with sepsis in a closed intensive care unit is associated with improved survival: a nationwide observational study in Japan  3. 雑誌名 Journal of Intensive Care  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40560-018-0322-8	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有
Shigeyuki  2. 論文標題 Treatment of patients with sepsis in a closed intensive care unit is associated with improved survival: a nationwide observational study in Japan  3. 雑誌名 Journal of Intensive Care  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1186/s40560-018-0322-8	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 - 査読の有無 有

1.著者名 Sharma Ronesh、Sharma Alok、Patil Ashwini、Tsunoda Tatsuhiko	
Sharma Ronesh、Sharma Alok、Patil Ashwini、Tsunoda Tatsuhiko	4.巻
	19
- AAA UTUUT	_ 7/ /
2.論文標題	5.発行年
Discovering MoRFs by trisecting intrinsically disordered protein sequence into terminals and	2019年
	2013—
middle regions	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
	0 . 42 // C 42 /2 05 /2
BMC Bioinformatics	-
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1186/s12859-018-2396-7	有
オープンアクヤス	国際共著
. , , , =, ,	
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
	_
Reddy Hamendra Manhar、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Shigemizu Daichi、Chandra Abel Avitesh、	19
Tsunoda Tatushiko	
	5 78/= h
2.論文標題	5 . 発行年
GlyStruct: glycation prediction using structural properties of amino acid residues	2019年
organistic grounding production doing officeration proportion of amino doin restauces	-010 <del>-</del>
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
BMC Bioinformatics	
und profitation	_
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1186/s12859-018-2547-x	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1 . 著者名	4 . 巻
Lysenko Artem、Sharma Alok、Boroevich Keith A、Tsunoda Tatsuhiko	1
	5.発行年
2. 論文標題	
·····	
2.論文標題 An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety	2018年
An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety	2018年
An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety  3 . 雑誌名	2018年 6 . 最初と最後の頁
An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety	2018年
An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety  3 . 雑誌名	2018年 6 . 最初と最後の頁
An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety  3 . 雑誌名	2018年 6 . 最初と最後の頁
An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety  3 . 雑誌名 Life Science Alliance	2018年 6 . 最初と最後の頁 -
An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety  3 . 雑誌名 Life Science Alliance	2018年 6 . 最初と最後の頁
An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety  3.雑誌名 Life Science Alliance	2018年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無
An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety  3.雑誌名 Life Science Alliance 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2018年 6 . 最初と最後の頁 -
An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety  3.雑誌名 Life Science Alliance  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.26508/Isa.201800098	2018年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有
An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety  3.雑誌名 Life Science Alliance 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.26508/Isa.201800098 オープンアクセス	2018年 6.最初と最後の頁
An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety  3.雑誌名 Life Science Alliance  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.26508/Isa.201800098 オープンアクセス	2018年 6.最初と最後の頁 - 査読の有無 有
An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety  3.雑誌名 Life Science Alliance  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.26508/Isa.201800098	2018年 6.最初と最後の頁
An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety  3.雑誌名 Life Science Alliance  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.26508/Isa.201800098  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2018年 6.最初と最後の頁
An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety  3.雑誌名 Life Science Alliance  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.26508/Isa.201800098  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2018年 6.最初と最後の頁
An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety  3.雑誌名 Life Science Alliance  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.26508/Isa.201800098  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)	2018年 6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Life Science Alliance 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.26508/Isa.201800098 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Chandra Abel、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Ranganathan Shoba、Jokhan Anjeela、Chou Kuo-	2018年 6.最初と最後の頁
An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety  3.雑誌名 Life Science Alliance  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.26508/Isa.201800098  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Chandra Abel、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Ranganathan Shoba、Jokhan Anjeela、Chou Kuo-Chen、Tsunoda Tatsuhiko	2018年 6.最初と最後の頁
An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety  3.雑誌名 Life Science Alliance  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.26508/Isa.201800098  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Chandra Abel、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Ranganathan Shoba、Jokhan Anjeela、Chou Kuo-	2018年 6.最初と最後の頁
An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety  3.雑誌名 Life Science Alliance  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.26508/Isa.201800098  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Chandra Abel、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Ranganathan Shoba、Jokhan Anjeela、Chou Kuo-Chen、Tsunoda Tatsuhiko  2.論文標題	2018年 6.最初と最後の頁
An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety  3.雑誌名 Life Science Alliance  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.26508/Isa.201800098  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Chandra Abel、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Ranganathan Shoba、Jokhan Anjeela、Chou Kuo-Chen、Tsunoda Tatsuhiko  2.論文標題 PhoglyStruct: Prediction of phosphoglycerylated lysine residues using structural properties of	2018年 6.最初と最後の頁
An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety  3.雑誌名 Life Science Alliance  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.26508/Isa.201800098  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Chandra Abel、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Ranganathan Shoba、Jokhan Anjeela、Chou Kuo-Chen、Tsunoda Tatsuhiko  2.論文標題 PhoglyStruct: Prediction of phosphoglycerylated lysine residues using structural properties of amino acids	2018年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 8 5.発行年 2018年
An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety  3.雑誌名 Life Science Alliance  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.26508/Isa.201800098  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Chandra Abel、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Ranganathan Shoba、Jokhan Anjeela、Chou Kuo-Chen、Tsunoda Tatsuhiko  2.論文標題 PhoglyStruct: Prediction of phosphoglycerylated lysine residues using structural properties of	2018年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 8 5.発行年 2018年
An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety  3 . 雑誌名 Life Science Alliance  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.26508/Isa.201800098  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Chandra Abel、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Ranganathan Shoba、Jokhan Anjeela、Chou Kuo-Chen、Tsunoda Tatsuhiko  2 . 論文標題 PhoglyStruct: Prediction of phosphoglycerylated lysine residues using structural properties of amino acids  3 . 雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁
An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety  3.雑誌名 Life Science Alliance  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.26508/Isa.201800098  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Chandra Abel、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Ranganathan Shoba、Jokhan Anjeela、Chou Kuo-Chen、Tsunoda Tatsuhiko  2.論文標題 PhoglyStruct: Prediction of phosphoglycerylated lysine residues using structural properties of amino acids	2018年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 8 5.発行年 2018年
An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety  3.雑誌名 Life Science Alliance  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.26508/Isa.201800098  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Chandra Abel、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Ranganathan Shoba、Jokhan Anjeela、Chou Kuo-Chen、Tsunoda Tatsuhiko  2.論文標題 PhoglyStruct: Prediction of phosphoglycerylated lysine residues using structural properties of amino acids  3.雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 8 5.発行年 2018年
An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety  3.雑誌名 Life Science Alliance  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.26508/Isa.201800098  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Chandra Abel、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Ranganathan Shoba、Jokhan Anjeela、Chou Kuo-Chen、Tsunoda Tatsuhiko  2.論文標題 PhoglyStruct: Prediction of phosphoglycerylated lysine residues using structural properties of amino acids  3.雑誌名	2018年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 有 国際共著 該当する  4.巻 8 5.発行年 2018年
An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety  3.雑誌名 Life Science Alliance  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.26508/Isa.201800098  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Chandra Abel、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Ranganathan Shoba、Jokhan Anjeela、Chou Kuo-Chen、Tsunoda Tatsuhiko  2.論文標題 PhoglyStruct: Prediction of phosphoglycerylated lysine residues using structural properties of amino acids  3.雑誌名 Scientific Reports	2018年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 8 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 -
An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety  3.雑誌名 Life Science Alliance  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.26508/Isa.201800098  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Chandra Abel、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Ranganathan Shoba、Jokhan Anjeela、Chou Kuo-Chen、Tsunoda Tatsuhiko  2.論文標題 PhoglyStruct: Prediction of phosphoglycerylated lysine residues using structural properties of amino acids  3. 雑誌名 Scientific Reports	2018年 6.最初と最後の頁
An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety  3 . 雑誌名 Life Science Alliance  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.26508/Isa.201800098  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Chandra Abel、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Ranganathan Shoba、Jokhan Anjeela、Chou Kuo-Chen、Tsunoda Tatsuhiko  2 . 論文標題 PhoglyStruct: Prediction of phosphoglycerylated lysine residues using structural properties of amino acids  3 . 雑誌名 Scientific Reports	2018年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 8 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 -
An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety  3.雑誌名 Life Science Alliance  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.26508/Isa.201800098  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Chandra Abel、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Ranganathan Shoba、Jokhan Anjeela、Chou Kuo-Chen、Tsunoda Tatsuhiko  2.論文標題 PhoglyStruct: Prediction of phosphoglycerylated lysine residues using structural properties of amino acids  3. 雑誌名 Scientific Reports	2018年 6.最初と最後の頁
An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety  3.雑誌名 Life Science Alliance  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.26508/Isa.201800098  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Chandra Abel、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Ranganathan Shoba、Jokhan Anjeela、Chou Kuo-Chen、Tsunoda Tatsuhiko  2.論文標題 PhoglyStruct: Prediction of phosphoglycerylated lysine residues using structural properties of amino acids  3.雑誌名 Scientific Reports  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-36203-8	2018年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 有 国際共著 該当する 4.巻 8 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 -  査読の有無 有
An integrative machine learning approach for prediction of toxicity-related drug safety  3.雑誌名 Life Science Alliance  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.26508/Isa.201800098  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Chandra Abel、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Ranganathan Shoba、Jokhan Anjeela、Chou Kuo-Chen、Tsunoda Tatsuhiko  2.論文標題 PhoglyStruct: Prediction of phosphoglycerylated lysine residues using structural properties of amino acids  3. 雑誌名 Scientific Reports	2018年 6.最初と最後の頁

1. 著名名 Shigarizu Daichi, Miya Fuyuki, Akiyama Shintaro, Okuda Shujiro, Bercevich Keith A, Fujimoto Akihiro, Nakagawa Hidawaki, Ozaki Koulchi, Nida Shuppi, Kamenura Yomehiro, Okamoto Vobuhiko, Takunda Tahaki Moo Mitahiro, Kamesaki Menjiro, Kame	***	
Akhin Co. Nakagawa Hidesaki, Czaki Kouichi, Niida Shurpei, Kanemura Yorehiro, Okanoto Nobuhiko, Saitoh Shinji, Kato Mitsuhiro, Yamasaki Meni, Matsunaga Tatsuo, Wutai Hideki, Kosaki Kenjiro, Tsunodo Tatsuhiko  2. 前文神道 Misindel: An accurate internediate-size indel detection tool incorporating de novo assembly and gupped glotal-coal alignment with split read analysis  3. 最近名 Scientific Reports  6. 最初と最後の頁	1.著者名	_
Saito Shinji, Kato Misuhiro, Yanasaki Mani, Matsunaga Tatsuo, Mutai Hideki, Kosaki Kenjiro, Tanonda Tatsuhiko  2. 論文理題 IMSindel: An accurate internediate-size indel detection tool incorporating de novo assembly and gapped global-local alignment with split read analysis  3. 競技名 Scientific Reports  6. 最初と最後の頁  1. 著名名 Scientific Reports  7		8
Tsundot Tatsuhiko 2 ・		
2 . 論文程語 NSindel: An accurate intermediate-size indel detection tool incorporating de novo assembly and gapped global-local alignment with split read analysis 3 . 帰越帝 Scientific Reports	Saitoh Shinji、Kato Mitsuhiro、Yamasaki Mami、Matsunaga Tatsuo、Mutai Hideki、Kosaki Kenjiro、	
MSindel: An accurate intermediate-size indel detection tool incorporating de novo assembly and gapped global-local alignment with split read analysis 3. 練誌音 Scientific Reports  おっプンアクセス  1. 著名名 Debtx3735±775±775±775±775±775±775±775±775±775	Tsunoda Tatsuhiko	
MSindel: An accurate intermediate-size indel detection tool incorporating de novo assembly and gapped global-local alignment with split read analysis 3. 練誌音 Scientific Reports  おっプンアクセス  1. 著名名 Debtx3735±775±775±775±775±775±775±775±775±775	2 論文標題	5 発行年
gapped global-local alignment with split read analysis 3		
3 ・ 検討名     Scientific Reports		20104
接続論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)   10.1038/s41598-018-23978-2   有		
超数isy constitution   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日	3.雑誌名	6.最初と最後の負
10.1038/s41598-018-23978-z 有	Scientific Reports	-
10.1038/s41598-018-23978-z 有		
10.1038/s41598-018-23978-z 有		
10.1038/s41598-018-23978-z 有	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<b>査読の有無</b>
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
### 1 まできる   1 まできる   注意を含める   注意を含む	10.1030/341000 010 200/0 2	н
### 1 まできる   1 まできる   注意を含める   注意を含む	+ 1,7,7,0,4,7	<b>国際共</b> 菜
1 ・著者名 Dehtzangi Abdollah, Lopez Yosvany, Lal Sunil Pranit, Taherzadeh Ghazaleh, Sattar Abdul, Tsunoda Tatsuhiko, Sharma Alok 13 13 13 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15		
Debtangi Abdollah, Lopez Yosvany, Lal Sunil Pranit, Taherzadeh Ghazaleh, Sattar Abdul, Tsunoda Tatsuhiko, Sharma Alok  2. 論文標題 Improving succinylation prediction accuracy by incorporating the secondary structure via helix, strand and coil, and evolutionary information from profile bigrams  3. 雑誌名 PLOS ONE  4. 是初之最後の頁 PLOS ONE  5. 発行年 2018年  4. 本一ブンアクセス  1. 著者名 Lopez Yosvany, Sharma Alok, Debtangi Abdollah, Lal Sunil Pranit, Taherzadeh Ghazaleh, Sattar Abdul, Tsunoda Tatsuhiko  2. 論文標題 Success: evolutionary and structural properties of amino acids prove effective for succinylation site prediction  3. 雑誌名 BNC Genomics  6. 最初と最後の頁	オーノンアクセスとしている(また、その予定である)	該当りる
Debtangi Abdollah, Lopez Yosvany, Lal Sunil Pranit, Taherzadeh Ghazaleh, Sattar Abdul, Tsunoda Tatsuhiko, Sharma Alok  2. 論文標題 Improving succinylation prediction accuracy by incorporating the secondary structure via helix, strand and coil, and evolutionary information from profile bigrams  3. 雑誌名 PLOS ONE  4. 是初之最後の頁 PLOS ONE  5. 発行年 2018年  4. 本一ブンアクセス  1. 著者名 Lopez Yosvany, Sharma Alok, Debtangi Abdollah, Lal Sunil Pranit, Taherzadeh Ghazaleh, Sattar Abdul, Tsunoda Tatsuhiko  2. 論文標題 Success: evolutionary and structural properties of amino acids prove effective for succinylation site prediction  3. 雑誌名 BNC Genomics  6. 最初と最後の頁		
Debtangi Abdollah, Lopez Yosvany, Lal Sunil Pranit, Taherzadeh Ghazaleh, Sattar Abdul, Tsunoda Tatsuhiko, Sharma Alok  2. 論文標題 Improving succinylation prediction accuracy by incorporating the secondary structure via helix, strand and coil, and evolutionary information from profile bigrams  3. 雑誌名 PLOS ONE  4. 是初之最後の頁 PLOS ONE  5. 発行年 2018年  4. 本一ブンアクセス  1. 著者名 Lopez Yosvany, Sharma Alok, Debtangi Abdollah, Lal Sunil Pranit, Taherzadeh Ghazaleh, Sattar Abdul, Tsunoda Tatsuhiko  2. 論文標題 Success: evolutionary and structural properties of amino acids prove effective for succinylation site prediction  3. 雑誌名 BNC Genomics  6. 最初と最後の頁	1.著者名	4 . 巻
Tatsuniko, Sharma Alok 2. 論文標題 Inproving succinylation prediction accuracy by incorporating the secondary structure via helix, strand and coil, and evolutionary information from profile bigrams 3. 硝誌名 PLOS ONE  超載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0191900  1. 著者名 Lopez Yosvany, Sharma Alok, Dehzangi Abdollah, Lal Sunil Pranit, Taherzadeh Ghazaleh, Sattar Abdul, Tsunoda Tatsuhiko 2. 論文報題 Success: evolutionary and structural properties of amino acids prove effective for succinylation site prediction 3. 強誌名 BMC Genomics  1. 著者名 Sharma Ronesh, Raicar Gaurav, Tsunoda Tatsuhiko, Patil Ashwini, Sharma Alok 2. 論文程題 OPAL: prediction of MoRF regions in intrinsically disordered protein sequences  3. 強誌名 Bioinformatics  4. 巻 34  4. 巻 35  36  37  37  37  37  38  38  39  4. 巻 36  36  36  37  37  38  38  38  39  30  30  30  30  31  32  33  34  34  35  36  36  36  37  37  37  37  37  37  37	—	_
2 . 論文標題 Improving succinylation prediction accuracy by incorporating the secondary structure via helix strand and coil, and evolutionary information from profile bigrams 6 . 最初と最後の頁 PLOS ONE 6 . 最初と最後の頁 7		10
Improving succinylation prediction accuracy by incorporating the secondary structure via helix, strand and coil, and evolutionary information from profile bigrams  3 . 機能名 PLOS ONE  6 . 最初と最後の頁		F 364-7-
strand and coil, and evolutionary information from profile bigrams  3 ・ 陰謀を PLOS DNE  1. 養君名 Lopez Yosvany, Sharma Alok, Dehzangi Abdollah, Lal Sunil Pranit, Taherzadeh Ghazaleh, Sattar Abdul, Tsunoda Tatsuhiko  2. 論文標題 Success: evolutionary and structural properties of amino acids prove effective for succinylation site prediction  3. 陰謀名 BMC Genomics  1. 著者名 Sharma Ronesh, Raicar Gaurav, Tsunoda Tatsuhiko, Patil Ashwini, Sharma Alok  2. 論文標題 A-ブンアクセス  1. 著者名 Sharma Ronesh, Raicar Gaurav, Tsunoda Tatsuhiko, Patil Ashwini, Sharma Alok  3. 陰謀名 Bioinformatics  4. 巻 19  4. 巻 2018年  4. 巻 34  4		
機能名		2018年
機能名	strand and coil, and evolutionary information from profile bigrams	
PLOS ONE  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0191900  オーブンアクセス  オーブンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Lopez Yosvary、Sharma Alok、Dehzangi Abdollah、Lal Sunil Pranit、Taherzadeh Ghazaleh、Sattar Abdul、Tsunoda Tatsuhiko  2. 論文標題 Success: evolutionary and structural properties of amino acids prove effective for succinylation site prediction  3. 雑誌名 BMC Genomics  4. 巻 19 5. 発行年 2018年  6. 最初と最後の頁 - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		6 最初と最後の百
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0191900  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Lopez Yosvany、Sharma Alok、Debzangi Abdollah、Lal Sunil Pranit、Taherzadeh Ghazaleh、Sattar Abdul、Tsunoda Tatsuhiko 2. 論文理題 Success: evolutionary and structural properties of amino acids prove effective for succinylation site prediction 3. 雑誌名 BMC Genomics  カープンアクセス  担職共著  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  直読の有無 有  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  直読の有無 有  4. 巻 19 2018年 2018年 2018年 2018年 2018年 3. 雑誌名 BMC Senomics  カープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Sharma Ronesh、Raicar Gaurav、Tsunoda Tatsuhiko、Patil Ashwini、Sharma Alok  2. 論文標題 OPAL: prediction of MoRF regions in intrinsically disordered protein sequences 3. 雑誌名 Bioinformatics  4. 巻 34 4. 巻 34 5. 発行年 2018年 2018年 6. 最初と最後の頁 1850~1858  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1093/bioinformatics/bty032  有  オープンアクセス		0.400000
10.1371/journal.pone.0191900 有	FEOS ONE	-
10.1371/journal.pone.0191900 有		
10.1371/journal.pone.0191900 有		
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著名名 Lopez Yosvany, Sharma Alok, Dehzangi Abdollah, Lal Sunil Pranit, Taherzadeh Ghazaleh, Sattar Abdul, Tsunoda Tatsuhiko 2. 論文標題 Success: evolutionary and structural properties of amino acids prove effective for succinylation site prediction 3. 雑誌名 BMC Genomics  4. 巻 19 5. 発行年 2018年 2018年 2018年 3. 雑誌名 BMC Genomics  4. 巻 オープンアクセス  1 蓋式名 Sharma Ronesh, Raicar Gaurav, Tsunoda Tatsuhiko, Patil Ashwini, Sharma Alok  2. 論文標題 OPAL: prediction of MoRF regions in intrinsically disordered protein sequences  3. 雑誌名 Bioinformatics  4. 巻 3. 雑誌名 Bioinformatics  4. 巻 34 5. 発行年 2018年 2018年 2018年 3. 雑誌名 Bioinformatics  5. 発行年 2018年 2018年 2018年 2018年 3. 雑誌名 Bioinformatics  6. 最初と最後の頁 1850~1858	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
### A - ブンアクセスとしている(また、その予定である)   該当する   4 . 巻	10.1371/journal.pone.0191900	有
### A - ブンアクセスとしている(また、その予定である)   該当する   4 . 巻	, · ·	
### A - ブンアクセスとしている(また、その予定である)   該当する   4 . 巻	オープンアクセス	国際共著
1. 著者名 Lopez Yosvany, Sharma Alok, Dehzangi Abdollah, Lal Sunil Pranit, Taherzadeh Ghazaleh, Sattar Abdul, Tsunoda Tatsuhiko 2. 論文標題 BMC Genomics  1. 著者名 Sharma Ronesh, Raicar Gaurav, Tsunoda Tatsuhiko, Patil Ashwini、Sharma Alok 2. 論文標題 OPAL: prediction of MoRF regions in intrinsically disordered protein sequences 3. 雑誌名 Bioinformatics 4. 巻 3. 雑誌名 Bioinformatics/bty032 有 4. 巻 3. 雑誌名 Bioinformatics/bty032 有 4. 巻 3. 雑誌名 Bioinformatics/bty032 有 3. 神談文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/bioinformatics/bty032		
Lopez Yosvany, Sharma Alok, Dehzangi Abdollah, Lal Sunil Pranit, Taherzadeh Ghazaleh, Sattar Abdul, Tsunoda Tatsuhiko  2 . 論文標題 Success: evolutionary and structural properties of amino acids prove effective for succinylation site prediction  3 . 雑誌名 BMC Genomics  4 . 意	オープンアクセスとしている(また、その)が足である)	該当りる
Lopez Yosvany, Sharma Alok, Dehzangi Abdollah, Lal Sunil Pranit, Taherzadeh Ghazaleh, Sattar Abdul, Tsunoda Tatsuhiko  2 . 論文標題 Success: evolutionary and structural properties of amino acids prove effective for succinylation site prediction  3 . 雑誌名 BMC Genomics  4 . 意		
Abdul、Tsunoda Tatsuhiko  2. 論文標題 Success: evolutionary and structural properties of amino acids prove effective for succinylation site prediction  3. 雑誌名 BMC Genomics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12864-017-4336-8  1. 著者名 Sharma Ronesh、Raicar Gaurav、Tsunoda Tatsuhiko、Patil Ashwini、Sharma Alok  2. 論文標題 OPAL: prediction of MoRF regions in intrinsically disordered protein sequences  3. 雑誌名 Bioinformatics  4. 巻 3. 雑誌名 Bioinformatics  5. 発行年 2018年  6. 最初と最後の頁 1850~1858	1.著者名	4.巻
Abdul、Tsunoda Tatsuhiko  2. 論文標題 Success: evolutionary and structural properties of amino acids prove effective for succinylation site prediction  3. 雑誌名 BMC Genomics  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12864-017-4336-8  1. 著者名 Sharma Ronesh、Raicar Gaurav、Tsunoda Tatsuhiko、Patil Ashwini、Sharma Alok  2. 論文標題 OPAL: prediction of MoRF regions in intrinsically disordered protein sequences  3. 雑誌名 Bioinformatics  4. 巻 3. 雑誌名 Bioinformatics  5. 発行年 2018年  6. 最初と最後の頁 1850~1858	Lopez Yosyany, Sharma Alok, Dehzangi Abdollah, Lal Sunil Pranit, Taherzadeh Ghazaleh, Sattar	19
2 . 論文標題 Success: evolutionary and structural properties of amino acids prove effective for succinylation site prediction  3 . 雑誌名 BMC Genomics  6 . 最初と最後の頁 - 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12864-017-4336-8  1 . 著書名 Sharma Ronesh, Raicar Gaurav, Tsunoda Tatsuhiko, Patil Ashwini、Sharma Alok  2 . 論文標題 OPAL: prediction of MoRF regions in intrinsically disordered protein sequences  3 . 雑誌名 Bioinformatics  4 . 巻 34  5 . 発行年 2018年  5 . 発行年 2018年  6 . 最初と最後の頁 1850~1858  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/bioinformatics/bty032  有  オープンアクセス  国際共著		
Success: evolutionary and structural properties of amino acids prove effective for succinylation site prediction  3. 雑誌名 BMC Genomics  4. 養		5 発行任
succinylation site prediction  3 . 雑誌名 BMC Genomics  4 . 最初と最後の頁		
3 . 雑誌名 BMC Genomics  「表示の句は、デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12864-017-4336-8  「本ープンアクセス 国際共著  「本ープンアクセスとしている(また、その予定である)  「本著名名 Sharma Ronesh、Raicar Gaurav、Tsunoda Tatsuhiko、Patil Ashwini、Sharma Alok  「お文標題のPAL: prediction of MoRF regions in intrinsically disordered protein sequences  「お、発育名」 3 . 雑誌名 Bioinformatics  「お、現では、これでは、「おいの句は、「デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/bioinformatics/bty032  「本ープンアクセス 国際共著		2018年
BMC Genomics	,	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12864-017-4336-8  1. 著者名 Sharma Ronesh、Raicar Gaurav、Tsunoda Tatsuhiko、Patil Ashwini、Sharma Alok  2. 論文標題 OPAL: prediction of MoRF regions in intrinsically disordered protein sequences  3. 雑誌名 Bioinformatics  4. 巻 34  5. 発行年 2018年  6. 最初と最後の頁 1850~1858	3 . 雑誌名	6 . 最初と最後の頁
10.1186/s12864-017-4336-8 有 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 該当する   1.著者名 Sharma Ronesh、Raicar Gaurav、Tsunoda Tatsuhiko、Patil Ashwini、Sharma Alok 34    2.論文標題 OPAL: prediction of MoRF regions in intrinsically disordered protein sequences 5.発行年 2018年    3.雑誌名	BMC Genomics	-
10.1186/s12864-017-4336-8 有 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 該当する   1.著者名 Sharma Ronesh、Raicar Gaurav、Tsunoda Tatsuhiko、Patil Ashwini、Sharma Alok 34    2.論文標題 OPAL: prediction of MoRF regions in intrinsically disordered protein sequences 5.発行年 2018年    3.雑誌名		
10.1186/s12864-017-4336-8 有 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 該当する   1.著者名 Sharma Ronesh、Raicar Gaurav、Tsunoda Tatsuhiko、Patil Ashwini、Sharma Alok 34    2.論文標題 OPAL: prediction of MoRF regions in intrinsically disordered protein sequences 5.発行年 2018年    3.雑誌名		
10.1186/s12864-017-4336-8 有 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 該当する   1.著者名 Sharma Ronesh、Raicar Gaurav、Tsunoda Tatsuhiko、Patil Ashwini、Sharma Alok 34    2.論文標題 OPAL: prediction of MoRF regions in intrinsically disordered protein sequences 5.発行年 2018年    3.雑誌名	「規載絵文のDOI(デジタルオブジェクト繰叫Z)	本語の右冊
オープンアクセス 国際共著 該当する  1 . 著者名 Sharma Ronesh、Raicar Gaurav、Tsunoda Tatsuhiko、Patil Ashwini、Sharma Alok 34  2 . 論文標題 OPAL: prediction of MoRF regions in intrinsically disordered protein sequences 5 . 発行年 2018年  3 . 雑誌名 Bioinformatics 6 . 最初と最後の頁 1850~1858	40 44004 40004 047 4000 0	
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 該当する  1 . 著者名 Sharma Ronesh、Raicar Gaurav、Tsunoda Tatsuhiko、Patil Ashwini、Sharma Alok  2 . 論文標題 OPAL: prediction of MoRF regions in intrinsically disordered protein sequences  3 . 雑誌名 Bioinformatics  4 . 巻 34  5 . 発行年 2018年  6 . 最初と最後の頁 1850~1858  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1093/bioinformatics/bty032  有  オープンアクセス  国際共著	10.1186/S12864-017-4336-8	有
オープンアクセスとしている(また、その予定である) 該当する  1 . 著者名 Sharma Ronesh、Raicar Gaurav、Tsunoda Tatsuhiko、Patil Ashwini、Sharma Alok  2 . 論文標題 OPAL: prediction of MoRF regions in intrinsically disordered protein sequences  3 . 雑誌名 Bioinformatics  4 . 巻 34  5 . 発行年 2018年  6 . 最初と最後の頁 1850~1858  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1093/bioinformatics/bty032  有  オープンアクセス  国際共著		
1 . 著者名 Sharma Ronesh、Raicar Gaurav、Tsunoda Tatsuhiko、Patil Ashwini、Sharma Alok  2 . 論文標題 OPAL: prediction of MoRF regions in intrinsically disordered protein sequences  3 . 雑誌名 Bioinformatics  4 . 巻 34  5 . 発行年 2018年  6 . 最初と最後の頁 1850~1858	オーブンアクセス	国際共著
1 . 著者名 Sharma Ronesh、Raicar Gaurav、Tsunoda Tatsuhiko、Patil Ashwini、Sharma Alok  2 . 論文標題 OPAL: prediction of MoRF regions in intrinsically disordered protein sequences  3 . 雑誌名 Bioinformatics  4 . 巻 34  5 . 発行年 2018年  6 . 最初と最後の頁 1850~1858	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
Sharma Ronesh、Raicar Gaurav、Tsunoda Tatsuhiko、Patil Ashwini、Sharma Alok  2.論文標題 OPAL: prediction of MoRF regions in intrinsically disordered protein sequences  3.雑誌名 Bioinformatics  4 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/bioinformatics/bty032  有  1 国際共著		
Sharma Ronesh、Raicar Gaurav、Tsunoda Tatsuhiko、Patil Ashwini、Sharma Alok  2.論文標題 OPAL: prediction of MoRF regions in intrinsically disordered protein sequences  3.雑誌名 Bioinformatics  4 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/bioinformatics/bty032  有  1 国際共著	1 菜2夕	
2.論文標題 OPAL: prediction of MoRF regions in intrinsically disordered protein sequences5.発行年 2018年3.雑誌名 Bioinformatics6.最初と最後の頁 1850~1858掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/bioinformatics/bty032査読の有無 有オープンアクセス国際共著		
OPAL: prediction of MoRF regions in intrinsically disordered protein sequences 2018年  3.雑誌名 Bioinformatics 6.最初と最後の頁 1850~1858  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1093/bioinformatics/bty032 有  オープンアクセス 国際共著	Sharma Konesh, Kaicar Gaurav, Isunoda latsuhiko, Patil Ashwini, Sharma Alok	34
OPAL: prediction of MoRF regions in intrinsically disordered protein sequences 2018年  3.雑誌名 Bioinformatics 6.最初と最後の頁 1850~1858  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1093/bioinformatics/bty032 有  オープンアクセス 国際共著		
OPAL: prediction of MoRF regions in intrinsically disordered protein sequences 2018年  3.雑誌名 Bioinformatics 6.最初と最後の頁 1850~1858  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 10.1093/bioinformatics/bty032 有  オープンアクセス 国際共著	2 . 論文標題	5 . 発行年
3.雑誌名       6.最初と最後の頁         Bioinformatics       1850~1858         掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)       査読の有無         10.1093/bioinformatics/bty032       有         オープンアクセス       国際共著		
Bioinformatics       1850 ~ 1858         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.1093/bioinformatics/bty032       有         オープンアクセス       国際共著	5 p. satisfies of most regions in intrinstructly arounded protein sequences	
Bioinformatics       1850 ~ 1858         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.1093/bioinformatics/bty032       有         オープンアクセス       国際共著	2 htt:4 夕	6 是知と単独の古
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)		
10.1093/bioinformatics/bty032 有 オープンアクセス 国際共著	Bioinformatics	1850 ~ 1858
10.1093/bioinformatics/bty032 有 オープンアクセス 国際共著		
10.1093/bioinformatics/bty032 有 オープンアクセス 国際共著		
10.1093/bioinformatics/bty032 有 オープンアクセス 国際共著	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス 国際共著		
		r
	ナープンフクセフ	国際 井茎
オーノンアクセスではない、又はオーノンアクセスか困難 該当する		

	1
1 . 著者名	4 . 巻
Dehzangi Abdollah, Lopez Yosvany, Taherzadeh Ghazaleh, Sharma Alok, Tsunoda Tatsuhiko	23
2 . 論文標題	5 . 発行年
SumSec: Accurate Prediction of Sumoylation Sites Using Predicted Secondary Structure	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Molecules	3260 ~ 3260
掲載論文のDOI ( デジタルオブジェクト識別子 )	査読の有無
10.3390/molecules23123260	有
10.3390/iii01ecu1es23123200	F
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
	1 . "
1.著者名	4.巻
Sharma Ronesh、Bayarjargal Maitsetseg、Tsunoda Tatsuhiko、Patil Ashwini、Sharma Alok	437
2.論文標題	5 . 発行年
MoRFPred-plus: Computational Identification of MoRFs in Protein Sequences using Physicochemical	
Properties and HMM profiles	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Theoretical Biology	9~16
outher of moretreal biology	3 10
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本芸の左無
	査読の有無
10.1016/j.jtbi.2017.10.015	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
Nomura Takanobu、Hattori Satoshi	47
2.論文標題	5 . 発行年
Estimation of the average causal effect via multiple propensity score stratification	2018年
Estimation of the average causal effect via marriple propersity score stratification	2010—
2. 始註夕	6 是初と是後の百
	6.最初と最後の頁
3.雑誌名 Communications in Statistics – Simulation and Computation	6.最初と最後の頁 48~62
Communications in Statistics - Simulation and Computation	48 ~ 62
Communications in Statistics - Simulation and Computation 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	
Communications in Statistics - Simulation and Computation	48 ~ 62
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1080/03610918.2016.1208230	48 ~ 62 査読の有無 有
Communications in Statistics - Simulation and Computation 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/03610918.2016.1208230	48 ~ 62 査読の有無
Communications in Statistics - Simulation and Computation  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1080/03610918.2016.1208230 オープンアクセス	48 ~ 62 査読の有無 有
Communications in Statistics - Simulation and Computation   掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)   10.1080/03610918.2016.1208230	48 ~ 62 査読の有無 有
Communications in Statistics - Simulation and Computation 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1080/03610918.2016.1208230 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	48~62 査読の有無 有 国際共著
Communications in Statistics - Simulation and Computation  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1080/03610918.2016.1208230 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	48~62 査読の有無 有 国際共著 -
Communications in Statistics - Simulation and Computation  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1080/03610918.2016.1208230 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	48~62 査読の有無 有 国際共著
Communications in Statistics - Simulation and Computation  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1080/03610918.2016.1208230 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sakurai Rieko、Hattori Satoshi	48~62 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 2
Communications in Statistics - Simulation and Computation  引載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1080/03610918.2016.1208230 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sakurai Rieko、Hattori Satoshi 2 . 論文標題	48~62 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 2 5.発行年
Communications in Statistics - Simulation and Computation	48~62 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 2
Communications in Statistics - Simulation and Computation  引載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1080/03610918.2016.1208230 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sakurai Rieko、Hattori Satoshi  2 . 論文標題 Goodness-of-fit test for the parametric proportional hazard regression model with intervalcensored data	48~62 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 2 5 . 発行年 2018年
Communications in Statistics - Simulation and Computation  引載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1080/03610918.2016.1208230 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sakurai Rieko、Hattori Satoshi  2 . 論文標題 Goodness-of-fit test for the parametric proportional hazard regression model with intervalcensored data 3 . 雑誌名	48~62 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 2 5.発行年
Communications in Statistics - Simulation and Computation  引載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1080/03610918.2016.1208230 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sakurai Rieko、Hattori Satoshi  2 . 論文標題 Goodness-of-fit test for the parametric proportional hazard regression model with intervalcensored data 3 . 雑誌名	48~62 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 2 5 . 発行年 2018年
Communications in Statistics - Simulation and Computation  引載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1080/03610918.2016.1208230 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sakurai Rieko、Hattori Satoshi  2 . 論文標題 Goodness-of-fit test for the parametric proportional hazard regression model with intervalcensored data	48~62 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 2 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
Communications in Statistics - Simulation and Computation  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1080/03610918.2016.1208230 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sakurai Rieko、Hattori Satoshi 2 . 論文標題 Goodness-of-fit test for the parametric proportional hazard regression model with intervalcensored data 3 . 雑誌名	48~62 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 2 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
R Table Communications in Statistics - Simulation and Computation  R Table Communications in Statistics - Simulation and Computation  R Table Communications in Statistics - Simulation and Computation  R Table Communications in Statistics - Simulation and Computation  R Table Communications in Statistics - Simulation and Computation  R Table Communications in Statistics - Simulation and Computation  R Table Communications in Statistics - Simulation and Computation  R Table Communication and Computation and Com	本語の有無有 国際共著 - 4・巻 2 5・発行年 2018年 6・最初と最後の頁 115~131
Rommunications in Statistics - Simulation and Computation  Romanications in Statistics - Simulation and Computation  Romanication and	48~62  査読の有無 有  国際共著 -  4.巻 2  5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 115~131
R Table Communications in Statistics - Simulation and Computation  R Table Communications in Statistics - Simulation and Computation  R Table Communications in Statistics - Simulation and Computation  R Table Communications in Statistics - Simulation and Computation  R Table Communications in Statistics - Simulation and Computation  R Table Communications in Statistics - Simulation and Computation  R Table Communications in Statistics - Simulation and Computation  R Table Communication and Computation and Com	本語の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 2 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 115~131
R載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/03610918.2016.1208230 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sakurai Rieko、Hattori Satoshi 2 . 論文標題 Goodness-of-fit test for the parametric proportional hazard regression model with intervalcensored data 3 . 雑誌名 Biostatistics & Epidemiology	48~62  査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 2 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 115~131  査読の有無 有
Rommunications in Statistics - Simulation and Computation  Rommunication and Computation and Computation  Rommunication and Computation and Compu	48~62  査読の有無 有  国際共著 -  4.巻 2  5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 115~131

1.著者名	1 <del>2'</del>
	4.巻   66
高部勲,山下智志	00
2 *A-b-1# 0X	5 38/= h
2 . 論文標題	5 . 発行年
B-スプライン及びAdaptive Group LASSOに基づく正則化非線形ロジットモデルによるデフォルト確率の推	2018年
定	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
統計数理	295-317
NORTH SAFE	200 011
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
なし	有
オープンアクセス	同咖井茶
• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Nishino J, Kochi Y, Shigemizu D, Kato M, Ikari K, Ochi H, Noma H, Matsui K, Morizono T,	9
Boroevich K, Tsunoda T, Matsui S.	
2. 論文標題	5.発行年
Empirical Bayes estimation of semi-parametric hierarchical mixture models for unbiased	2018年
characterization of polygenic disease architectures	2010-
	6 見知し見後の五
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Frontiers in Genetics	115
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
	1
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	_
3 7777 EXCOUNT (&Z. 001, 2000)	
4	4 <del>**</del>
1 . 著者名	4.巻
Igeta M, Takahashi K, Matsui S.	74
44.197	- 7× /
2.論文標題	5 . 発行年
Power and sample size calculation incorporating misspecifications of the variance function in	2018年
comparative clinical trials with over-dispersed count data	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Biometrics	1459-1467
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10 1111/biom 12878	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/biom.12878	査読の有無有
10.1111/biom.12878	有
10.1111/biom.12878 オープンアクセス	
10.1111/biom.12878	有
10.1111/biom.12878 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
10.1111/biom.12878 オープンアクセス	有
10.1111/biom.12878 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
10.1111/biom.12878  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名	有 国際共著 - 4.巻
10.1111/biom.12878  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 松井茂之	有 国際共著 - 4.巻 38
10.1111/biom.12878  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 松井茂之  2 . 論文標題	有 国際共著 - 4.巻 38 5.発行年
10.1111/biom.12878  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 松井茂之	有 国際共著 - 4.巻 38
10.1111/biom.12878         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1.著者名 松井茂之         2.論文標題 オミクス研究における検証的解析と探索的解析:多重検定とP値を中心に	有 国際共著 - 4.巻 38 5.発行年 2018年
10.1111/biom.12878  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 松井茂之  2.論文標題 オミクス研究における検証的解析と探索的解析:多重検定とP値を中心に  3.雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 38 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
10.1111/biom.12878  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 松井茂之  2 . 論文標題 オミクス研究における検証的解析と探索的解析:多重検定とP値を中心に	有 国際共著 - 4.巻 38 5.発行年 2018年
10.1111/biom.12878         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1.著者名 松井茂之         2.論文標題 オミクス研究における検証的解析と探索的解析:多重検定とP値を中心に         3.雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 38 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
10.1111/biom.12878         オープンアクセス         1.著者名 松井茂之         2.論文標題 オミクス研究における検証的解析と探索的解析:多重検定とP値を中心に         3.雑誌名 計量生物学	有 国際共著 - 4 . 巻 38 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 127-139
10.1111/biom.12878  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 松井茂之  2.論文標題 オミクス研究における検証的解析と探索的解析:多重検定とP値を中心に  3.雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 38 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
10.1111/biom.12878         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1.著者名 松井茂之         2.論文標題 オミクス研究における検証的解析と探索的解析:多重検定とP値を中心に         3.雑誌名 計量生物学	有 国際共著 - 4 . 巻 38 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 127-139
10.1111/biom.12878  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 松井茂之  2.論文標題 オミクス研究における検証的解析と探索的解析:多重検定とP値を中心に  3.雑誌名 計量生物学	有 国際共著 - 4 . 巻 38 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 127-139
10.1111/biom.12878         オープンアクセス         1. 著者名 松井茂之         2. 論文標題 オミクス研究における検証的解析と探索的解析:多重検定とP値を中心に         3. 雑誌名 計量生物学         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし	有 国際共著 - 4 . 巻 38 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 127-139 査読の有無 有
10.1111/biom.12878         オープンアクセス         オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難         1.著者名 松井茂之         2.論文標題 オミクス研究における検証的解析と探索的解析:多重検定とP値を中心に         3.雑誌名 計量生物学         掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	有 国際共著 - 4 . 巻 38 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 127-139

1.著者名	4 . 巻
Nishikimi M, Numaguchi A, Takahashi K, Miyagawa Y, Matsui K, Higashi M, Makishi G, Matsui S,	46
Matsuda N	
	F 36/- F
2.論文標題	5 . 発行年
Effect of administration of ramelteon, a melatonin receptor agonist, on the duration of stay in	2018年
the ICU: A single-center randomized placebo-controlled trial	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Critical Care Medicine	1099-1105
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1097/CCM.000000000003132	有
	13
オープンアクセス	国際共著
	当际 <b>共</b> 有
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Shimamura F, Hamada C, Matsui S, Hirakawa A	28
Similaliura I, Halilada C, Watsur S, Hirakawa A	20
0 *A	F 3%/-/-
2.論文標題	5 . 発行年
Two-stage approach based on zone and dose findings for two-agent combination phase I/II trials	2018年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Biopharmaceutical Statistics	1025-1037
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1080/10543406.2018.1434190.	有
10.1000/10040400.2010.1404150.	P
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 V V V C V C IS STATE V V C V IS ELVE	
	4
1 . 著者名	4.巻
	4.巻 <sup>28</sup>
1 . 著者名 Horisaki K, Takahashi K, Ito H, Matsui S	28
1 . 著者名	_
1 . 著者名 Horisaki K, Takahashi K, Ito H, Matsui S 2 . 論文標題	5 . 発行年
1 . 著者名 Horisaki K, Takahashi K, Ito H, Matsui S  2 . 論文標題 A dose-response meta-analysis to coffee consumption and colorectal cancer risk in the Japanese	28
1 . 著者名 Horisaki K, Takahashi K, Ito H, Matsui S  2 . 論文標題 A dose-response meta-analysis to coffee consumption and colorectal cancer risk in the Japanese population: Application of a cubic-spline model	28 5.発行年 2018年
1 . 著者名 Horisaki K, Takahashi K, Ito H, Matsui S  2 . 論文標題 A dose-response meta-analysis to coffee consumption and colorectal cancer risk in the Japanese population: Application of a cubic-spline model  3 . 雑誌名	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Horisaki K, Takahashi K, Ito H, Matsui S  2 . 論文標題 A dose-response meta-analysis to coffee consumption and colorectal cancer risk in the Japanese population: Application of a cubic-spline model	28 5.発行年 2018年
1 . 著者名 Horisaki K, Takahashi K, Ito H, Matsui S  2 . 論文標題 A dose-response meta-analysis to coffee consumption and colorectal cancer risk in the Japanese population: Application of a cubic-spline model  3 . 雑誌名	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Horisaki K, Takahashi K, Ito H, Matsui S  2 . 論文標題 A dose-response meta-analysis to coffee consumption and colorectal cancer risk in the Japanese population: Application of a cubic-spline model  3 . 雑誌名 Journal of Epidemiology	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Horisaki K, Takahashi K, Ito H, Matsui S  2 . 論文標題 A dose-response meta-analysis to coffee consumption and colorectal cancer risk in the Japanese population: Application of a cubic-spline model  3 . 雑誌名 Journal of Epidemiology	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 503-509
1 . 著者名 Horisaki K, Takahashi K, Ito H, Matsui S  2 . 論文標題 A dose-response meta-analysis to coffee consumption and colorectal cancer risk in the Japanese population: Application of a cubic-spline model  3 . 雑誌名 Journal of Epidemiology	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 503-509 査読の有無
1 . 著者名 Horisaki K, Takahashi K, Ito H, Matsui S  2 . 論文標題 A dose-response meta-analysis to coffee consumption and colorectal cancer risk in the Japanese population: Application of a cubic-spline model  3 . 雑誌名 Journal of Epidemiology	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 503-509
1 . 著者名 Horisaki K, Takahashi K, Ito H, Matsui S  2 . 論文標題 A dose-response meta-analysis to coffee consumption and colorectal cancer risk in the Japanese population: Application of a cubic-spline model  3 . 雑誌名 Journal of Epidemiology	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 503-509 査読の有無 有
1 . 著者名 Horisaki K, Takahashi K, Ito H, Matsui S  2 . 論文標題 A dose-response meta-analysis to coffee consumption and colorectal cancer risk in the Japanese population: Application of a cubic-spline model  3 . 雑誌名 Journal of Epidemiology	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 503-509 査読の有無
1 . 著者名 Horisaki K, Takahashi K, Ito H, Matsui S  2 . 論文標題 A dose-response meta-analysis to coffee consumption and colorectal cancer risk in the Japanese population: Application of a cubic-spline model  3 . 雑誌名 Journal of Epidemiology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 503-509 査読の有無 有
1 . 著者名 Horisaki K, Takahashi K, Ito H, Matsui S  2 . 論文標題 A dose-response meta-analysis to coffee consumption and colorectal cancer risk in the Japanese population: Application of a cubic-spline model  3 . 雑誌名 Journal of Epidemiology	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 503-509 査読の有無 有
1 . 著者名 Horisaki K, Takahashi K, Ito H, Matsui S  2 . 論文標題 A dose-response meta-analysis to coffee consumption and colorectal cancer risk in the Japanese population: Application of a cubic-spline model  3 . 雑誌名 Journal of Epidemiology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 503-509 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 Horisaki K, Takahashi K, Ito H, Matsui S  2 . 論文標題 A dose-response meta-analysis to coffee consumption and colorectal cancer risk in the Japanese population: Application of a cubic-spline model  3 . 雑誌名 Journal of Epidemiology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 503-509 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 Horisaki K, Takahashi K, Ito H, Matsui S  2 . 論文標題 A dose-response meta-analysis to coffee consumption and colorectal cancer risk in the Japanese population: Application of a cubic-spline model  3 . 雑誌名 Journal of Epidemiology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 503-509 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 Horisaki K, Takahashi K, Ito H, Matsui S  2 . 論文標題 A dose-response meta-analysis to coffee consumption and colorectal cancer risk in the Japanese population: Application of a cubic-spline model  3 . 雑誌名 Journal of Epidemiology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 503-509 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 Horisaki K, Takahashi K, Ito H, Matsui S  2 . 論文標題 A dose-response meta-analysis to coffee consumption and colorectal cancer risk in the Japanese population: Application of a cubic-spline model  3 . 雑誌名 Journal of Epidemiology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Matsui S, Crowley J	28 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 503-509 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 Horisaki K, Takahashi K, Ito H, Matsui S  2 . 論文標題 A dose-response meta-analysis to coffee consumption and colorectal cancer risk in the Japanese population: Application of a cubic-spline model  3 . 雑誌名 Journal of Epidemiology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Matsui S, Crowley J  2 . 論文標題	28 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 503-509 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 24
1 . 著者名 Horisaki K, Takahashi K, Ito H, Matsui S  2 . 論文標題 A dose-response meta-analysis to coffee consumption and colorectal cancer risk in the Japanese population: Application of a cubic-spline model  3 . 雑誌名 Journal of Epidemiology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Matsui S, Crowley J  2 . 論文標題 Biomarker-stratified phase III clinical trials: Enhancement with a subgroup-focused sequential	28 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 503-509 査読の有無 有 国際共著
1 . 著者名 Horisaki K, Takahashi K, Ito H, Matsui S  2 . 論文標題 A dose-response meta-analysis to coffee consumption and colorectal cancer risk in the Japanese population: Application of a cubic-spline model  3 . 雑誌名 Journal of Epidemiology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Matsui S, Crowley J  2 . 論文標題 Biomarker-stratified phase III clinical trials: Enhancement with a subgroup-focused sequential design	28 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 503-509 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 24 5.発行年 2018年
1 . 著者名 Horisaki K, Takahashi K, Ito H, Matsui S  2 . 論文標題 A dose-response meta-analysis to coffee consumption and colorectal cancer risk in the Japanese population: Application of a cubic-spline model  3 . 雑誌名 Journal of Epidemiology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Matsui S, Crowley J  2 . 論文標題 Biomarker-stratified phase III clinical trials: Enhancement with a subgroup-focused sequential design 3 . 雑誌名	28 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 503-509 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 24 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
1 . 著者名 Horisaki K, Takahashi K, Ito H, Matsui S  2 . 論文標題 A dose-response meta-analysis to coffee consumption and colorectal cancer risk in the Japanese population: Application of a cubic-spline model  3 . 雑誌名 Journal of Epidemiology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Matsui S, Crowley J  2 . 論文標題 Biomarker-stratified phase III clinical trials: Enhancement with a subgroup-focused sequential design	28 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 503-509 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 24 5.発行年 2018年
1 . 著者名 Horisaki K, Takahashi K, Ito H, Matsui S  2 . 論文標題 A dose-response meta-analysis to coffee consumption and colorectal cancer risk in the Japanese population: Application of a cubic-spline model  3 . 雑誌名 Journal of Epidemiology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Matsui S, Crowley J  2 . 論文標題 Biomarker-stratified phase III clinical trials: Enhancement with a subgroup-focused sequential design 3 . 雑誌名	28 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 503-509 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 24 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
1 . 著者名 Horisaki K, Takahashi K, Ito H, Matsui S  2 . 論文標題 A dose-response meta-analysis to coffee consumption and colorectal cancer risk in the Japanese population: Application of a cubic-spline model  3 . 雑誌名 Journal of Epidemiology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Matsui S, Crowley J  2 . 論文標題 Biomarker-stratified phase III clinical trials: Enhancement with a subgroup-focused sequential design 3 . 雑誌名	28 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁 503-509 査読の有無 有 国際共著 - 4.巻 24 5.発行年 2018年 6.最初と最後の頁
1 . 著者名 Horisaki K, Takahashi K, Ito H, Matsui S  2 . 論文標題 A dose-response meta-analysis to coffee consumption and colorectal cancer risk in the Japanese population: Application of a cubic-spline model  3 . 雑誌名 Journal of Epidemiology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Matsui S, Crowley J  2 . 論文標題 Biomarker-stratified phase III clinical trials: Enhancement with a subgroup-focused sequential design  3 . 雑誌名 Clin Cancer Res	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 503-509 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 24 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 994-1001
1 . 著者名 Horisaki K, Takahashi K, Ito H, Matsui S  2 . 論文標題 A dose-response meta-analysis to coffee consumption and colorectal cancer risk in the Japanese population: Application of a cubic-spline model  3 . 雑誌名 Journal of Epidemiology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Matsui S, Crowley J  2 . 論文標題 Biomarker-stratified phase III clinical trials: Enhancement with a subgroup-focused sequential design  3 . 雑誌名 Clin Cancer Res	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 503-509 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 24 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 994-1001
1 . 著者名 Horisaki K, Takahashi K, Ito H, Matsui S  2 . 論文標題 A dose-response meta-analysis to coffee consumption and colorectal cancer risk in the Japanese population: Application of a cubic-spline model  3 . 雑誌名 Journal of Epidemiology  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Matsui S, Crowley J  2 . 論文標題 Biomarker-stratified phase III clinical trials: Enhancement with a subgroup-focused sequential design  3 . 雑誌名 Clin Cancer Res	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 503-509 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 24 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 994-1001
1 . 著者名 Horisaki K, Takahashi K, Ito H, Matsui S  2 . 論文標題 A dose-response meta-analysis to coffee consumption and colorectal cancer risk in the Japanese population: Application of a cubic-spline model 3 . 雑誌名 Journal of Epidemiology  掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Matsui S, Crowley J  2 . 論文標題 Biomarker-stratified phase III clinical trials: Enhancement with a subgroup-focused sequential design 3 . 雑誌名 Clin Cancer Res	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 503-509  査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 24 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 994-1001  査読の有無 有
1 . 著者名 Horisaki K, Takahashi K, Ito H, Matsui S  2 . 論文標題 A dose-response meta-analysis to coffee consumption and colorectal cancer risk in the Japanese population: Application of a cubic-spline model  3 . 雑誌名 Journal of Epidemiology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Matsui S, Crowley J  2 . 論文標題 Biomarker-stratified phase III clinical trials: Enhancement with a subgroup-focused sequential design  3 . 雑誌名 Clin Cancer Res	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 503-509 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 24 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 994-1001
1 . 著者名 Horisaki K, Takahashi K, Ito H, Matsui S  2 . 論文標題 A dose-response meta-analysis to coffee consumption and colorectal cancer risk in the Japanese population: Application of a cubic-spline model 3 . 雑誌名 Journal of Epidemiology  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Matsui S, Crowley J  2 . 論文標題 Biomarker-stratified phase III clinical trials: Enhancement with a subgroup-focused sequential design 3 . 雑誌名 Clin Cancer Res	28 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 503-509  査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 24 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 994-1001  査読の有無 有

1.著者名	4 . 巻
Matsui S, Noma H, Qu P, Sakai Y, Matsui K, Heuck C, Crowley J	74
matter of home if, and if, satellity the interest of the inter	
2 * _ * _ * _ * _ * _ * _ * _ * _ * _ *	F 38/-/-
2.論文標題	5 . 発行年
Multi-subgroup gene screening using semi-parametric hierarchical mixture models and the optimal	2018年
discovery procedure: Application to a randomized clinical trial in multiple myeloma	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
** *** **	
Biometrics	313-320
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1111/biom.12716. 6	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
オープンデクと人とはない、又はオープンデクと人が四無	政当する
. ***	
1.著者名	4 . 巻
Sugasawa S, Noma H, Otani T, Nishino J, Matsui S	25
2.論文標題	5 . 発行年
An efficient and flexible test for rare variant effects	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Eur J Hum Genet	752-757
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1038/ejhg.2017.43	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	<u>-</u>
1. 著者名	л <b>ж</b>
	4 . 巻
Toyoizumi K, Matsui S	9
2 . 論文標題	5 . 発行年
Correcting estimation bias in randomized clinical trials with a test of treatment-by-biomarker	2017年
	2017—
interaction	c = 47   = // e =
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Statistics in Biopharmaceutical Research	172-179
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1080/19466315.2016.1255252	有
10.1000/19400313.2010.1233232	Ħ
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
	27
Emura T, Nakatochi M, Matsui S, Michimae H, Rondeau V	۷۱
2.論文標題	5 . 発行年
Personalized dynamic prediction of death according to tumour progression and high-dimensional	2018年
genetic factors: Meta-analysis with a joint model	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Statistical Methods in Medical Research	2842-2858
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1177/0962280216688032	有
	.5
オープンアクセス	国際共著
	該当する
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	M 1 7 0

1. 書名名 (Remura Y. Sakata N. Takahashi K. Nishi D. Tachinori H 27 2	1 520	4 *
2. 論文権題		_
Epidemicology of overdose episodes from the period prior to hospitalization for drug poisoning until discharge in Japan: An exploratory descriptive study using a natiomalde claims database  3. 競話名 J Epidemicol 3. 競話名 J Epidemicol 3. 競話名 J Epidemicol 4. 世界	OKUMUTA 1, SAKATA N, TAKAMASHI K, NISHI D, TACHIMOTI H	21
Epidemicology of overdose episodes from the period prior to hospitalization for drug poisoning until discharge in Japan: An exploratory descriptive study using a natiomalde claims database  3. 競話名 J Epidemicol 3. 競話名 J Epidemicol 3. 競話名 J Epidemicol 4. 世界	2 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10	5 発行年
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##		
3 . 雑誌名	epidemiology of overdose episodes from the period priod to hospitalization for drug poisoning	20174
現職論文のDDI (デジタルオブジェクト護別子)	untri discharge in Japan. An exploratory descriptive study using a nationwide craims database	
現職論文のDDI (デジタルオブジェクト護別子)		
現職論文のDDI (デジタルオブジェクト護別子)		
現職論文のDDI (デジタルオブジェクト護別子)	3、雑誌名	6 最初と最後の百
### (10.1016/j.j.e.2016.08.010  ###   古談の有無		
1. それで 1. 1016/j.je. 2016.08.010 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	o apradimen	0.0 000
1. それで 1. 1016/j.je. 2016.08.010 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難		
1. それで 1. 1016/j.je. 2016.08.010 有 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
コープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難		
3		
1 . 著名名 Shigemizu D, Miya F, Akiyama S, Okuda S, Boroevich KA, Fujimoto A, Nakagawa H, Ozaki K, Niida S, Kanemura Y, Okanoto N, Saitoh S, Kato M, Yamasaki M, Watsunaga T, Mutai H, Kosaki K, Tsunoda T	オープンアクセス	国際共著
Shippenizu D, Miya F, Akiyama S, Okuda S, Borcevich KA, Fujimoto A, Nakagawa H, Ozaki K, Niida T	オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
Shippenizu D, Miya F, Akiyama S, Okuda S, Borcevich KA, Fujimoto A, Nakagawa H, Ozaki K, Niida T		
Shippenizu D, Miya F, Akiyama S, Okuda S, Borcevich KA, Fujimoto A, Nakagawa H, Ozaki K, Niida T	1.著者名	4 . 巻
S. Kanemura Y. Ökamoto N. Saitoh S. Kato M. Yamasaki M. Matsunaga T. Mutai H. Kosaki K. Tsunoda T. Mutai H. Kosaki K. Tsunoda T. Misindel: An accurate intermediate-size indel detection tool incorporating de novo assembly and gapped global-local alignment with split read analysis  S. immorphism		
T  2 . 論文標題 INSindel: An accurate intermediate-size indel detection tool incorporating de novo assembly and gapped global-local alignment with split read analysis 3 . 雑誌名 Scientific Reports  6 . 最初と最後の頁 5508    福敷論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s4f588-018-23978-z  7 - ブンアクセス  1 . 著者名 Lopez Y, Sharma A, Dehzangi A, Lal SP, Taherzadeh G, Sattar A, Tsunoda T  2 . 論文標題 Success: evolutionary and structural properties of amino acids prove effective for succinylation site prediction 3 . 雑誌名 BMC Genonics  1 . 著者名 Sharma A, Kanola PJ, Tsunoda T  2 . 論文標題		
INSIndel: An accurate intermediate-size indel detection tool incorporating de novo assembly and gapped global-local alignment with split read analysis  3 . 雑誌名 Scientific Reports  6 . 最初と最後の頁 8608		
INSIndel: An accurate intermediate-size indel detection tool incorporating de novo assembly and gapped global-local alignment with split read analysis  3 . 雑誌名 Scientific Reports  6 . 最初と最後の頁 8608		
INSIndel: An accurate intermediate-size indel detection tool incorporating de novo assembly and gapped global-local alignment with split read analysis  3 . 雑誌名 Scientific Reports  6 . 最初と最後の頁 8608	2.論文標題	5 . 発行年
gapped global-local alignment with split read analysis 3.雑誌名 Scientific Reports 6.最初と最後の頁 5608		
3 . 雑誌名 Scientific Reports 信用製油(のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-23978-z オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Lopez Y, Sharma A, Dehzangi A, Lal SP, Taherzadeh G, Sattar A, Tsunoda T  2 . 論文標題 Success: evolutionary and structural properties of anino acids prove effective for succinylation site prediction 3 . 雑誌名 BMC Genomics 信託の有無 カープンアクセス  指戦論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12864-017-4336-8  1 . 著者名 Sharma A, Kamola PJ, Tsunoda T  2 . 論文標題 2 . 論文標題 2 . 論文標題 3 . 雑誌名 BMC Bioinformatics  4 . 巻 18 5 . 発行年 2017年 2017年 2017年 3 . 雑誌名 BMC Bioinformatics  6 . 最初と最後の頁 547    日間に関連的		
Scientific Reports   5608		6.最初と最後の百
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-23978-2 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Lopez Y、Sharma A、Debzangi A、Lal SP、Taherzadeh G、Sattar A、Tsunoda T 19 2. 論文標題 Success: evolutionary and structural properties of amino acids prove effective for succinylation site prediction 3. 触誌名 BMC Genomics  おープンアクセス  担職論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1186/s12864-017-4336-8  1. 著者名 Sharma A、Kamola PJ、Tsunoda T  2. 論文標題 20:記する カープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Sharma A、Kamola PJ、Tsunoda T  2. 論文標題 20:記する 3. 雑誌名 BMC Bioinformatics  5. 発行年 20:7年 20:77年 20:77		
10.1038/s41598-018-23978-z 有	octon trive reports	3000
10.1038/s41598-018-23978-z 有		
10.1038/s41598-018-23978-z 有	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Lopez Y, Sharma A, Debzangi A, Lal SP, Taherzadeh G, Sattar A, Tsunoda T  2. 論文標題 Success: evolutionary and structural properties of amino acids prove effective for succinylation site prediction  3. 雑誌名 BMC Genomics  4. 巻 19  5. 発行年 2018年 2018年 2018年 3. 雑誌名 BMC Genomics  4. 最初と最後の頁 923  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s122864-017-4336-8  1. 著者名 Sharma A, Kamola PJ, Tsunoda T  2. 論文標題 20-EM clustering approach for high-dimensional data through folding feature vectors  5. 発行年 2017年 2017年  3. 雑誌名 BMC Bioinformatics  6. 最初と最後の頁 547  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s122859-017-1970-8  有 オープンアクセス  国際共著		
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Lopez Y, Sharma A, Dehzangi A, Lal SP, Taherzadeh G, Sattar A, Tsunoda T  2. 論文標題 Success: evolutionary and structural properties of amino acids prove effective for succinylation site prediction  3. 雑誌名 BMC Genomics  6. 最初と最後の頁 923  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1186/s12864-017-4336-8  1. 著者名 Sharma A, Kamola PJ, Tsunoda T  2. 論文標題 20-EM clustering approach for high-dimensional data through folding feature vectors  8. 発行年 2017年  3. 雑誌名 BMC Bioinformatics  6. 最初と最後の頁 547  4. 巻 18  5. 発行年 2017年 2017年  3. 雑誌名 BMC Bioinformatics  6. 最初と最後の頁 547	18.1666/811666 818 25076 2	[7
オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1. 著者名 Lopez Y, Sharma A, Dehzangi A, Lal SP, Taherzadeh G, Sattar A, Tsunoda T  2. 論文標題 Success: evolutionary and structural properties of amino acids prove effective for succinylation site prediction  3. 雑誌名 BMC Genomics  6. 最初と最後の頁 923  超載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1186/s12864-017-4336-8  1. 著者名 Sharma A, Kamola PJ, Tsunoda T  2. 論文標題 20-EM clustering approach for high-dimensional data through folding feature vectors  8. 発行年 2017年  18. 表現の目標題 20-EM clustering approach for high-dimensional data through folding feature vectors  18. 最初と最後の頁 547  超載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1186/s12859-017-1970-8  指載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1186/s12859-017-1970-8	オープンアクセス	国際共著
1 . 著者名 Lopez Y, Sharma A, Dehzangi A, Lal SP, Taherzadeh G, Sattar A, Tsunoda T  2 . 論文標題 Success: evolutionary and structural properties of amino acids prove effective for succinylation site prediction  3 . 雑誌名 BMC Genomics  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12864-017-4336-8  1 . 著者名 Sharma A, Kamola PJ, Tsunoda T  2 . 論文標題 2D-EM clustering approach for high-dimensional data through folding feature vectors  3 . 雑誌名 BMC Bioinformatics  4 . 巻 18  5 . 発行年 2017年 2017年 2017年 2017年  3 . 雑誌名 BMC Bioinformatics  a 読が有無 10.1186/s12859-017-1970-8  有  オープンアクセス  国際共著	オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
Lopez Y, Sharma A, Dehzangi A, Lal SP, Taherzadeh G, Sattar A, Tsunoda T  2. 論文標題 Success: evolutionary and structural properties of amino acids prove effective for succinylation site prediction  3. 雑誌名 BMC Genomics  6. 最初と最後の頁 923  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12864-017-4336-8  オープンアクセス  1. 著者名 Sharma A, Kamola PJ, Tsunoda T  2. 論文標題 2D-EM clustering approach for high-dimensional data through folding feature vectors  3. 雑誌名 BMC Bioinformatics  10.1186/s12859-017-1970-8  和オープンアクセス  国際共著  音読の有無 10.1186/s12859-017-1970-8  直読の有無 10.1186/s12859-017-1970-8		
Lopez Y, Sharma A, Dehzangi A, Lal SP, Taherzadeh G, Sattar A, Tsunoda T  2. 論文標題 Success: evolutionary and structural properties of amino acids prove effective for succinylation site prediction  3. 雑誌名 BMC Genomics  6. 最初と最後の頁 923  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12864-017-4336-8  オープンアクセス  1. 著者名 Sharma A, Kamola PJ, Tsunoda T  2. 論文標題 2D-EM clustering approach for high-dimensional data through folding feature vectors  3. 雑誌名 BMC Bioinformatics  10.1186/s12859-017-1970-8  和オープンアクセス  国際共著  音読の有無 10.1186/s12859-017-1970-8  直読の有無 10.1186/s12859-017-1970-8	1.著者名	4 . 巻
2 . 論文標題 Success: evolutionary and structural properties of amino acids prove effective for succinylation site prediction       5 . 発行年 2018年         3 . 雑誌名 BMC Genomics       6 . 最初と最後の頁 923         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12864-017-4336-8       査読の有無 有         オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)       国際共著 該当する         1 . 著者名 Sharma A, Kamola PJ, Tsunoda T       4 . 巻 18         2 . 論文標題 2D-EM clustering approach for high-dimensional data through folding feature vectors       5 . 発行年 2017年         3 . 雑誌名 BMC Bioinformatics       6 . 最初と最後の頁 547         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12859-017-1970-8       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著	Lopez Y. Sharma A. Dehzangi A. Lal SP. Taherzadeh G. Sattar A. Tsunoda T	19
Success: evolutionary and structural properties of amino acids prove effective for succinylation site prediction  3 · 雑誌名	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
Success: evolutionary and structural properties of amino acids prove effective for succinylation site prediction  3 · 雑誌名	2.論文標題	5 . 発行年
succinylation site prediction       6.最初と最後の頁         3.雑誌名       6.最初と最後の頁         BMC Genomics       923         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.1186/s12864-017-4336-8       国際共著         オープンアクセス       国際共著         オープンアクセスとしている(また、その予定である)       4.巻         Sharma A, Kamola PJ, Tsunoda T       18         2.論文標題 2D-EM clustering approach for high-dimensional data through folding feature vectors       5.発行年 2017年         3.雑誌名 BMC Bioinformatics       6.最初と最後の頁 547         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12859-017-1970-8       査読の有無 有         オープンアクセス       国際共著		
3 . 雑誌名 BMC Genomics  信 . 最初と最後の頁 923  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12864-017-4336-8  オープンアクセス  I 画際共著  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Sharma A, Kamola PJ, Tsunoda T  2 . 論文標題 2D-EM clustering approach for high-dimensional data through folding feature vectors  3 . 雑誌名 BMC Bioinformatics  6 . 最初と最後の頁 547  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1186/s12859-017-1970-8  直際共著		
BMC Genomics 923  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12864-017-4336-8 有  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 該当する 4.巻 18  2.論文標題 2D-EM clustering approach for high-dimensional data through folding feature vectors		6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12864-017-4336-8  オープンアクセス  1 . 著者名 Sharma A, Kamola PJ, Tsunoda T  2 . 論文標題 2D-EM clustering approach for high-dimensional data through folding feature vectors  3 . 雑誌名 BMC Bioinformatics  お . 表表の可能		
10.1186/s12864-017-4336-8 有 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 該当する  1.著者名 Sharma A, Kamola PJ, Tsunoda T 4.巻 18  2.論文標題 2D-EM clustering approach for high-dimensional data through folding feature vectors 2017年 3.雑誌名 BMC Bioinformatics 6.最初と最後の頁 547	2	020
10.1186/s12864-017-4336-8 有 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 該当する  1.著者名 Sharma A, Kamola PJ, Tsunoda T 4.巻 18  2.論文標題 2D-EM clustering approach for high-dimensional data through folding feature vectors 2017年 3.雑誌名 BMC Bioinformatics 6.最初と最後の頁 547		
10.1186/s12864-017-4336-8 有 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 国際共著 該当する  1.著者名 Sharma A, Kamola PJ, Tsunoda T 4.巻 18  2.論文標題 2D-EM clustering approach for high-dimensional data through folding feature vectors 2017年 3.雑誌名 BMC Bioinformatics 6.最初と最後の頁 547	掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
オープンアクセス 国際共著	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
オープンアクセスとしている(また、その予定である)該当する1 . 著者名 Sharma A, Kamola PJ, Tsunoda T4 . 巻 182 . 論文標題 2D-EM clustering approach for high-dimensional data through folding feature vectors5 . 発行年 2017年3 . 雑誌名 BMC Bioinformatics6 . 最初と最後の頁 547掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10 . 1186/s12859-017-1970-8査読の有無 有オープンアクセス国際共著		
オープンアクセスとしている(また、その予定である)該当する1 . 著者名 Sharma A, Kamola PJ, Tsunoda T4 . 巻 182 . 論文標題 2D-EM clustering approach for high-dimensional data through folding feature vectors5 . 発行年 2017年3 . 雑誌名 BMC Bioinformatics6 . 最初と最後の頁 547掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10 . 1186/s12859-017-1970-8査読の有無 有オープンアクセス国際共著	オープンアクセス	国際共著
1 . 著者名 Sharma A, Kamola PJ, Tsunoda T  2 . 論文標題 2D-EM clustering approach for high-dimensional data through folding feature vectors  3 . 雑誌名 BMC Bioinformatics  5 . 発行年 2017年  6 . 最初と最後の頁 547  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12859-017-1970-8  有  オープンアクセス  国際共著		
Sharma A, Kamola PJ, Tsunoda T  2 . 論文標題 2D-EM clustering approach for high-dimensional data through folding feature vectors  3 . 雑誌名 BMC Bioinformatics  6 . 最初と最後の頁 547  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1186/s12859-017-1970-8  有  オープンアクセス  国際共著		
Sharma A, Kamola PJ, Tsunoda T  2 . 論文標題 2D-EM clustering approach for high-dimensional data through folding feature vectors  3 . 雑誌名 BMC Bioinformatics  6 . 最初と最後の頁 547  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1186/s12859-017-1970-8  有  オープンアクセス  国際共著	1 . 著者名	4 . 巻
2.論文標題 2D-EM clustering approach for high-dimensional data through folding feature vectors5.発行年 2017年3.雑誌名 BMC Bioinformatics6.最初と最後の頁 547掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.1186/s12859-017-1970-8査読の有無 有オープンアクセス国際共著		
2D-EM clustering approach for high-dimensional data through folding feature vectors  3.雑誌名 BMC Bioinformatics  6.最初と最後の頁 547  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1186/s12859-017-1970-8  有  オープンアクセス  国際共著	Charma ny hamora roy tourious r	
2D-EM clustering approach for high-dimensional data through folding feature vectors  3.雑誌名 BMC Bioinformatics  6.最初と最後の頁 547  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1186/s12859-017-1970-8  有  オープンアクセス  国際共著	2 論文煙頭	5 発行在
3 . 雑誌名 BMC Bioinformatics  6 . 最初と最後の頁 547  掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10 . 1186/s12859-017-1970-8  有  オープンアクセス  国際共著		
BMC Bioinformatics       547         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.1186/s12859-017-1970-8       有         オープンアクセス       国際共著	25 Lim orastoring approach for ingir-unifersional data tillough folding reature vectors	2017—
BMC Bioinformatics       547         掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)       査読の有無         10.1186/s12859-017-1970-8       有         オープンアクセス       国際共著	3、雑誌名	6 最初と最後の百
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12859-017-1970-8 オープンアクセス 国際共著		
10.1186/s12859-017-1970-8     有       オープンアクセス     国際共著	סוווטוווסווווסוווסוווסוווסוווסוווסוווסו	J41
10.1186/s12859-017-1970-8     有       オープンアクセス     国際共著		
10.1186/s12859-017-1970-8     有       オープンアクセス     国際共著		   査読の有無
オープンアクセス 国際共著		
	10.1100/312000-017-1070-0	P
	オープンアクセス	国際共著
3 2277 ENCOCKING (SAC. CONTR. CONT.)		
	3 JJJ JENCOCKIO (AR. CONTROMO)	

1.著者名	1 4 ±44
<u> </u>	4 . 巻
Sharma A, Lopez Y, Tsunoda T	18
2.論文標題	5.発行年
Divisive hierarchical maximum likelihood clustering	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
BMC Bioinformatics	546
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1186/s12859-017-1965-5	有
10.1100/512039-01/-1903-3	THE STATE OF THE S
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
	1
1.著者名	4 . 巻
Lysenko A, Boroevich KA, Tsunoda T	10
2.論文標題	5 . 発行年
Arete - candidate gene prioritization using biological network topology with additional	2017年
evidence types	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
BioData Mining	22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1186/s13040-017-0141-9. eCollection 2017	有
オープンアクセス	国際共著
オーブンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
Shigemizu D, Iwase T, Yoshimoto M, Suzuki Y, Miya F, Boroevich KA, Katagiri T, Zembutsu H,	6
Tsunoda T	
	F 整件件
2 . 論文標題	5.発行年
The prediction models for postoperative overall survival and disease-free survival in patients	2017年
with breast cancer	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Cancer Medicine	1627-1638
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cam4 1092	   査読の有無   有
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/cam4.1092	査読の有無   有
10.1002/cam4.1092	有
10.1002/cam4.1092 オープンアクセス	
10.1002/cam4.1092	有
10.1002/cam4.1092 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	有 国際共著 -
10.1002/cam4.1092 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	有
10.1002/cam4.1092 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	有 国際共著 -
10.1002/cam4.1092 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Hattori S, Zhou XH	有 国際共著 - 4.巻
10.1002/cam4.1092 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	有 国際共著 - 4.巻
10.1002/cam4.1092 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Hattori S, Zhou XH  2.論文標題	有 国際共著 - 4.巻 37 5.発行年
10.1002/cam4.1092 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Hattori S, Zhou XH	有 国際共著 - 4.巻 37
10.1002/cam4.1092  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Hattori S, Zhou XH  2 . 論文標題 Sensitivity analysis for publication bias of diagnostic studies for a continuous biomarker	有 国際共著 - 4.巻 37 5.発行年 2018年
10.1002/cam4.1092  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Hattori S, Zhou XH  2 . 論文標題 Sensitivity analysis for publication bias of diagnostic studies for a continuous biomarker  3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 37 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
10.1002/cam4.1092  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Hattori S, Zhou XH  2 . 論文標題 Sensitivity analysis for publication bias of diagnostic studies for a continuous biomarker	有 国際共著 - 4.巻 37 5.発行年 2018年
10.1002/cam4.1092  オープンアクセス  オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1.著者名 Hattori S, Zhou XH  2.論文標題 Sensitivity analysis for publication bias of diagnostic studies for a continuous biomarker  3.雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 37 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Hattori S, Zhou XH  2 . 論文標題 Sensitivity analysis for publication bias of diagnostic studies for a continuous biomarker  3 . 雑誌名 Statistics in Medicine	有 国際共著 - 4 . 巻 37 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 327-342
オープンアクセス	有 国際共著 - 4 . 巻 37 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Hattori S, Zhou XH  2 . 論文標題 Sensitivity analysis for publication bias of diagnostic studies for a continuous biomarker  3 . 雑誌名 Statistics in Medicine	有 国際共著 - 4 . 巻 37 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 327-342
オープンアクセス	有 国際共著 - 4 . 巻 37 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 327-342
オープンアクセス	有 国際共著 - 4 . 巻 37 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 327-342
10.1002/cam4.1092 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)  1 . 著者名 Hattori S, Zhou XH  2 . 論文標題 Sensitivity analysis for publication bias of diagnostic studies for a continuous biomarker  3 . 雑誌名 Statistics in Medicine  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/sim.7510	有 国際共著 - 4 . 巻 37 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 327-342 査読の有無 有

1.著者名	1 <del>*</del>
	4.巻
Nomura T, Hattori S	47
2.論文標題	c
······	5.発行年
Estimation of the average causal effect vis multiple propensity score stratification	2018年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Communications in Statistics, Simulation and Computation	48-62
Communications in Statistics, Simulation and Computation	70-02
	*****
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1080/03610918.2016.1208230	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
	T
1.著者名	4 . 巻
Nishikimi M, Matsuda N, Matsui K, Takahashi K, Ejima T, Liu K, Ogura T, Higashi M, Umino H, Makishi G, Numaguchi A, Matsushima S, Tokuyama H, Nakamura M, Matsui S.	42
2 . 論文標題	5 . 発行年
CAST: a new score for early prediction of neurological outcomes after cardiac arrest before therapeutic hypothermia with high accuracy.	2016年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Intensive Care Med.	2106-2107
児郵給立のDOL / デジタルナプジェクト神叫フト	本性の方無
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/s00134-016-4492-3.	有
t − プンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
Ishikawa T, Uetake H, Murotani K, Kobunai T, Ishiguro M, Matsui S, Sugihara K.	36
2.論文標題	5.発行年
Genome-wide DNA Copy-number Analysis in ACTS-CC Trial of Adjuvant Chemotherapy for Stage III	2016年
Colonic Cancer.	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Anticancer Res.	853-860
	1
界載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
	査読の有無
     	   査読の有無   有
なし オープンアクセス	
なし	有
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	有 国際共著 -
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	有 国際共著 -
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	有 国際共著 -
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Sharma A, Boroevich KA, Shigemizu D, Kamatani Y, Kubo M, Tsunoda T.	有 国際共著 - 4.巻 64
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  I.著者名 Sharma A, Boroevich KA, Shigemizu D, Kamatani Y, Kubo M, Tsunoda T.	有 国際共著 - 4.巻 64 5.発行年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Sharma A, Boroevich KA, Shigemizu D, Kamatani Y, Kubo M, Tsunoda T.	有 国際共著 - 4.巻 64
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sharma A, Boroevich KA, Shigemizu D, Kamatani Y, Kubo M, Tsunoda T.  2 . 論文標題 Hierarchical Maximum Likelihood Clustering Approach.	有 国際共著 - 4.巻 64 5.発行年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  I.著者名 Sharma A, Boroevich KA, Shigemizu D, Kamatani Y, Kubo M, Tsunoda T.  2.論文標題 Hierarchical Maximum Likelihood Clustering Approach.	有 国際共著 - 4.巻 64 5.発行年 2017年
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sharma A, Boroevich KA, Shigemizu D, Kamatani Y, Kubo M, Tsunoda T.  2 . 論文標題 Hierarchical Maximum Likelihood Clustering Approach. 3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4 . 巻 64 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sharma A, Boroevich KA, Shigemizu D, Kamatani Y, Kubo M, Tsunoda T.  2 . 論文標題 Hierarchical Maximum Likelihood Clustering Approach.  3 . 雑誌名 IEEE Transactions on Biomedical Engineering	有 国際共著 - 4 . 巻 64 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 112-122
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Sharma A, Boroevich KA, Shigemizu D, Kamatani Y, Kubo M, Tsunoda T.  2.論文標題 Hierarchical Maximum Likelihood Clustering Approach.  3.雑誌名 IEEE Transactions on Biomedical Engineering	有 国際共著 - 4 . 巻 64 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 112-122 査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sharma A, Boroevich KA, Shigemizu D, Kamatani Y, Kubo M, Tsunoda T.  2 . 論文標題 Hierarchical Maximum Likelihood Clustering Approach.  3 . 雑誌名 IEEE Transactions on Biomedical Engineering	有 国際共著 - 4 . 巻 64 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 112-122
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Sharma A, Boroevich KA, Shigemizu D, Kamatani Y, Kubo M, Tsunoda T.  2 . 論文標題 Hierarchical Maximum Likelihood Clustering Approach.  3 . 雑誌名 IEEE Transactions on Biomedical Engineering	有 国際共著 - 4 . 巻 64 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 112-122 査読の有無

1.著者名	4 . 巻
Sharma A, Shigemizu D, Boroevich KA, Lopez Y, Kamatani Y, Kubo M, Tsunoda T.	17
2.論文標題	5 . 発行年
Stepwise iterative maximum likelihood clustering approach.	2016年
Stepwise Iterative maximum likerimood crustering approach.	2010-
2 1844 67	C = 171 = 14 o =
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
BMC Bioinformatics	319
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1186/s12859-016-1184-5	有
10.1100/312039-010-1104-3	THE STATE OF THE S
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
Komukai S, Hattori S	73
2.論文標題	5.発行年
	2017年
Doubly robust estimators for net survival rates in analyses of cancer registry data	2017年
0. 1824.07	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Biometrics	124-133
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1111/biom.12568	有
10.1111/010(11.12300	[F
オープンアクセス	
=	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4.巻
	4.巻   35
1.著者名 Hattori S, Zhou XH	
Hattori S, Zhou XH	35
Hattori S, Zhou XH 2 . 論文標題	5 . 発行年
Hattori S, Zhou XH  2 .論文標題 Time-dependent summary receiver operating characteristics for meta-analyses of prognostic	35
Hattori S, Zhou XH  2 . 論文標題 Time-dependent summary receiver operating characteristics for meta-analyses of prognostic studies	35 5.発行年 2016年
Hattori S, Zhou XH  2 . 論文標題 Time-dependent summary receiver operating characteristics for meta-analyses of prognostic	5 . 発行年
Hattori S, Zhou XH  2 . 論文標題 Time-dependent summary receiver operating characteristics for meta-analyses of prognostic studies	35 5.発行年 2016年
Hattori S, Zhou XH  2 . 論文標題 Time-dependent summary receiver operating characteristics for meta-analyses of prognostic studies 3 . 雑誌名	35 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁
Hattori S, Zhou XH  2 . 論文標題 Time-dependent summary receiver operating characteristics for meta-analyses of prognostic studies 3 . 雑誌名	35 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁
Attori S, Zhou XH  2. 論文標題 Time-dependent summary receiver operating characteristics for meta-analyses of prognostic studies  3. 雑誌名 Statistics in Medicine	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 4746-4763
Hattori S, Zhou XH  2. 論文標題 Time-dependent summary receiver operating characteristics for meta-analyses of prognostic studies 3. 雑誌名 Statistics in Medicine  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	35 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 4746-4763 査読の有無
Attori S, Zhou XH  2. 論文標題 Time-dependent summary receiver operating characteristics for meta-analyses of prognostic studies  3. 雑誌名 Statistics in Medicine	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 4746-4763
Hattori S, Zhou XH  2.論文標題 Time-dependent summary receiver operating characteristics for meta-analyses of prognostic studies  3.雑誌名 Statistics in Medicine  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/sim.7029	35 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 4746-4763 査読の有無
Hattori S, Zhou XH  2.論文標題 Time-dependent summary receiver operating characteristics for meta-analyses of prognostic studies  3.雑誌名 Statistics in Medicine  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/sim.7029  オープンアクセス	35 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 4746-4763 査読の有無 有
Hattori S, Zhou XH  2.論文標題 Time-dependent summary receiver operating characteristics for meta-analyses of prognostic studies  3.雑誌名 Statistics in Medicine  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/sim.7029	35 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 4746-4763 査読の有無
Hattori S, Zhou XH  2.論文標題 Time-dependent summary receiver operating characteristics for meta-analyses of prognostic studies  3.雑誌名 Statistics in Medicine  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/sim.7029  オープンアクセス	35 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 4746-4763 査読の有無 有
### Hattori S, Zhou XH  2. 論文標題 Time-dependent summary receiver operating characteristics for meta-analyses of prognostic studies  3. 雑誌名 Statistics in Medicine  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/sim.7029  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	35 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 4746-4763 査読の有無 有 国際共著 該当する
### Hattori S, Zhou XH  2. 論文標題 Time-dependent summary receiver operating characteristics for meta-analyses of prognostic studies  3. 雑誌名 Statistics in Medicine  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/sim.7029  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	35 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 4746-4763 査読の有無 有 国際共著 該当する
### Hattori S, Zhou XH  2. 論文標題 Time-dependent summary receiver operating characteristics for meta-analyses of prognostic studies  3. 雑誌名 Statistics in Medicine  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/sim.7029  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	35 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 4746-4763 査読の有無 有 国際共著 該当する
Hattori S, Zhou XH  2. 論文標題 Time-dependent summary receiver operating characteristics for meta-analyses of prognostic studies  3. 雑誌名 Statistics in Medicine  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/sim.7029  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Hattori S, Zhou XH	35 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 4746-4763 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 35
### Hattori S, Zhou XH  2. 論文標題 Time-dependent summary receiver operating characteristics for meta-analyses of prognostic studies  3. 雑誌名 Statistics in Medicine  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/sim.7029  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Hattori S, Zhou XH  2. 論文標題	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 4746-4763 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 35
Hattori S, Zhou XH  2. 論文標題 Time-dependent summary receiver operating characteristics for meta-analyses of prognostic studies  3. 雑誌名 Statistics in Medicine  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/sim.7029  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Hattori S, Zhou XH	35 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 4746-4763 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 35
Hattori S, Zhou XH  2. 論文標題 Time-dependent summary receiver operating characteristics for meta-analyses of prognostic studies  3. 雑誌名 Statistics in Medicine  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/sim.7029  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Hattori S, Zhou XH  2. 論文標題 Evaluation of predictive capacities of biomarkers based on research synthesis	35 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 4746-4763 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 35 5 . 発行年 2016年
### Hattori S, Zhou XH  2. 論文標題 Time-dependent summary receiver operating characteristics for meta-analyses of prognostic studies  3. 雑誌名 Statistics in Medicine  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/sim.7029  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Hattori S, Zhou XH  2. 論文標題	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 4746-4763 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 35
Hattori S, Zhou XH  2. 論文標題 Time-dependent summary receiver operating characteristics for meta-analyses of prognostic studies  3. 雑誌名 Statistics in Medicine  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/sim.7029  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Hattori S, Zhou XH  2. 論文標題 Evaluation of predictive capacities of biomarkers based on research synthesis  3. 雑誌名	35 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 4746-4763 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 35 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁
### Hattori S, Zhou XH  2. 論文標題 Time-dependent summary receiver operating characteristics for meta-analyses of prognostic studies  3. 雑誌名 Statistics in Medicine  ###################################	35 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 4746-4763 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 35 5 . 発行年 2016年
Hattori S, Zhou XH  2. 論文標題 Time-dependent summary receiver operating characteristics for meta-analyses of prognostic studies  3. 雑誌名 Statistics in Medicine  掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/sim.7029  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Hattori S, Zhou XH  2. 論文標題 Evaluation of predictive capacities of biomarkers based on research synthesis  3. 雑誌名	35 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 4746-4763 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 35 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁
### Hattori S, Zhou XH  2. 論文標題 Time-dependent summary receiver operating characteristics for meta-analyses of prognostic studies  3. 雑誌名 Statistics in Medicine  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/sim.7029  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1. 著者名 Hattori S, Zhou XH  2. 論文標題 Evaluation of predictive capacities of biomarkers based on research synthesis  3. 雑誌名 Statistics in Medicine	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 4746-4763 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 35 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 4559-4572
### Hattori S, Zhou XH  2 . 論文標題 Time-dependent summary receiver operating characteristics for meta-analyses of prognostic studies  3 . 雑誌名 Statistics in Medicine  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/sim.7029  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Hattori S, Zhou XH  2 . 論文標題 Evaluation of predictive capacities of biomarkers based on research synthesis  3 . 雑誌名 Statistics in Medicine  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 4746-4763 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 35 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 4559-4572
### Hattori S, Zhou XH  2 . 論文標題 Time-dependent summary receiver operating characteristics for meta-analyses of prognostic studies  3 . 雑誌名 Statistics in Medicine  ###################################	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 4746-4763 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 35 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 4559-4572
2.論文標題 Time-dependent summary receiver operating characteristics for meta-analyses of prognostic studies 3.雑誌名 Statistics in Medicine  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/sim.7029  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Hattori S, Zhou XH  2.論文標題 Evaluation of predictive capacities of biomarkers based on research synthesis  3.雑誌名 Statistics in Medicine  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/sim.7018	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 4746-4763 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 35 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 4559-4572 査読の有無
### Hattori S, Zhou XH  2 . 論文標題 Time-dependent summary receiver operating characteristics for meta-analyses of prognostic studies  3 . 雑誌名 Statistics in Medicine  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/sim.7029  オープンアクセス  オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1 . 著者名 Hattori S, Zhou XH  2 . 論文標題 Evaluation of predictive capacities of biomarkers based on research synthesis  3 . 雑誌名 Statistics in Medicine  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 4746-4763 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 35 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 4559-4572
2.論文標題 Time-dependent summary receiver operating characteristics for meta-analyses of prognostic studies 3.雑誌名 Statistics in Medicine  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/sim.7029  オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  1.著者名 Hattori S, Zhou XH  2.論文標題 Evaluation of predictive capacities of biomarkers based on research synthesis  3.雑誌名 Statistics in Medicine  掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/sim.7018	5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 4746-4763 査読の有無 有 国際共著 該当する 4 . 巻 35 5 . 発行年 2016年 6 . 最初と最後の頁 4559-4572 査読の有無

1.著者名	4 . 巻
Sadashima E, Hattori S,Takahashi K	7
2.論文標題	5 . 発行年
Meta-analysis of prognostic studies of a biomarker with a study-specific cut-off value	2016年
, , ,	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Research Synthesis Methods	402-419
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1002/jrsm.1201	有
	_
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

〔学会発表〕 計79件(うち招待講演 30件/うち国際学会 49件)

1.発表者名

江本 遼, 松井茂之

2 . 発表標題

脳画像を用いた疾患関連解析における神経学的,機能的領域を考慮した多重検定

3 . 学会等名

2020年度統計関連学会連合大会

4.発表年 2020年

1.発表者名

豊泉樹一郎,松井茂之

2 . 発表標題

重み付き尤度関数を用いた治療効果のバイアス補正

3 . 学会等名

2020年度統計関連学会連合大会

4.発表年

2020年

1.発表者名

Masataka Igeta, Shigeyuki Matsui

2 . 発表標題

Incorporating follow-up lengths in sample size re-estimation to compare over-dispersed count data.

3 . 学会等名

ISCB 2020 International Society of Clinical Biostatistics (国際学会)

4.発表年

2020年

1. 発表者名 Tatsuya Shiraishi, Tam Le, Hisashi Kashima, Makoto Yamada
2 . 発表標題 Topological Bayesian optimization with persistence diagrams
3.学会等名 ECAI 2020 24th European Conference on Artificial Intelligence (国際学会)
4.発表年 2020年
1 . 発表者名 Jen Ning Lim, Makoto Yamada, Wittawat Jitkrittum, Yoshikazu Terada, Shigeyuki Matsui, Hidetoshi Shimodaira
2.発表標題 More powerful selective kernel tests for feature selection
3.学会等名 AISTAT2020 International Conference on Artificial Intelligence and Statistics(国際学会)
4 . 発表年 2020年
1 . 発表者名 Benjamin Poignard, Makoto Yamada
Benjamin Poignard, Makoto Yamada 2.発表標題
Benjamin Poignard, Makoto Yamada  2 . 発表標題 Sparse Hilbert-Schmidt independence criterion regression  3 . 学会等名
Benjamin Poignard, Makoto Yamada  2 . 発表標題 Sparse Hilbert-Schmidt independence criterion regression  3 . 学会等名 AISTAT2020 International Conference on Artificial Intelligence and Statistics (国際学会)  4 . 発表年
Benjamin Poignard, Makoto Yamada  2 . 発表標題 Sparse Hilbert-Schmidt independence criterion regression  3 . 学会等名 AISTAT2020 International Conference on Artificial Intelligence and Statistics (国際学会)  4 . 発表年 2020年
Benjamin Poignard, Makoto Yamada  2 . 発表標題 Sparse Hilbert-Schmidt independence criterion regression  3 . 学会等名 AISTAT2020 International Conference on Artificial Intelligence and Statistics (国際学会)  4 . 発表年 2020年  1 . 発表者名 Qiang Huang, Tingyu Xia, Huiyan Sun, Makoto Yamada, Y. Chang

1.発表者名
松井茂之
2.発表標題
AI医療技術の検証に向けて:現状と課題
3.学会等名
3.子云寺石 IBISML 電子情報通信学会(招待講演)
4.発表年
2021年
1.発表者名
Ryo Emoto, Atsushi Kawaguchi, Takahiro Otani, Shigeyuki Matsui
2 . 発表標題
A model-based framework for voxel and region level inferences in neuroimaging disease-association studies.
3.学会等名
16th International Conference on Information Technology : New Generations (ITNG 2019)(国際学会)
4 . 発表年
2019年
4 7½±1½7
1.発表者名 Takahiro Otani Jo Nichino Pvo Emoto Shigayuki Matsui
Takahiro Otani, Jo Nishino, Ryo Emoto, Shigeyuki Matsui
2.発表標題
2 . 完衣標題 Application of the multi-dimensional hierarchical mixture model to cross-disorder genome-wide association studies.
TELESCOPE TO THE MENT COMMENTED TO THE STATE OF THE STATE
3.学会等名
3. チムサロ 16th International Conference on Information Technology: New Generations (ITNG 2019)(国際学会)
4 . 発表年
2019年
1.発表者名
川端 孝典,江本 遼,西野 穣,高橋 邦彦,松井 茂之
2 . 発表標題
オミクス関連解析における選択マーカー数を固定した二段階スクリーニング法.
3 . 学会等名
日本計量生物学会2019年会
4.発表年
2019年

-	ジェナク
	<b>华表石名</b>

森澤 淳司,大谷 隆浩,西野 穣,高橋 邦彦,松井 茂之

# 2 . 発表標題

ゲノムワイド関連研究におけるセミパラメトリックベイズ因子解析.

#### 3.学会等名

日本計量生物学会2019年会

#### 4.発表年

2019年

#### 1.発表者名

Masataka Igeta, Shigeyuki Matsui

#### 2.発表標題

Blinded Sample Size Re-estimation with Over-Dispersed Count Data under Incorrect Specification of the Working Variance Function.

# 3 . 学会等名

Annual Meeting, Western North American Region of The International Biometric Society(国際学会)

## 4.発表年

2019年

#### 1.発表者名

Takanori Kawabata, Ryo Emoto, Jo Nishino, Kunihiko Takahashi, Shigeyuki Matsui

## 2 . 発表標題

Screening Fixed Numbers of Genomic Features for Validation Studies Incorporating Statistical and Biological Consideration.

# 3 . 学会等名

Annual Meeting, Western North American Region of The International Biometric Society(国際学会)

#### 4.発表年

2019年

### 1.発表者名

Kiichiro Toyoizumi, Shigeyuki Matsui

#### 2 . 発表標題

Bias-Correction in Estimating Treatment Effect in Fallback Analysis: An Approach Based on Randomized Test with Smooth Rejection Functions.

# 3 . 学会等名

Joint Statistical Meeting 2019 (国際学会)

# 4 . 発表年

2019年

1.発表者名
Shigeyuki Matsui
2、艾士福昭
2.発表標題
New directions in statistical methodology for precision medicine clinical studies.
3.学会等名
Royal Statistical Society North Eastern Local Group Seminar(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2020年
2020
1.発表者名
Tatsuhiko Tsunoda
2.発表標題
Personalized Cancer Medicine with Heterogeneity and Immunological Analysis.
3.学会等名
CREST International Symposium on Big Data Application(招待講演)(国際学会)
ONLOT INTERNATIONAL Symposium on Dig Data Approvation(由时确保)(国际手会)
A TK-Tr
4.発表年
2020年
1.発表者名
Tatsuhiko Tsunoda
2.発表標題
2. 発表標題 Data-driven Medical Sciences with Omic Analysis
2 . 発表標題 Data-driven Medical Sciences with Omic Analysis.
Data-driven Medical Sciences with Omic Analysis.
Data-driven Medical Sciences with Omic Analysis.  3 . 学会等名
Data-driven Medical Sciences with Omic Analysis.
Data-driven Medical Sciences with Omic Analysis.  3 . 学会等名 Moonshot International Symposium 2019 (招待講演) (国際学会)
Data-driven Medical Sciences with Omic Analysis.  3 . 学会等名 Moonshot International Symposium 2019 (招待講演) (国際学会)
Data-driven Medical Sciences with Omic Analysis.  3 . 学会等名 Moonshot International Symposium 2019 (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年
Data-driven Medical Sciences with Omic Analysis.  3 . 学会等名 Moonshot International Symposium 2019 (招待講演) (国際学会)
Data-driven Medical Sciences with Omic Analysis.  3 . 学会等名 Moonshot International Symposium 2019 (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年 2019年
Data-driven Medical Sciences with Omic Analysis.  3 . 学会等名 Moonshot International Symposium 2019 (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年
Data-driven Medical Sciences with Omic Analysis.  3 . 学会等名 Moonshot International Symposium 2019 (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年 2019年
Data-driven Medical Sciences with Omic Analysis.  3 . 学会等名 Moonshot International Symposium 2019 (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年 2019年
Data-driven Medical Sciences with Omic Analysis.  3 . 学会等名 Moonshot International Symposium 2019 (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年 2019年
Data-driven Medical Sciences with Omic Analysis.  3 . 学会等名 Moonshot International Symposium 2019 (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年 2019年
Data-driven Medical Sciences with Omic Analysis.  3 . 学会等名 Moonshot International Symposium 2019 (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Qiang Huang, Tingyu Xia, Huiyan Sun, Makoto Yamada, Y. Chang
Data-driven Medical Sciences with Omic Analysis.  3 . 学会等名 Moonshot International Symposium 2019 (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Qiang Huang, Tingyu Xia, Huiyan Sun, Makoto Yamada, Y. Chang  2 . 発表標題
Data-driven Medical Sciences with Omic Analysis.  3 . 学会等名 Moonshot International Symposium 2019 (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Qiang Huang, Tingyu Xia, Huiyan Sun, Makoto Yamada, Y. Chang
Data-driven Medical Sciences with Omic Analysis.  3 . 学会等名 Moonshot International Symposium 2019 (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Qiang Huang, Tingyu Xia, Huiyan Sun, Makoto Yamada, Y. Chang  2 . 発表標題
Data-driven Medical Sciences with Omic Analysis.  3 . 学会等名 Moonshot International Symposium 2019 (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Qiang Huang, Tingyu Xia, Huiyan Sun, Makoto Yamada, Y. Chang  2 . 発表標題
Data-driven Medical Sciences with Omic Analysis.  3 . 学会等名 Moonshot International Symposium 2019 (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Qiang Huang, Tingyu Xia, Huiyan Sun, Makoto Yamada, Y. Chang  2 . 発表標題
Data-driven Medical Sciences with Omic Analysis.  3 . 学会等名 Moonshot International Symposium 2019 (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Qiang Huang, Tingyu Xia, Huiyan Sun, Makoto Yamada, Y. Chang  2 . 発表標題 Unsupervised Nonlinear Feature Selection from High-dimensional Signed Networks.
Data-driven Medical Sciences with Omic Analysis.  3 . 学会等名 Moonshot International Symposium 2019 (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Qiang Huang, Tingyu Xia, Huiyan Sun, Makoto Yamada, Y. Chang  2 . 発表標題 Unsupervised Nonlinear Feature Selection from High-dimensional Signed Networks.
Data-driven Medical Sciences with Omic Analysis.  3 . 学会等名 Moonshot International Symposium 2019 (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Qiang Huang, Tingyu Xia, Huiyan Sun, Makoto Yamada, Y. Chang  2 . 発表標題 Unsupervised Nonlinear Feature Selection from High-dimensional Signed Networks.
Data-driven Medical Sciences with Omic Analysis.  3 . 学会等名 Moonshot International Symposium 2019 (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Qiang Huang, Tingyu Xia, Huiyan Sun, Makoto Yamada, Y. Chang  2 . 発表標題 Unsupervised Nonlinear Feature Selection from High-dimensional Signed Networks.
Data-driven Medical Sciences with Omic Analysis.  3 . 学会等名 Moonshot International Symposium 2019 (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Qiang Huang, Tingyu Xia, Huiyan Sun, Makoto Yamada, Y. Chang  2 . 発表標題 Unsupervised Nonlinear Feature Selection from High-dimensional Signed Networks.
Data-driven Medical Sciences with Omic Analysis.  3 . 学会等名 Moonshot International Symposium 2019 (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Qiang Huang, Tingyu Xia, Huiyan Sun, Makoto Yamada, Y. Chang  2 . 発表標題 Unsupervised Nonlinear Feature Selection from High-dimensional Signed Networks.
Data-driven Medical Sciences with Omic Analysis.  3 . 学会等名 Moonshot International Symposium 2019 (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Qiang Huang, Tingyu Xia, Huiyan Sun, Makoto Yamada, Y. Chang  2 . 発表標題 Unsupervised Nonlinear Feature Selection from High-dimensional Signed Networks.
Data-driven Medical Sciences with Omic Analysis.  3 . 学会等名 Moonshot International Symposium 2019 (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年 2019年  1 . 発表者名 Qiang Huang, Tingyu Xia, Huiyan Sun, Makoto Yamada, Y. Chang  2 . 発表標題 Unsupervised Nonlinear Feature Selection from High-dimensional Signed Networks.

1 . 発表者名 Jen Ning Lim, Makoto Yamada, Bernhard Scholkopf, Wittawat Jitkrittum
2.発表標題 Kernel Stein Tests for Multiple Model Comparison.
3. 学会等名
NeurIPS 2019 (国際学会) 4.発表年 2019年
1 . 発表者名 Ryoma Sato, Makoto Yamada, Hisashi Kashima
2 . 発表標題 Approximation Ratios of Graph Neural Networks for Combinatorial Problems
3 . 学会等名 NeurIPS 2019 (国際学会)
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 Ryoma Sato, Makoto Yamada, Hisashi Kashima
2.発表標題 Learning to Sample Hard Instances for Graph Algorithms.
3 . 学会等名 ACML 2019 (国際学会)
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 Makoto Yamada, Denny Wu, Yao-Hung Hubert Tsai, Hirofumi Ohta, Ruslan Salakhutdinov, Ichiro Takeuchi, Kenji Fukumizu
2 . 発表標題 Post Selection Inference with Incomplete Maximum Mean Discrepancy Estimator.
3 . 学会等名 ICLR 2019 (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1.発表者名 佐竹 哉太, 山田 誠, 松井 孝太, 松井 茂之, 鹿島 久嗣
2 . 発表標題 Factorization Machinesを用いたCox八ザードモデル.
3 . 学会等名 2019年度人工知能学会全国大会(第33回).
4 . 発表年 2019年
1 . 発表者名 Satoshi Hattori
2.発表標題 Bayesian sensitivity analysis for publication bias in meta-analysis of diagnostic studies.
3.学会等名 The 3rd International Conference on Econometrics and Statistics (EcoSta 2019).(国際学会)
4.発表年
2019年
1.発表者名
- Rian Nation Control Contro
2 . 発表標題
要約concordance indexによる予後因子研究のメタアナリシス.
3 . 子云寺台   2019年統計関連学会連合大会
4 . 発表年 2019年
20107
1. 発表者名
黄傲、小向翔、服部聡
2.光衣標題   臨床試験登録システムを用いたCopas選択モデルの推測.
3.学会等名
2019年統計関連学会連合大会.
2019年

1 . 発表者名 Shigeyuki Matsui
2.発表標題
Phase III Clinical trial design for targeted therapies with uncertain biomarker evidence: controversies and solutions
3 . 学会等名 OHSU Cancer Biostatistics Workshop(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 松井茂之
2 . 発表標題 生物・医学分野の新たな展開:データを中心とした拡がり/繋がり
3 . 学会等名 2018年度統計関連学会連合大会日本計量生物学会シンポジウム(招待講演)
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 Tatsuhiko Tsunoda
2 . 発表標題 Trans-omic Analysis strategy for precision medicine.
3.学会等名 The 2nd International Symposium for Trans-Omics(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 Tatsuhiko Tsunoda
2 . 発表標題 Omic big data analysis drives precision medicine.
3.学会等名 The 8th Annual Translational Bioinformatics Conference/2018 Annual Conference of Korean Society for Bioinformatics (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1.発表者名
Tatsuhiko Tsunoda
100000000000000000000000000000000000000
2.発表標題
Public big data accelerate medical science research.
NA PER
3.学会等名
The 63rd Annual Meeting of the Japan Society of Human Genetics.(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2018年
1.発表者名
Satoshi Hattori
Jatosii Hattori
2 . 発表標題
Sensitivity analysis for publication bias in meta-analysis of diagnostic studies for a continuous biomarker.
3 . 学会等名
The 2nd International Conference on Econometrics and Statistics (EcoSta2018)(国際学会)
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
4.発表年
2018年
2010—
1 V=247
1 . 発表者名
山下智志
2 . 発表標題
AIと機械学習の直感的理解と金融への応用.
3.学会等名
日本銀行金融機構局金融高度化センターWS
日午駅コル西洋保持回並間回及10年イノ 110
4 X+C
4 . 発表年
2018年
1.発表者名
山下智志
2.発表標題
では、元代は成と 信用リスクの基礎,応用,最近の話題。
19179 - 7・17 マン主族 , アピバリ , 教廷マン日本区・
o
3.学会等名
国際協力銀行信用リスクセミナー
. We de le
4.発表年
2018年

#### 1.発表者名

Ryo Emoto, Takahiro Otani, Shigeyuki Matsui

### 2 . 発表標題

Multiple testing and estimation of disease associations based on semi-parametric hierarchical mixture models, possibly incorporating brain areas.

#### 3.学会等名

Eastern North American Region International Biometric Society 2019 Meeting (国際学会)

#### 4.発表年

2019年

### 1.発表者名

Masataka Igeta, Shigeyuki Matsui

#### 2 . 発表標題

Blinded sample size re-estimation in comparative clinical trials with over-dispersed count data: Incorporation of misspecification of the variance function.

## 3.学会等名

Eastern North American Region International Biometric Society 2019 Meeting (国際学会)

## 4.発表年

2019年

#### 1.発表者名

Ryo Emoto, Atsushi Kawaguchi, Hisako Yoshida, Shigeyuki Matsui

#### 2 . 発表標題

Hierarchical mixture modeling for multiple testing and effect size estimation in voxel-level inference of neuroimaging data

# 3 . 学会等名

Joint Statistical Meeting 2018 (国際学会)

### 4.発表年

2018年

## 1.発表者名

Kiichiro Toyoizumi, Shigeyuki Matsui

#### 2 . 発表標題

Bias-corrected estimation of treatment effects in biomarker-based adaptive subgroup analysis: New approach based on randomized tests with smooth rejection function.

# 3.学会等名

Joint Statistical Meeting 2018 (国際学会)

# 4 . 発表年

2018年

#### 1.発表者名

Takanori Kawabata, Ryo Emoto, Jo Nishino J, Kunihiko Takahashi, Shigeyuki Matsui

# 2 . 発表標題

Two-stage analysis for selecting fixed numbers of features in omics association studies.

#### 3 . 学会等名

XXIX International Biometric Conference (国際学会)

## 4.発表年

2018年

## 1. 発表者名

Kota Matsui, Kenta Kanamori, Wataru Kumagai, Mitsuaki Nishikimi, Shigeyuki Matsui

### 2 . 発表標題

A transfer learning method for multi-center prognostic prediction analysis.

#### 3.学会等名

3rd International Workshop on Biomedical Informatics with Optimization and Machine Learning in conjunction with 27th International Joint Conference on Artificial Intelligence (IJCAI 2018) (国際学会)

## 4.発表年

2018年

#### 1.発表者名

Ryo Emoto, Atsushi Kawaguchi, Hisako Yoshida, Shigeyuki Matsui

#### 2 . 発表標題

Multiple Testing Based on Semi-Parametric Hierarchical Mixture Models under Dependency in Disease-Association Studies with Neuroimaging Data

## 3 . 学会等名

Eastern North American Region International Biometric Society 2018 Meeting (国際学会)

### 4.発表年

2018年

## 1.発表者名

Masataka Igeta, Kunihiko Takahashi and Shigeyuki Matsui

#### 2 . 発表標題

Evaluating Sample Sizes in Comparing Over-Dispersed Count Data Under Incorrect Variance Structure

## 3 . 学会等名

Eastern North American Region International Biometric Society 2018 Meeting(国際学会)

# 4.発表年

2018年

1	双丰业夕
	<b>平大石石</b>

松井茂之, John Crowley

# 2 . 発表標題

治療効果予測マーカーを用いた第三相試験: マーカー層別デザインの改良

#### 3.学会等名

2018年日本計量生物学会年会

### 4.発表年

2018年

### 1.発表者名

堀崎健,高橋邦彦,伊藤秀美,松井茂之

### 2 . 発表標題

日本人におけるコーヒー摂取量と大腸がん発生リスクの用量反応関係メタアナリシス

#### 3.学会等名

第28回日本疫学会学術総会

## 4 . 発表年

2018年

#### 1.発表者名

Ishikawa T, Ishiguro M, Nakatani E, Uetake H, Ueno H, Murotani K, Matsui S, Tomita N, Shimada Y, Takahashi K, Kotake K, Watanabe M, Mochizuki H, Teramukai S, Sugihara K

#### 2 . 発表標題

Prognostic impact of MSI in stage II colon cancers: An additional translational study of the SACURA trial

# 3 . 学会等名

American Society of Clinical Oncology (ASCO) 2017 Annual Meeting (国際学会)

### 4.発表年

2017年

## 1.発表者名

Ueno H, Ishiguro M, Nakatani E, Ishikawa T, Uetake H, Murotani K, Matsui S, Tomita N, Shimada Y, Takahashi K, Kotake K, Watanabe M, Mochizuki H, Tramukai S, Sugihara K

#### 2 . 発表標題

Prognostic impact of tumor budding in Stage II colon cancer: A Prospective study (SACURA trial).

# 3 . 学会等名

American Society of Clinical Oncology (ASCO) 2017 Annual Meeting (国際学会)

# 4. 発表年

2017年

1.発表者名
松井茂之
2.発表標題
Omics 研究における検証的解析と探索的解析
2 24 4 77 77
3.学会等名
2017年度統計関連学会連合大会(招待講演)
4. 発表年
2017年
1.発表者名
Tatsuhiko Tsunoda
2.発表標題
Exploring etiologies, sub-classification, and risk prediction of diseases based on big-data analysis of clinical and whole
omics data in medicine
3.学会等名
てREST Big Data Fields Joint Meeting 2017(招待講演)(国際学会)
CNEST BIG Data Fields JOHN Weeting 2017 (百行确決)(国际チム)
4 72 ± /c
4 . 発表年
2017年
1.発表者名
Tatsuhiko Tsunoda
2.発表標題
Trans-omic analysis drives precision medicine
3.学会等名
The 1st International Symposium for Trans-Omics(招待講演)(国際学会)
The 13t International Symposium for Trains-Omitos (近時度) (国际子女)
4 . 発表年
2017年
1.発表者名
Tatsuhiko Tsunoda
2.発表標題
Multi-omic analysis for precision cancer medicine
3.学会等名
3.学会等名 DNA sequencing technologies and their application in practice WS(招待講演)(国際学会)
3.学会等名 DNA sequencing technologies and their application in practice WS(招待講演)(国際学会) 4.発表年
3.学会等名 DNA sequencing technologies and their application in practice WS(招待講演)(国際学会)
3.学会等名 DNA sequencing technologies and their application in practice WS(招待講演)(国際学会) 4.発表年
3.学会等名 DNA sequencing technologies and their application in practice WS(招待講演)(国際学会) 4.発表年

1. 発表者名
Tatsuhiko Tsunoda
Omic analysis drives precision medicine
3. 구도국도   International Conference for Precision Cancer Medicine 2017 (招待講演) (国際学会)
- International conference for Freetston cancer medicine 2017(3p1可辨次)(国际于云)
1
1.発表者名
- Tatsuhiko Tsunoda
Tatouritino Tourioua
Multiomics and clinical analysis of cancer
martismiss and stifficult didityore of bulbon
3.学会等名
CREST International Symposium on Big Data Application 2017(招待講演)(国際学会)
A STATE OF THE STA
4 . 発表年
2017年
1.発表者名
角田達彦
2.発表標題
医学・医療ビッグデータによるマルチオミックス解析
3 . 学会等名
東京医科歯科大学 早稲田大学連携ワークショップ(招待講演)
4.発表年
2017年
1.発表者名
角田達彦
2 . 発表標題
ゲノムビッグデータと人工知能による未来の医療
0 WAMA
3.学会等名
市民公開講座 2017(招待講演)
4 . 発表年
2017年

1. 発表者名
服部聡
2 7% ± 1#17X
2.発表標題
Issue of selection bias in statistical analysis of observational studies
ゝ . チェッセ   日本循環器学会(招待講演)
口华旭场给予云(拍付确决)
2017年
1.発表者名
1.光衣有右   Satoshi Hattori
Satushi natturi
Doubly robust estimator for net survival rate in analyses of cancer registry data
boasty results for her survivar rate in analyses of surser registry data
3 . 学会等名
EcoSta2017(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年
2017年
1.発表者名
服部聡
isk ei-no
2 . 発表標題
時間依存性要約ROC 解析によるバイオマーカーの評価
3.学会等名
日本計算機統計学会(招待講演)
4.発表年
2017年
1.発表者名
Satoshi Hattori
2.発表標題
2.発表標題 Time-dependent summary ROC analysis for meta-analysis of prognostic studies
Time-dependent summary ROC analysis for meta-analysis of prognostic studies
Time-dependent summary ROC analysis for meta-analysis of prognostic studies 3 . 学会等名
Time-dependent summary ROC analysis for meta-analysis of prognostic studies
Time-dependent summary ROC analysis for meta-analysis of prognostic studies  3.学会等名 CMstatistics2017(招待講演)(国際学会)
Time-dependent summary ROC analysis for meta-analysis of prognostic studies  3 . 学会等名 CMstatistics2017(招待講演)(国際学会)  4 . 発表年
Time-dependent summary ROC analysis for meta-analysis of prognostic studies  3.学会等名 CMstatistics2017(招待講演)(国際学会)
Time-dependent summary ROC analysis for meta-analysis of prognostic studies  3 . 学会等名 CMstatistics2017 (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年

1.発表者名
岡本基,山下智志
2.発表標題
国際ミクロ統計データベースの整備と利用
3 . 学会等名
統計関連学会連合大会
4.発表年
2017年
1.発表者名
高部勲,山下智志
2.発表標題
多項ロジットモデル及び主成分分析を用いた統計的マッチング手法の提案
3.学会等名
統計関連学会連合大会
4 . 発表年
2017年
1.発表者名
Takabe I, Yamashita S
Tallabo 1, Tallabilità o
った士士·西西
2 . 発表標題 A new statistical matching methodology using multinomial logistic regression and multivariate analysis
A new statistical matching methodology using multinomial logistic regression and multivariate analysis
3.学会等名
International Federation of Classification Societies(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年
2017年
1.発表者名
Oura T, Matsui K, Matsui S
2.発表標題
Cancer outlier analysis based on a nested two-way clustering.
3 . 学会等名
XXVIIIth International Biometric Conference (国際学会)
4.発表年
2016年

1. 発表者名 Otani T, Noma H, Nishino J, Matsui K, Matsui S
2. 発表標題 A comparison of multiple testing methods for effective strategies in genome-wide association studies
3. 学会等名 XXVIIIth International Biometric Conference(国際学会)
4.発表年 2016年
1. 発表者名 西野穣, 高地雄太, 重水大智, 加藤護, 猪狩勝則, 越智秀典, 野間久史, 松井孝太, 大谷隆浩, 森園隆, Keith A Boroevich, 角田達彦, 松井茂之
2. 発表標題 セミパラメトリック階層混合モデルによる複雑疾患GWASの解析 - 多遺伝因子構造の理解に向けて
3.学会等名第27回日本疫学会学術総会
4.発表年 2017年
1. 発表者名 西野穣,高地雄太,重水大智,加藤護,猪狩勝則,越智秀典,野間久史,松井孝太,森園隆,Keith A Boroevich,角田達彦,松井茂之
2.発表標題 複雑疾患GWASデータのセミパラメトリック階層混合モデル解析
3.学会等名 第22回国際個別化医療学会学術集会
4 . 発表年 2016年
1.発表者名 松井茂之
2 . 発表標題 個別化医療に向けて進化する臨床試験デザイン

科研費シンポジウム「統計科学が切り拓く個別化医療:方法論・実践のフロンティア」(招待講演)

3 . 学会等名

4 . 発表年 2017年

1. 条を著名 大谷福海 - 野間久史 - 西野福 - 松井茂之  2. 系を構理 グノムワイド関連解析における多亜検定手法の効率性評価  3. 字会等名 科研カンメポックム * 熱計科学が切り拓く個別化區療: 方法論・実践のフロンティア。  4. 発表年 2017年  1. 紫表著名 1. Tsunods  2. 発表ቸ題 Exploring etiologies, sub-classification, and risk prediction of diseases based on big-data analysis of clinical and whole onics data in medicine  3. 字会等名 CREST Big Data Fields Joint Meeting 2016 (招待講演) (国際学会)  4. 景表年 2016年  1. 発表者名 A. Lysenko, P.J. Kamola, K.A. Boroevich, T. Tsunoda.  2. 学表括題 Strategies for discovering disease-associated modules in integrated biological networks  3. 字会等名	
タノムワイド関連解析における多重検定手法の効率性評価  3 . 学会等名 科研費シンポジウム「検討科学が切り拓く側別化医療: 方法論・実践のフロンティア」  4 . 発表年 2017年  1 . 発表者名 T. Tsunoda  2 . 発表構題 Exploring etiologies, sub-classification, and risk prediction of diseases based on big-data analysis of clinical and whole omics data in hedicine omics data in hedicine and a special or sub-classification of diseases based on big-data analysis of clinical and whole omics data in hedicine 2 . 発表程名 CREST Big Data Fields Joint Meeting 2016 (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年 2016年  1 . 発表者名 A. Lysanko, P. J. Kamola, K. A. Boroevich, T. Tsunoda.  2 . 発表機器 Strategies for discovering disease-associated modules in integrated biological networks  3 . 学会等名 9th Annual RECOMB/ISCB Conference on Regulatory & Systems Genomics 2016 (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年 2016年  1 . 発表者名 T. Tsunoda  2 . 発表者名 T. Tsunoda  3 . 学会等名 Trans-omic analysis strategy for precision medicine Trans-omic analysis strategy for precision medicine Trans-omic analysis strategy for precision medicine Trans-omic analysis strategy for International Symposium - Trans-omics: New Approaches in Biology and Medicine 2016 (招待講演) (国際学会) 4. 発表年	
4. 発表年 2017年  1. 発表者名 T. Tsunoda  2. 発表標題 Exploring etiologies, sub-classification, and risk prediction of diseases based on big-data analysis of clinical and whole emics data in medicine  3. 学会等名 CREST Big Data Fields Joint Meeting 2016 (招待講演) (国際学会)  4. 発表年 2018年  1. 発表機名 A. Lysenko, P. J. Kamola, K. A. Boroevich, T. Tsunoda.  2. 聚表標題 Strategies for discovering disease-associated modules in integrated biological networks  3. 学会等名 9th Annual RECOMB/ISCB Conference on Regulatory & Systems Genomics 2016 (招待講演) (国際学会)  4. 聚表年 2016年  1. 発表者名 T. Tsunoda  2. 発表機器 Trans-omic analysis strategy for precision medicine  3. 学会等名 The 28th Hot Spring Harbor International Symposium - Trans-omics: New Approaches in Biology and Medicine 2016 (招待講演) (国際学会)  4. 発表年	
1. 発表者名 T. Tsunoda  2. 発表標題 Exploring etiologies, sub-classification, and risk prediction of diseases based on big-data analysis of clinical and whole onics data in medicine  3. 学会等名 CREST Big Data Fields Joint Meeting 2016 (招待講演) (国際学会)  4. 発表者名 A. Lysenko, P. J. Kamola, K. A. Boroevich, T. Tsunoda.  2. 発表標題 Strategies for discovering disease-associated modules in integrated biological networks  3. 学会等名 9th Annual RECOMB/ISCB Conference on Regulatory & Systems Genomics 2016 (招待講演) (国際学会)  4. 発表年 2016年  1. 発表者名 T. Tsunoda  2. 発表構題 Trans-onic analysis strategy for precision medicine  3. 学会等名 The 26th Hot Spring Harbor International Symposium - Trans-omics: New Approaches in Biology and Medicine 2016 (招待講演) (国際学会)  4. 発表年	科研費シンポジウム「統計科学が切り拓く個別化医療:方法論・実践のフロンティア」
T.Tsunoda  2. 祭表標題 Exploring etiologies, sub-classification, and risk prediction of diseases based on big-data analysis of clinical and whole onics data in medicine  3. 学会等名 CREST Big Data Fields Joint Meeting 2016 (招待講演) (国際学会)  4. 発表在 2016年  1. 発表者名 A.Lysenko, P.J.Kamola, K.A.Boroevich, T.Tsunoda.  2. 発表標題 Strategies for discovering disease-associated modules in integrated biological networks  3. 学会等名 9th Annual RECOMB/ISCB Conference on Regulatory & Systems Genomics 2016 (招待講演) (国際学会)  4. 発表在 T.Tsunoda  2. 発表標題 Trans-onic analysis strategy for precision medicine  3. 学会等名 The 26th Hot Spring Harbor International Symposium - Trans-omics: New Approaches in Biology and Medicine 2016 (招待講演) (国際学会)  4. 発表在	
Exploring etiologies, sub-classification, and risk prediction of diseases based on big-data analysis of clinical and whole omics data in medicine  3 . 学会等名 CREST Big Data Fields Joint Meeting 2016 (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年 2016年  1 . 発表者名 A. Lysenko, P. J. Kamola, K. A. Boroevich, T. Tsunoda.  2 . 発表標題 Strategies for discovering disease-associated modules in integrated biological networks  3 . 学会等名 9th Annual RECOMB/ISCB Conference on Regulatory & Systems Genomics 2016 (招待講演) (国際学会)  4 . 発表者名 T. Tsunoda  2 . 発表者名 T. Tsunoda  2 . 発表者名 T. Tsunoda  3 . 学会等名 The 26th Hot Spring Harbor International Symposium - Trans-omics: New Approaches in Biology and Medicine 2016 (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年	
4. 発表年 2016年  1. 発表者名 A. Lysenko, P.J. Kamola, K.A. Boroevich, T. Tsunoda.  2. 発表標題 Strategies for discovering disease-associated modules in integrated biological networks  3. 学会等名 9th Annual RECOMB/ISCB Conference on Regulatory & Systems Genomics 2016 (招待講演) (国際学会)  4. 発表年 2016年  1. 発表者名 T. Tsunoda  2. 発表標題 Trans-omic analysis strategy for precision medicine  3. 学会等名 The 26th Hot Spring Harbor International Symposium - Trans-omics: New Approaches in Biology and Medicine 2016 (招待講演) (国際学会)  4. 発表年	Exploring etiologies, sub-classification, and risk prediction of diseases based on big-data analysis of clinical and whole
1. 発表者名 A.Lysenko, P.J.Kamola, K.A.Boroevich, T.Tsunoda.  2. 発表標題 Strategies for discovering disease-associated modules in integrated biological networks  3. 学会等名 9th Annual RECOMB/ISC8 Conference on Regulatory & Systems Genomics 2016 (招待講演) (国際学会)  4. 発表年 2016年  1. 発表者名 T.Tsunoda  2. 発表標題 Trans-omic analysis strategy for precision medicine  3. 学会等名 The 26th Hot Spring Harbor International Symposium - Trans-omics: New Approaches in Biology and Medicine 2016 (招待講演) (国際学会)  4. 発表年	
A.Lysenko, P.J.Kamola, K.A.Boroevich, T.Tsunoda.  2. 発表標題 Strategies for discovering disease-associated modules in integrated biological networks  3. 学会等名 9th Annual RECOMB/ISCB Conference on Regulatory & Systems Genomics 2016 (招待講演) (国際学会)  4. 発表年 2016年  1. 発表者名 T.Tsunoda  2. 発表標題 Trans-omic analysis strategy for precision medicine  3. 学会等名 The 26th Hot Spring Harbor International Symposium - Trans-omics: New Approaches in Biology and Medicine 2016 (招待講演) (国際学会)  4. 発表年	2016年
Strategies for discovering disease-associated modules in integrated biological networks  3 . 学会等名 9th Annual RECOMB/ISCB Conference on Regulatory & Systems Genomics 2016 (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年 2016年  1 . 発表者名 T. Tsunoda  2 . 発表標題 Trans-omic analysis strategy for precision medicine  3 . 学会等名 The 26th Hot Spring Harbor International Symposium - Trans-omics: New Approaches in Biology and Medicine 2016 (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年	
9th Annual RECOMB/ISCB Conference on Regulatory & Systems Genomics 2016 (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年 2016年  1 . 発表者名 T.Tsunoda  2 . 発表標題 Trans-omic analysis strategy for precision medicine  3 . 学会等名 The 26th Hot Spring Harbor International Symposium - Trans-omics: New Approaches in Biology and Medicine 2016 (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年	
1. 発表者名 T.Tsunoda  2. 発表標題 Trans-omic analysis strategy for precision medicine  3. 学会等名 The 26th Hot Spring Harbor International Symposium - Trans-omics: New Approaches in Biology and Medicine 2016 (招待講演) (国際学会)  4. 発表年	
T.Tsunoda  2 . 発表標題 Trans-omic analysis strategy for precision medicine  3 . 学会等名 The 26th Hot Spring Harbor International Symposium - Trans-omics: New Approaches in Biology and Medicine 2016 (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年	
Trans-omic analysis strategy for precision medicine  3 . 学会等名 The 26th Hot Spring Harbor International Symposium - Trans-omics: New Approaches in Biology and Medicine 2016 (招待講演) (国際学会)  4 . 発表年	
The 26th Hot Spring Harbor International Symposium - Trans-omics: New Approaches in Biology and Medicine 2016 (招待講演) (国際学会) 4.発表年	
	The 26th Hot Spring Harbor International Symposium – Trans-omics: New Approaches in Biology and Medicine 2016(招待講演)

1.発表者名
T.Tsunoda
Exploring etiologies, sub-classification, and risk prediction of diseases based on big-data analysis of clinical and whole omics data in medicine
UNITOS UATA TIT NICUTOTIE
- S. 구도국도 - CREST Big Data Field Joint Symposium 2016(招待講演)(国際学会)
- Sing Sata From Cornic Cympodrum 2010(Jロロ明/ス)(国際プム)
2016年
1.発表者名
2.発表標題
オミックス解析によるゲノム医療の新たな展開
3 . 学会等名
科研費シンポジウム「統計科学が切り拓く個別化医療:方法論・実践のフロンティア」(招待講演)
4.発表年
2017年
1.発表者名
角田達彦
2. 発表標題
医学・医療ビッグデータ解析による個別化医療と先制医療
3.学会等名
日本遺伝子診療学会大会シンポジウム「遺伝統計学の基礎と臨床応用」(招待講演)
4. 発表年 2016年
2016年
4 改主业权
1.発表者名
服部聡
2.光衣信題     メタアナリシスに基づくバイオマーカーの予測値曲線の推定
アファテックへに至っていてカモリーの「常恒曲級UIH化
3 : デムサロ   統計関連学会連合大会
- 1 元代十 - 2016年

1.発表者名
山下智志,岡本基
2.発表標題
公的統計ミクロデータ研究コンソーシアムによる高等教育研究支援
ム町がは「ミグロナーグがガコングーンアムによる向守教育が元文後
3.学会等名
統計関連学会連合大会
4.発表年
2016年
2010-7
1.発表者名
岡本基,山下智志
2.発表標題
「国際ミクロ統計データベース」の利活用について
200
3.学会等名
統計関連学会連合大会
4.発表年
2016年
2010
1
1 . 発表者名
山下智志
2.発表標題
リスク科学と目的・データ・統計的方法論
200
3.学会等名
統計関連学会連合大会
4.発表年
2016年
1
1 . 発表者名
Satoshi Yamashita
2.発表標題
A new approach of micro-data analysis through international cooperation.
<ol> <li>労み至夕</li> </ol>
3.学会等名
The 8th International Workshop on Analysis of Micro Data of Official Statistics(招待講演)(国際学会)
4. 発表年
2016年

〔図書〕	計7件

	4 76/-F
1 . 著者名	4.発行年
Daimon T, Hirakawa A, Matsui S	2019年
2 111851	F 400 ^0 > *** b
2. 出版社	5 . 総ページ数
Springer	133
3 . 書名	
Dose-Finding Designs for Early-Phase Cancer Clinical Trials: A Brief Guidebook to Theory and Practice	
Practice	
1	4
1.著者名	4 . 発行年
Emura T, Chen YH, Matsui S, Rondeau V	2019年
2.出版社	5 . 総ページ数
Springer	3 . 総ペーク数 118
Springer	110
3 . 書名	
Survival Analysis with Correlated Endpoints: Joint Frailty-Copula Models	
Survival Analysis with Correlated Endpoints. South Trainty-Copula Models	
1.著者名	4.発行年
Matsui S, Igeta M, Toyoizumi K	2019年
2.出版社	5.総ページ数
CRC Press	24
3.書名	
Biomarker-based phase II and III clinical trials in oncology. In Textbook of Clinical Trials in	
Oncology. (eds. S. Halabi and S. Michiels).	
1 英字夕	4 ※行生
1.著者名	4 . 発行年
Tsunoda T, Tanaka T, Nakamura Y	2019年
2.出版社	5.総ページ数
Springer	3 . 高ポペーン 女X 209
opi nigei	200
3 . 書名	
Genome-Wide Association Studies,	
Contains True Association Studies;	

1 . 著者名	4 . 発行年
Kumar S, Sharma A, Tsunoda T	2019年
Ramar 6, Sharma A, Tsanoda 1	2010-
2 . 出版社	5.総ページ数
Springer	10
Springer	10
3 . 書名	
Subject-Specific-Frequency-Band for Motor Imagery EEG Signal Recognition Based on Common	
Spatial Spectral Pattern. In: Nayak A., Sharma A. (eds) PRICAL 2019: Trends in Artificial	
Intelligence. PRICAI 2019. Lecture Notes in Computer Science, vol 11671	
1 . 著者名	4.発行年
Hirakawa A, Sato H, Daimon T, Matsui S	2018年
Thranawa A, Gato H, Barmon I, Matsur C	2010—
2 . 出版社	5 . 総ページ数
Springer	89
Springer	
3 . 書名	
Modern Dose-Finding Designs for Cancer Phase I Trials: Drug Combination and Molecularly	
Targeted Agents	
range to a Agonto	
1 . 著者名	4.発行年
	2017年
Matsui S, Crowley J.	20174
2 . 出版社	5.総ページ数
	438
Springer	430
3 . 書名	I
Frontiers of Biostatistical Methods and Applications in Clinical Oncology	
Trontrers of Brostatistical methods and Applications in Crimical officings	
〔産業財産権〕	
(注:	
〔その他〕	
名古屋大学医学系研究科生物統計学分野	
http://nagoya-biostat.jp/	

6	研究組	絀

6	. 研究組織		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	山田 誠	京都大学・情報学研究科・准教授	
研究分担者	(Yamada Makoto)		
	(00581323)	(14301)	
	角田 達彦	東京大学・大学院理学系研究科(理学部)・教授	
研究分担者	(Tsunoda Tatsuhiko)		
	(10273468)	(12601)	
	山下智志	統計数理研究所・データ科学研究系・教授	
研究分担者	山下 自心 (Yamashita Satoshi)	<b>別は日   女X 生 W  プレバ  ・ ブ ー ブイイナ W  プレボ ・ 子X J 文</b>	
	(50244108)	(62603)	
-	服部 聡	大阪大学・医学系研究科・教授	
研究分担者	MR部 地 (Hattori Satoshi)	八	
	(50425154)	(14401)	

# 7.科研費を使用して開催した国際研究集会

# 〔国際研究集会〕 計2件

国際研究集会	開催年				
3rd Pacific Rim Cancer Biostatistics Workshop	2019年~2019年				
国際研究集会	開催年				
Second Pacific Rim Cancer Biostatistics Workshop	2017年~2017年				

# 8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------